



始



粗紡機据附及保全



11  
415

粗  
紡  
機  
摺  
附  
及  
保  
金



11-415



機  
附  
及  
保  
全

大正  
10. 2. 1  
内交



粗紡機据附及保全

据附法目次

第壹章 機台据附基本線	1
(1) 共通基本線ト各台間隔	1
(2) レギヤエンド <sup>7</sup> 外側線	2
(FIG 1) 粗紡機寸法図	3
(FIG 2) 各台間隔寸法	5
(FIG 3) レギヤエンド <sup>7</sup> 外側線	6
(3) 床ノ水平トパッキング <sup>7</sup>	7
第貳章 機台ノ荒組	8
(1) ボックムレール <sup>7</sup> ノ配置	8
(2) レギヤエンドフレーム <sup>7</sup> ノ据付	8
(3) ボックムレール <sup>7</sup> ノ連結	9
(FIG 4) 据付標準線	9
(4) スプリングベース <sup>7</sup>	10
(5) ローラービーム <sup>7</sup>	10



(目次)

(6) アウトエンドフレーム	10
(7) ローラーウエート	11
第三章 水平測定	12
(1) ローラースタント	12
(2) 両エンドの水平	12
(3) 検査台の水平	12
第四章 トップレールの組立	14
(1) リフターシャフト	14
(2) トップレール	14
(3) スピンドルカラー	15
(4) カラーゲージの心出し	16
(FIG 5) 全上図係図	17
(FIG 6) 全上図係図	18
(FIG 7) 全上ダイヤグラム	21
(FIG 8) バックレヤフト取付図	22
(5) ファウンデーションプレート	23

(目次)

(6) リフターラック	24
第五章 廻根組立	25
(1) クロスシャフト	25
(2) リフターキャリッジ	25
(3) アンダーキャリーイリグブラケット	26
(4) リフトルアップライト	26
(5) バックレヤフト	27
(6) バックレヤフトスキャング	27
(7) ボトムコールドラム	28
(8) ロングラック	31
(9) ボックスオートリックス	31
第六章 紡錘廻り取付	33
(1) ラックとピニオン	33
(2) バラレスウエート	33
(3) ボットムシャフト	34
(4) ボットムボードブラケット	34



{目4}

{5} スピンドルゲージ	34
{6} トップシヤフト	35
{7} ホットムカツプリングホ. #ール	36
{8} トップカツプリングホ. #ール	36
{9} スキユギヤビベル	36
{10} トップケーシングホ. トブラケット	37
第七章 輾軸廻り取付	38
{1} キヤッフバー	38
{2} ホットムローラー	38
{3} ローラーゲージ	39
{4} キヤッフバーフシシガ	39
{5} フラットカバー	39
{6} フロントプレート	40
第八章 後部及棚廻り	41
{1} ダブルアムカーバー	41
{2} ノックレグスフモーション	41

{目5}

{3} ロッキングトア	41
{4} バックテン	42
{5} クリールロット	42
(FIG 9) クリール取付図	43
(FIG 10) トラバースモーション図	44
{6} クリールバー	45
{7} トップホード	45
第九章 機立端廻り取付	46
{1} ドライビングシヤフト	46
{2} ダブルスシシグレバー	46
{3} ラ-4ア-4ホ. #ール	47
{4} ドライビングプーレ	47
{5} ローラーギヤ	48
{6} フロントローラーホ. #ール	49
{7} トラバースモーション	49



(目6)

保全法目次

第一章 大修理	51
(1) 大修理、周期	51
(2) 解体、順序	51
(3) 荒組、順序	55
(4) 附属品取付順序	56
(5) 試運転	57
第二章 定期修理	60
(1) 定期修理、周期	60
(2) 全上順序	60
第三章 一般保全管理	69

(目7)

掘附及保全用具目次

(1) 掘附工具	75
(2) 鋤廻り類	82
(3) レーダー類	83
(4) ローラー用具	84
(5) フライヤー修理用具	84
(6) 鋤其他工具	85
附録	
掘附及保全用具図	87
(46種)	102





# 紡織機 据附法

(英國プラット社製J型フレーム標準)

## 第1章 機台 据附基本線

### (1) 共通基本線ト各台間隔

据附基本線ハ「X-ンシャフト」ノ  
中心線ト直角ニ機台ノ前面ニ其ノ  
据附位置ト餘リ遠カラザル距離ニ  
画線ス

近來ノ工場建築ハ柱間11呎ニ  
シテ普通具ノ柱間ニ始紡機1台  
間紡機及練紡機ハ2台ノ割合  
ニ据附ヲ為スモノナレバ、機台ノ基本  
主線ハ、間紡機及練紡機ニ於テ  
ハ2台ニ共通スル様、機台ノ中間  
ニ墨打スルヲ便トス、依テ基本線



(2)

ノ墨打=先立子機台ノ間隔ヲ決定スル必要ガアル

(FIG. 2 参照)

(2) 「ギヤエンド」外側線

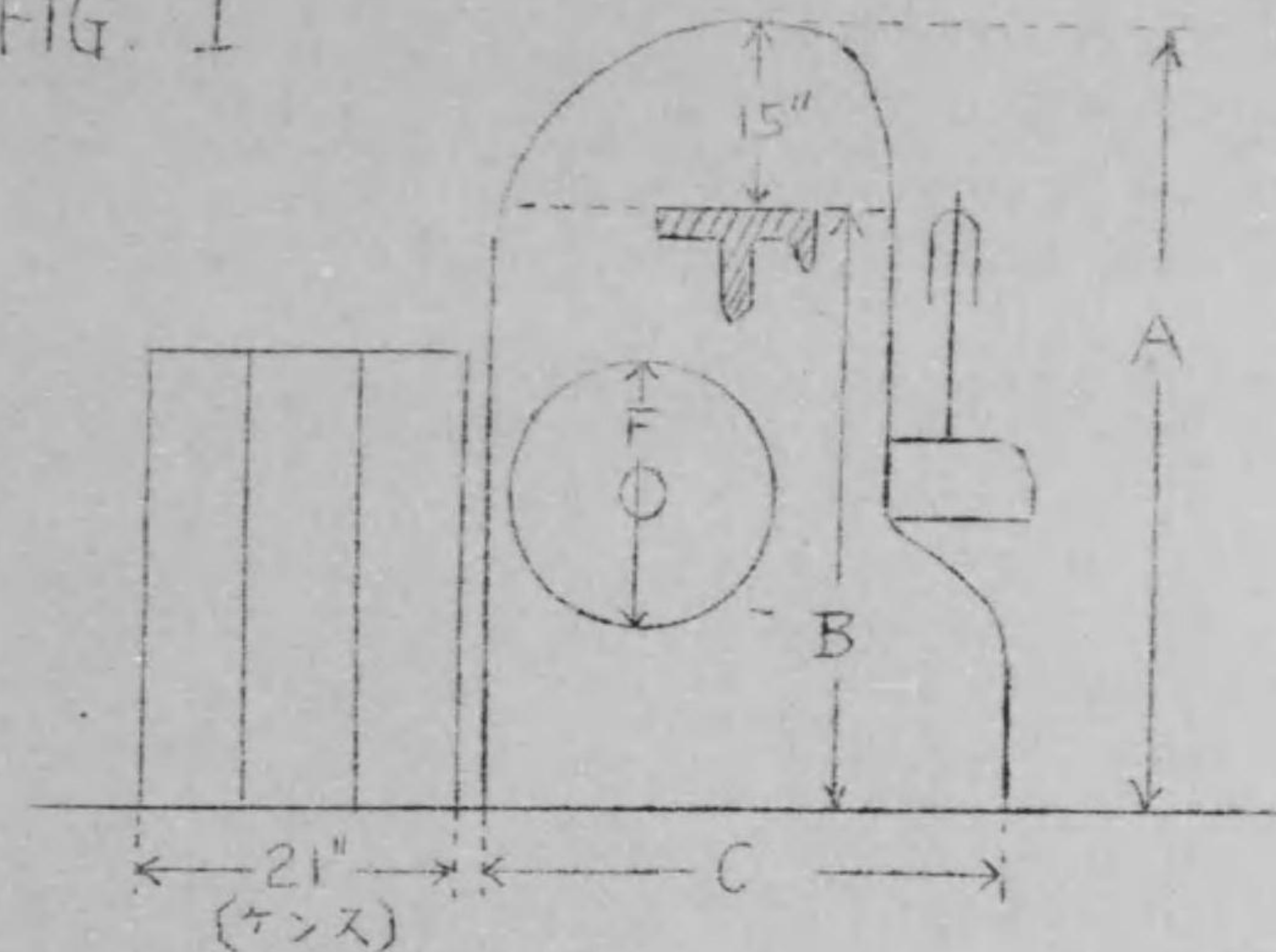
粗紡機ハ大抵「ーフクロスベルト」ニテ運転スルヲ以テ「L」メーンシャフトノ中心線ト、機台ノ関係ハ「L」メーンシャフト「プーレー」ノ面ノ中心線ガ「ドライブニング」プーレーノ「L」ファスト「L」ルーストノ中間ニアル様、機台ノ「ギヤエンド」フレーム「エンド」ノ位置ヲ決定セネバナラヌ

(FIG. 3 参照)

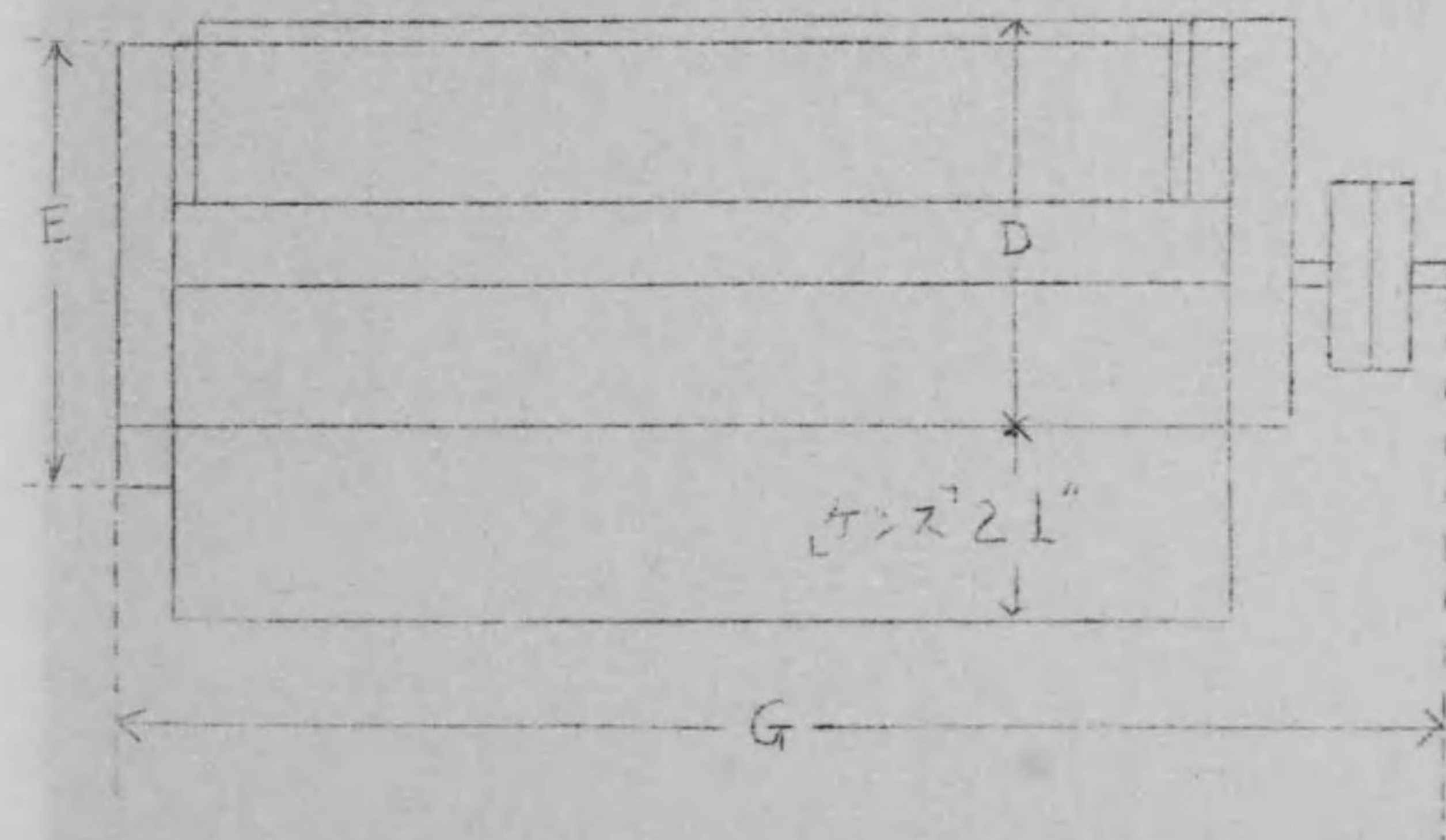
「L」メーンシャフト「プーレー」ノ径 18 吋ナル中旧台 (1908 年以前) ノ「L」メーンシャフトノ中心線ト「ギヤエンド」フレーム「エンド」ノ外面線トノ間隔ハ 16 1/2 吋

(3)

FIG. 1



(粗紡機寸法図)





(4)

FIG. 1 参照

	始紡機	間紡機	練紡機
A	57"	55"	50"
B	42"	40"	35"
C	33"	32 $\frac{3}{4}$ "	32"
D	33"	32 $\frac{3}{4}$ "	32"
E	36"	36"	36"
F	18"-20"	16"-18"	14"-16"

(3"フレーム)の場合

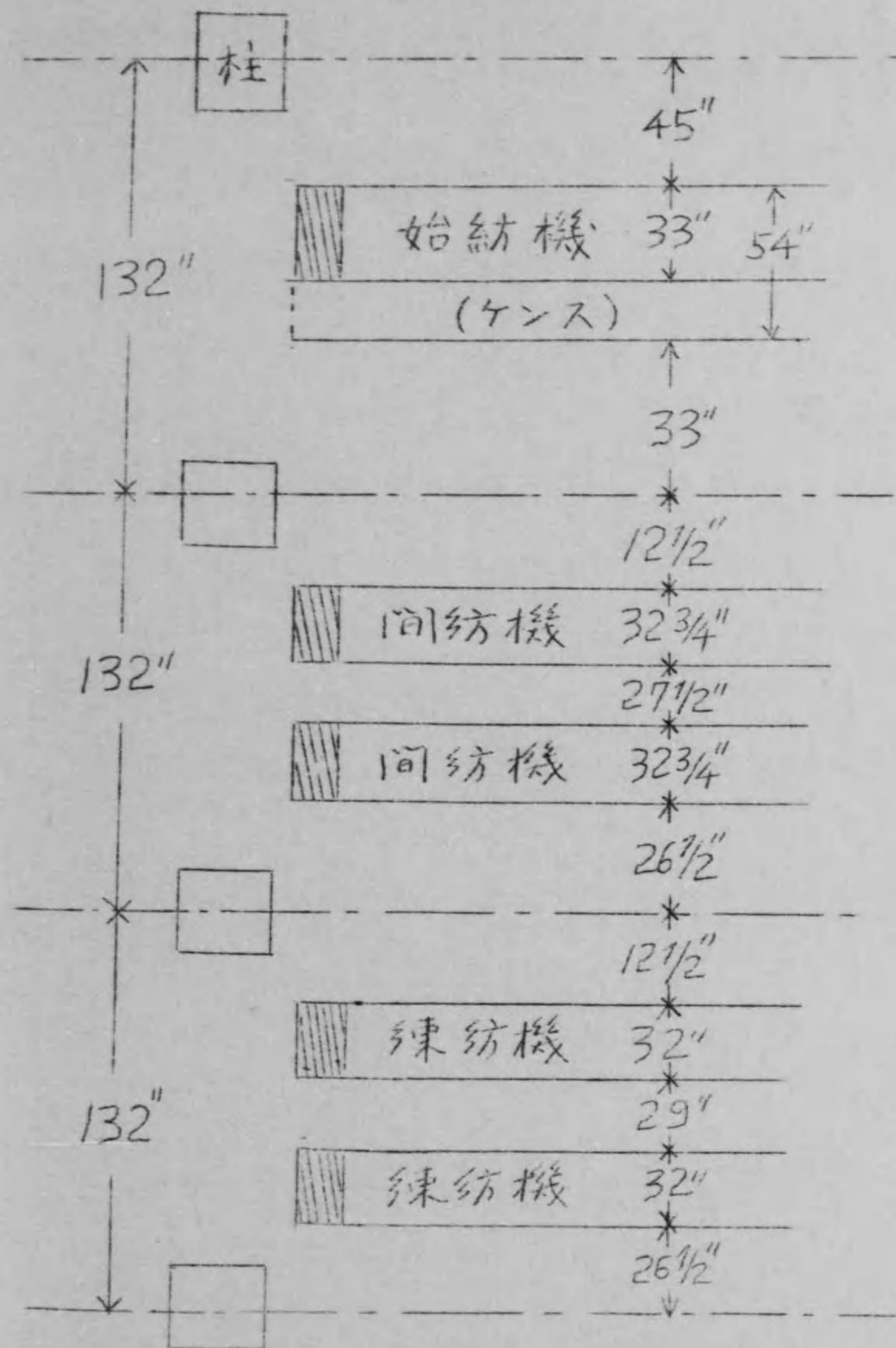
$$G = \text{スタック時} \times \text{ボックス数} + 33\frac{1}{2}"$$

(3 $\frac{1}{2}$ "フレーム)の場合

$$G = \text{スタック時} \times \text{ボックス数} + 35\frac{3}{4}"$$

(5)

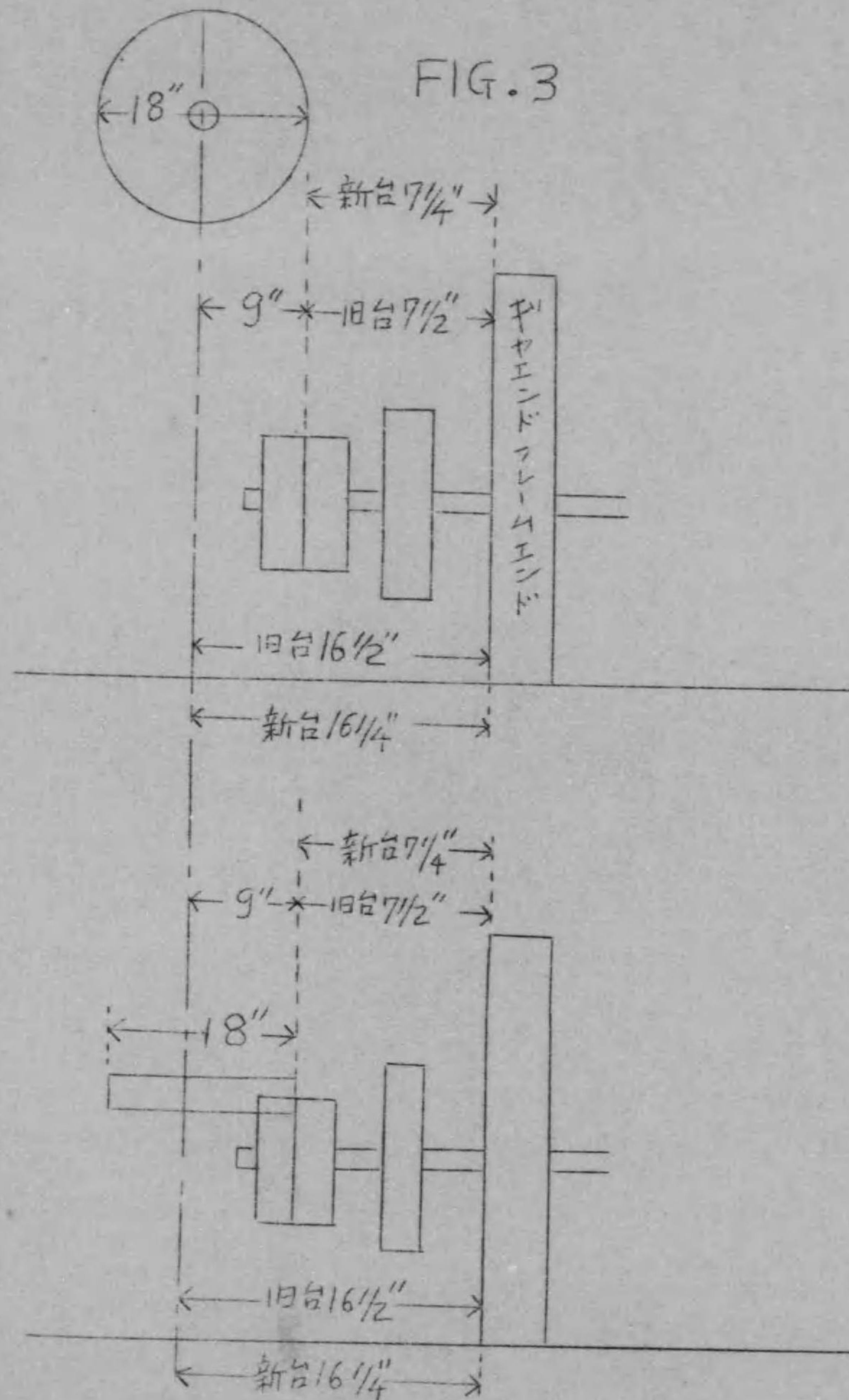
FIG. 2





(6)

FIG. 3



(7)

新台(1908年以後)ハ全上回隔ヲ  
16寸トシテ機台ノ据附位置  
ヲ定ム

(3) 床ノ水平トパッキング

心出しノ前豫メ工場内全体ノ床ノ  
水平ヲ調査シ据付機台全体ノ高低  
ヲ成可ク均一ニスベシ。特ニ床ニ極張  
ヲ用フル場合、床板ノ浮上リ居ル時ハ  
機台運転開始後振動カノタメ自然ニ  
床板ガ締リ機台ノ水平ニ狂ヒテ生ズ  
ル虞アルヲ以テ据付当初ニ於テフレ  
ム及ビレベルボルト等附近ハ特ニ入念  
ニ充分床締メヲトシ置クガ得策ナリ。  
機台ノパッキングハ其厚サ 1/8" - 1/4"  
ニ成ルベク薄キ座リ良キ材質ノモノヲ用  
ヒル。



(8)

第貳章 機台、荒組

(1) 〔ボットムレール〕ノ配置

〔ボットムレール〕ヲ据附位置附近  
= 裏返し、番号順 = 並べ置キ、  
〔スプリングピースボットム〕ヲ〔ボットムレール〕ノ〔マーク〕= 正石窪 = 合せて取付ケ  
而して〔ボットム〕ノ〔アトワシヤ〕ヲ其ノ据  
付位置 = 配列シ、〔ボットムレール〕ヲ  
表面 = 返し其上 = 置ク

(2) 〔ギヤエンドフレーム〕ノ据付

〔ギヤエンドフレーム〕= 〔ボットムレール〕  
ブラケットヲ取付ケ (新規据付 = ハ  
縁×取付ケアルヲ普通トス) 前後両  
端所定ノ位置 = 楔ヲ入レ置キ、  
〔フレーム〕ノ〔スライド〕= 水平台ヲ正シ  
ク當テ其上 = テ水平台ヲ調ベ充分

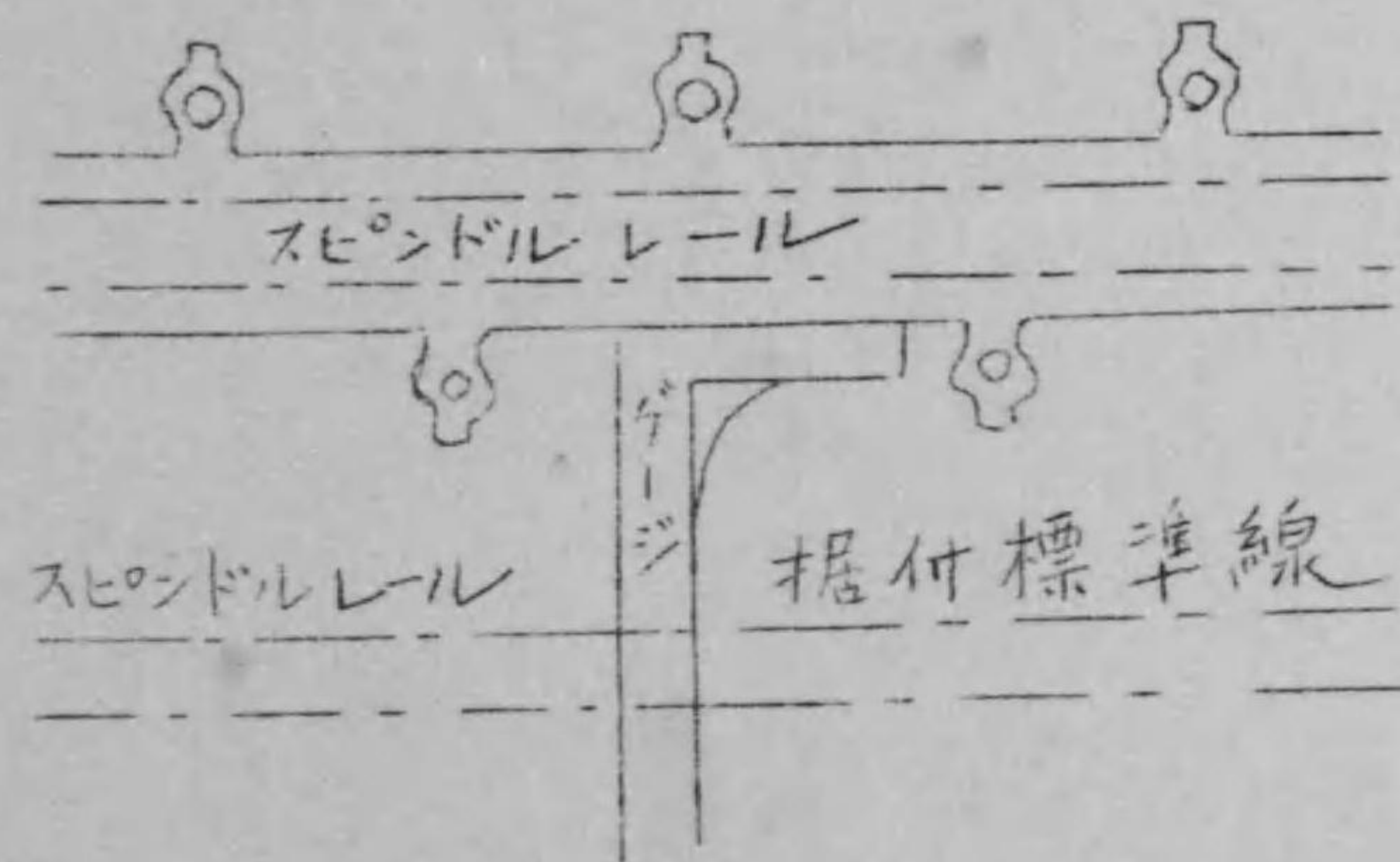
(9)

〔フレーム〕ヲ垂直 = シ、動かサレ様、前  
後両端 = 止メ木ヲ打テ込ミ置ク

(3) 〔ボットムレール〕ノ連結

〔ギヤエンドフレーム〕= 〔ボットムレール〕  
ノ後取付ヲナシ、〔ボットムレール〕ト基本  
線トノ距離ヲ〔ギヤエンド〕側ヨリ順次  
調整シ、今時 = 水平ヲ大体取調ベ  
右〔カツプリングプレート〕ノ取付ヲナシ  
レールノ全体ヲ連結スル (FIG. 4 参照)

(FIG. 4)





(10)

(4) スプリングピースの組立

ボットムレールを水平に連結シタル  
後4ボットムをスプリングピースが大  
体垂直に番号順に取付ケス  
ル

(5) ローラービームの取付

次はローラービームを具マークに合  
セ順次スプリングピースをノセ、接合  
ピンを挿入シボルトを前側に取付  
ケ締付ク

此際第一ローラービームのギヤ  
エンドフレームに正シクマークに合せ取付  
ケ、其他は接合せズに置ク

(6) アウトエンドフレームの据付

アウトエンドフレームを具の据付位置  
に置キローラービーム及ボットムレール

(11)

高さに合ハシテ楔ヲ入レアウト  
エンドフレームノスライドを垂直に  
シ、正シクマーク通り接合シテ  
取付ク

但シ両フレームエンドの垂直ナ  
ルヤ否ヤハスライドを水平に取  
調ベル外、念為メフレームの仕上  
面に於テモ嚴重に検査セネバ  
ナラヌ

(7) ローラーウエートの釣ル

次はローラーウエートを調べテ具の  
前後を區別シローラービームにウ  
エートワイヤを入レウエートを釣  
ル、ワイヤのビームカップリングの  
処に長キモノヲ用エベシ



(12)

### 第三章 水平ノ測定

#### (1) ローラースタンド<sup>7</sup>ノ取付

ローラースタンド<sup>7</sup>ノ順番ニローラービーム<sup>7</sup>ノマーク<sup>7</sup>トセ<sup>7</sup>下<sup>7</sup>ヲ螺止シ、隙メ<sup>7</sup>スタンド<sup>7</sup>ノローラー<sup>7</sup>ヲ入レテ中心ヲ出シ置ク(仮ニローラービーム<sup>7</sup>ヲ接合ス)

#### (2) 両<sup>7</sup>エンド<sup>7</sup>ノ水平ヲトル

ギヤエンド<sup>7</sup>ノフレームエンド<sup>7</sup>ノスライド<sup>7</sup>ニ特定ノスクエアー<sup>7</sup>ヲ嵌メ其ノ前面ヨリ垂振リヲ下<sup>7</sup>ロシ基本線トノ間隔ヲ求メ、之ヲアウトエンド<sup>7</sup>ノフレームエンド<sup>7</sup>ニ移シ等距離ナル様、アウトエンド<sup>7</sup>ノ位置ヲ定メ、動力カサ<sup>7</sup>ル様ニ止メ木ヲ打チ込<sup>7</sup>ニ置ク

#### (3) 機台ノ水平ヲトル

機台ノ水平調査ハローラーウエー

[13]

ト<sup>7</sup>釣リテ24時間ヲ経過シタル後機台ガ充分落付ケタルハ、水平シタ<sup>7</sup>ンク<sup>7</sup>ヲ機台ノ前面中央部ニ置キギヤエンド<sup>7</sup>ニ接近セルローラービーム<sup>7</sup>ノ個所ニテ水準面ヲ測リ、此レヲアウトエンド<sup>7</sup>フレーム<sup>7</sup>ニ接近セルローラービーム<sup>7</sup>ニ移シ、両エンド<sup>7</sup>ノ高低ヲ調整シ、全時ニフレーム<sup>7</sup>ノ垂直ヲ取調ベル

ギヤエンド<sup>7</sup>及アウトエンド<sup>7</sup>ノ両フレーム<sup>7</sup>、各楔ヲ誤リテ移動セルムルヲアルバ、水平調整ノ時ハ楔ニマーク<sup>7</sup>ヲ附シ置ク<sup>7</sup>安全デアル。



[14]

#### 第四章 トツプレールノ組立

##### (1) リフターシャフトノ取付

レギヤエンド<sup>7</sup> = レリフターシャフトブラケット<sup>7</sup>  
ヲ依リ = 取付ケシ、レボットムレール<sup>7</sup> =  
レリフターピラー<sup>7</sup>ヲ順序 = 依リ締メシ  
レリフターシャフト<sup>7</sup>ヲレマーク<sup>7</sup>順序 = 台前ニ  
並ベ置キ、レ全シャフトカップリング<sup>7</sup>及  
レ全ピラーキャップ<sup>7</sup>、レ全ピ<sup>7</sup> = オン<sup>7</sup>ヲレシャ  
フト<sup>7</sup> = 挿入シ、レリフターピラー<sup>7</sup>ノ順序  
ニ依リ依リ = 取付ケル

此際、レリフターピラー<sup>7</sup>ヲ取付クベ  
キ位置 = 隙メ白墨 = テレマーク<sup>7</sup>ヲ附  
シ置ク

##### (2) トツプレールノ組立

トツプレール<sup>7</sup>ノ組立ハ、トツプレール<sup>7</sup>  
ノレギヤエンド<sup>7</sup>側 = レコッパ<sup>7</sup> = エンド<sup>7</sup>及レロン

[15]

グスライド<sup>7</sup>ヲ正シク取付ケ置キ、一方  
レリフタースライド<sup>7</sup>ヲ順序 = レスライドブラケ  
ット<sup>7</sup> = 依リ締メシテ各レスプリングピース<sup>7</sup>ノ  
脚元 = 置キ取付ノ準備ヲスル

次 = レボットムレール<sup>7</sup>ノ上 = 規定ノ角  
木(トツプレールジヤッキ代用)ヲレレール<sup>7</sup>  
1本 = 対シ2個宛立テ、此上 = レト  
ツプレール<sup>7</sup>ヲレギヤエンド<sup>7</sup>側ヨリ順序  
ニ依リ、同時 = レスプリングピース<sup>7</sup>ノレスライ  
ド<sup>7</sup> = レリフタースライド<sup>7</sup>ヲ挿入シ、レスライ  
ドブラケット<sup>7</sup>ヲ以テ、レトツプレール<sup>7</sup> = 取付  
ケル、最後 = レアウトエンドスライド<sup>7</sup>ヲ入レル

##### (3) レスピンドルカラーノ取付

トツプレール<sup>7</sup> = レロングカラー<sup>7</sup>ヲ番号  
順序 = 依リ付スル

之ヲナス = ハ、トツプレール<sup>7</sup>ノレギヤエ



[16]

エンドヨリレグザグ<sup>7</sup> = 番号ヲ付シカラ  
<sup>7</sup>ノ前面ニアル番号ト合シテ立テ弛  
ク取付ル

但シトツプレート<sup>7</sup> = 豫メ<sup>7</sup>カラ<sup>7</sup>  
ノ取付ケアル場合(旧台換替ノ件)  
ハリフタースライド<sup>7</sup>ノ取付ヲナサズ  
トツプレート<sup>7</sup>ヲ角木<sup>7</sup>上ニ<sup>7</sup>ノセ、各  
接目ノ箇所ニテレスピンドル<sup>7</sup>ヲ前後  
ノカラ<sup>7</sup> = 1本宛挿入シ、而ル後  
レール<sup>7</sup> = リフタースライド<sup>7</sup>ヲ取付シ、  
ピース<sup>7</sup>ノスライド<sup>7</sup> = 挿入スル

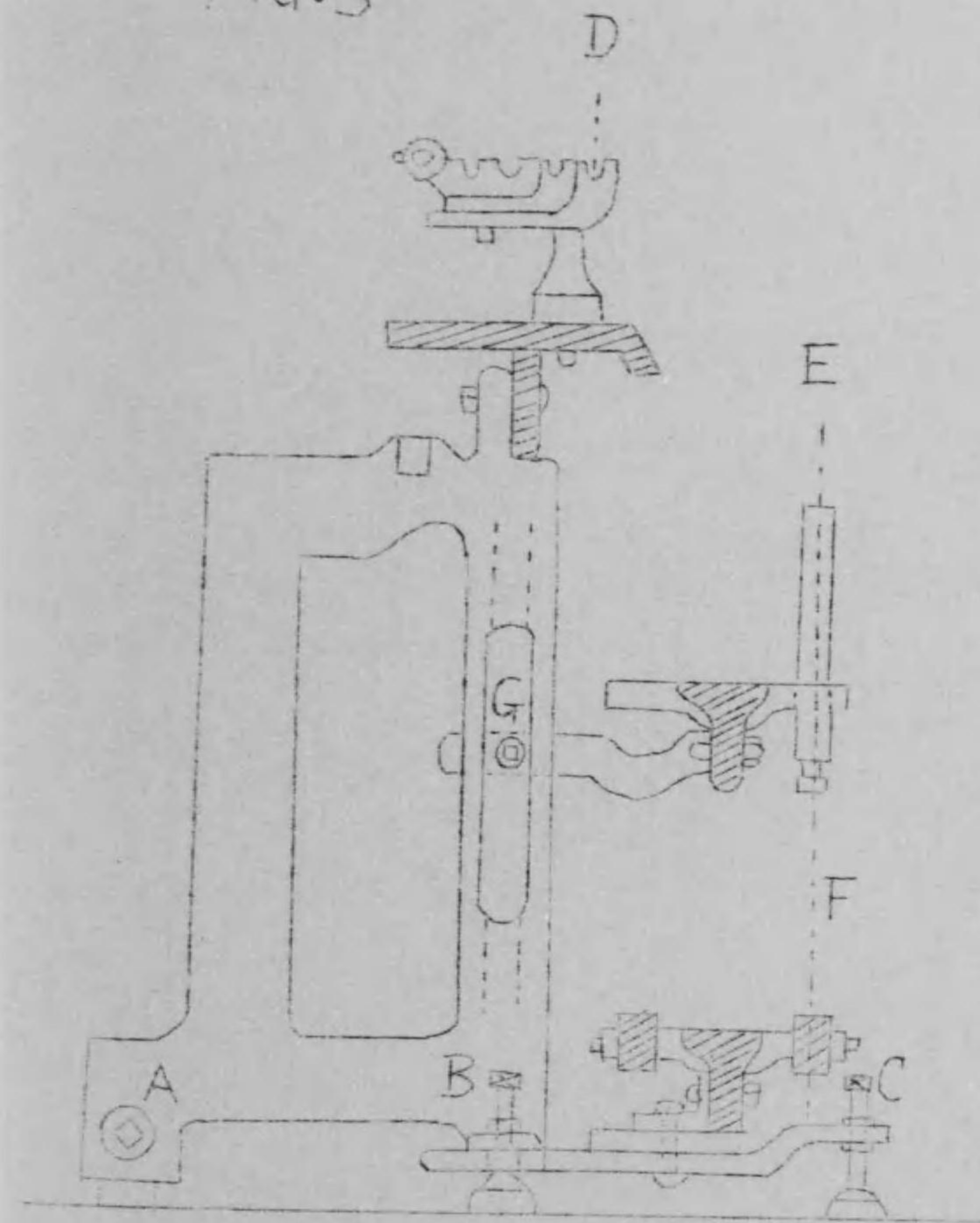
[4] <sup>7</sup>カラ<sup>7</sup>ゲージ<sup>7</sup>心出シ

(FIG 5. 6. 参照)

先ヅ<sup>7</sup>ギヤエンド<sup>7</sup>傾リノローラースタンド  
メタル<sup>7</sup>ノ中央ヨリアウトエンド<sup>7</sup>傾リノロ  
ーラースタンドメタル<sup>7</sup>ノ中央 = 水糸ヲ強

[17]

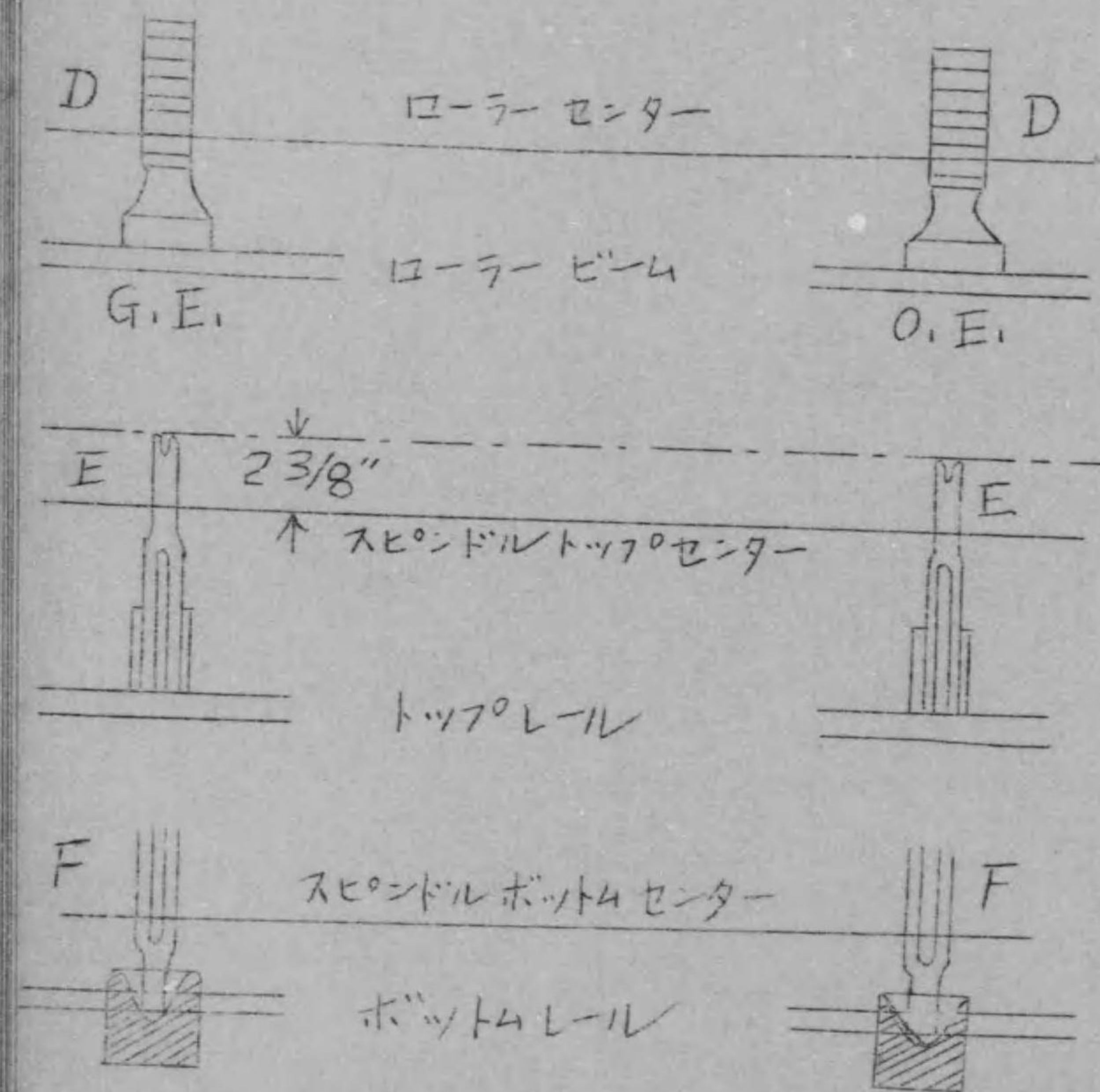
FIG. 5





(18)

FIG. 6



(19)

ク張り其一端=重リヲ付テ水系  
ノ自然=弛ムヲ防グ

次=スピンドル<sup>7</sup>3本ト<sup>7</sup>フト  
ステップ<sup>7</sup>3個ヲ完全ナルモノヲ撰ミ  
之ヲ2組トシ、スピンドル<sup>7</sup>前側ノ  
両端=各1組宛取付ケ、両方  
ノスピンドル<sup>7</sup>、垂直ト<sup>7</sup>ゲージヲ調整  
シタル後、上部ト下部ト、2ヶ所  
=水系ヲ引回ハシ強ク張ル

而ル後

- (イ) ローラースタッド<sup>7</sup>ノ出入高低  
(ローラースタッド<sup>7</sup>ノタル、水系)
- (ロ) ボットムレベル<sup>7</sup>ノ高低  
トップレベル<sup>7</sup>ノ出入  
(スピンドル<sup>7</sup>上部ノ水系)
- (ハ) スプリングピース<sup>7</sup>ノ出入



[20]

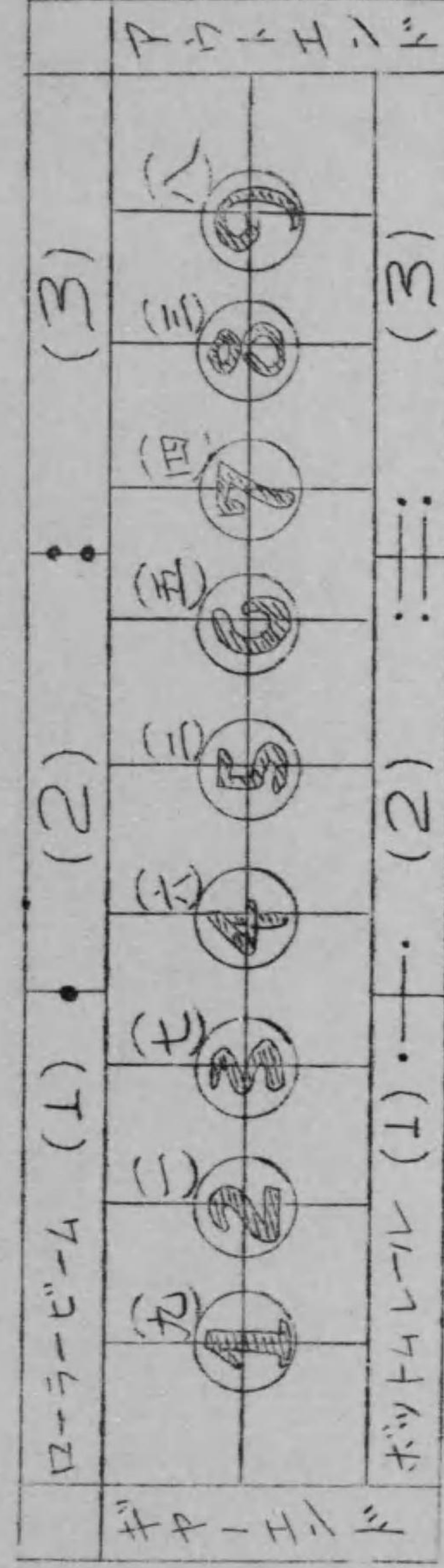
「ボットムルール」ノ出入  
(スピンドル下部ノ水系)

此等ノ高低及出入ハ残り1組  
ノ「スピンドル」及「フトステップ」ヲ、各  
「スプリングピース」ニ最モ近キ「カラー」ニ  
順次挿入シテ、各上記3方ノ水  
系ヲ調整シ、出入高低ヲ「スプリ  
ングピースボットム」及「ビレピースフトバック」  
ノ「アシヤキングスクルー」ニテ機台ノ中  
心水平ナル様、加減調整シ、カク  
ノ如キ方法ヲ再三繰返シ、全時ニ  
「スプリングピース」ノ「スライド」ニ水平台ヲ当テ  
水平ヲ取り全部ニ亘リ完全ニ水平ヲ調  
整シ、各部ノ「レゾイト」ヲ完全ニ締メ  
付ケル (FIG. 7 参照)

此ヒ際「スライド」ノ「ゲージ」ハ「レバー

(21)

〔「カラーゲージ」心出し「ダイヤグラム」〕



①「スプリングピース」ノ番号

②「カラーゲージ」心出し順序

(1)「ボットム」及「ルール」ノ番号

③「スプリングピース」ハ最後ニ  
「ボットム」ノ「プレート」ト共ニ  
出シテ取付ケル  
「ビレピース」付イノ「レノハ」  
此際「ボットム」ヲ入レル

FIG. 7



(22)

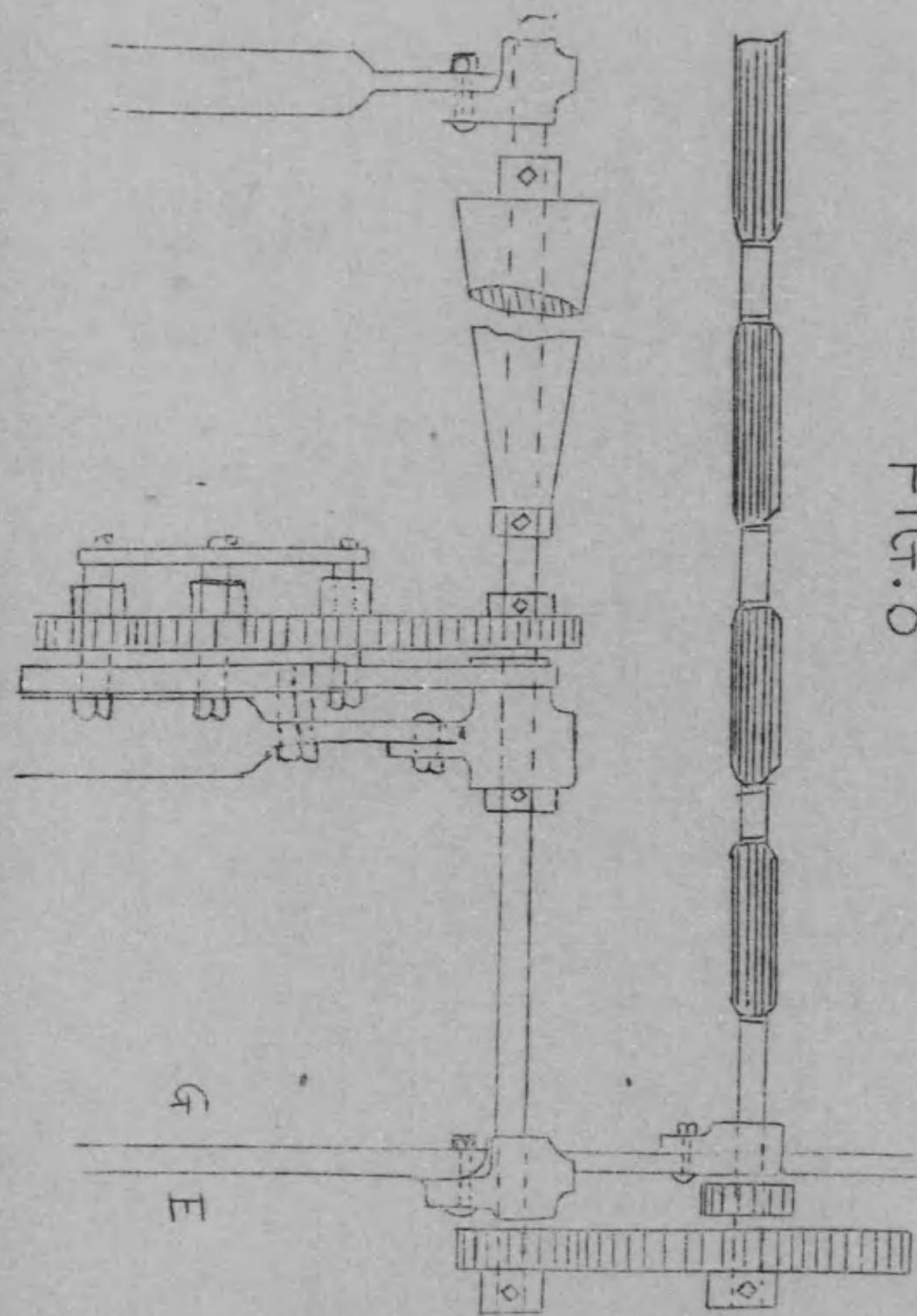


FIG. 8

(23)

ウエーキング<sup>7</sup>式ハ  $\frac{1}{32}$ "、旧式ナレバ少  
シ広ク  $\frac{1}{16}$ "ニ調整シ置ク

(5) 「<sup>7</sup>アウンデーションプレート<sup>7</sup>及ビレス  
プレートクロスレール<sup>7</sup>取付

次ニ「<sup>7</sup>アウンデーションプレート<sup>7</sup>ヲ オース  
プリングピース<sup>7</sup>ト共ニ正シク平ニ取付ケ  
「<sup>7</sup>ストレートクロスレール<sup>7</sup>ハ其「<sup>7</sup>ブラケット<sup>7</sup>ト  
共ニオ三、オ四「<sup>7</sup>スプリングピース<sup>7</sup>ノ間ニ入レ  
テ平ニ取付ク

次ニ「<sup>7</sup>トップコールドラムシャフトブラケット<sup>7</sup>  
「<sup>7</sup>ドライビングシャフトブラケット<sup>7</sup>「<sup>7</sup>ロックレグ<sup>7</sup>トア  
一用クロスビーム<sup>7</sup>等ヲ各「<sup>7</sup>マーク<sup>7</sup>ニ合セテ後  
締メシ、各「<sup>7</sup>シャフト<sup>7</sup>ヲ通シテ「<sup>7</sup>スプリングピース<sup>7</sup>  
ノ正確ニ取付ケラレアルヤ否ヤヲ検メ  
取調ベル

カクニテ後「<sup>7</sup>ギヤエンド<sup>7</sup>及ビ「<sup>7</sup>アウト



(24)

エンド<sup>7</sup>ノ両フレームエンド<sup>7</sup>ニ「パッキング」<sup>7</sup>  
ヲ完全ニ施コス

尚年一度各部分ノ水平及中心ヲ  
取調ベツ、トツプレート<sup>7</sup>、ボットムレ-  
ル<sup>7</sup>、ローラービーム<sup>7</sup>、各ジョイント<sup>7</sup>ヲ入  
念ニ充分締付ケル

(6) リフターラック<sup>7</sup>ノ取付

リフターラック<sup>7</sup>ヲトツプレート<sup>7</sup>ニ順番  
ニ正確ニ取付ケ、リフターシャフト<sup>7</sup>ヲ円滑  
ニ回転スル様調整シ、合時ニ「カ  
ツプリング」<sup>7</sup>ニテ接合スル。

(25)

## 第五章 廻根組立

(1) 「クロスシャフト」<sup>7</sup>取付

「フアウンデーションプレート」<sup>7</sup>上ニ左右ノ  
「クロスシャフトブラケット」<sup>7</sup>ヲ「マーク」<sup>7</sup>ニ合ワ  
シテ取付ケ、クロスシャフト<sup>7</sup>ヲ挿入シテ円  
滑ニ回転スル様調整シ、クロスシ  
ャフト<sup>7</sup>上ニ「レバーレングビベル」<sup>7</sup>及ビ「フラ  
イホキール」<sup>7</sup>ヲ取付ケル

(2) リフターキヤレノン<sup>7</sup>及ビ「ラヂアス  
レバー」<sup>7</sup>ノ取付

リフターシャフトキヤレノン<sup>7</sup>ヲ定メル以前ニ  
先づリフターキヤレノン<sup>7</sup>及ビ「ラヂアスレ  
バー」<sup>7</sup>ヲ取付ケ、リフターキヤレノンスタッド<sup>7</sup>  
ヲ挿入シ、スタッドキヤレノン<sup>7</sup>「ラヂアスキヤ  
レ」<sup>7</sup>ヲ入シ、順次「ラヂアス」<sup>7</sup>リフターキヤレ  
ノン<sup>7</sup>ト、咬合ヲ正確ニ合ハス。



(26)

(3) アンダーキャリーイングブラケット  
廻りの取付

アンダーキャリーイングブラケットヲマ  
ークニ合ハシテ取付ケ、13<sup>T</sup>「バツプビ  
ベル」ヲ挿入シ、同時に「ギヤエンド」キヤ  
ニンブラケット及ビ「クリツフ」等ヲ何レモ  
マークヲ合セテ取付ケ、レコートコーンシ  
ヤツトヲ挿入シ、円滑ニ回転スル  
様調整スル

(4) リットルアップライト取付

リットルアップライトヲ「アウレデー  
シヨプレート」ノマークニ取付ケタル  
後、50<sup>T</sup>ホキール及ビ「スタフビベル」  
ヲ挿入シ締付ケタル上「レバレン  
グビベル」及ビ「レコートコーンビベル」ノ  
交合ヲ調整スル。

(27)

(5) バックシヤツト取付

№2「ブラケット」ヲ「ピース」ノマークニ  
合ハシテ取付ケ、№4「ブラケット」モ同様ニ  
取付ケ「バックシヤツト」ヲ入レテ軽く調整  
シ更ニ№1「ブラケット」ヲ入レテ「ギヤエンド」  
バックシヤツトホキールヲ入レ後「フロント  
ローラー」ヲ入レテ「アームホキール」トノ交合  
セヨ適當ニ円滑ニ回転スル様調  
整シタル上 №3「ブラケット」ヲ入レル

次ニ「トップコーン」ヲ及ビ「ビフドル  
ホキール」及ビ「ワニヤ」ヲ入レル

(6) バックシヤツトスプリング取付

№1「スプリングピース」ニ3「ホキール」  
ヲ取付タル「バックシヤツトスプリング」ヲ取付  
ケ「ビフドルコーンホキール」ト3「ホキール」ト  
ノ交合セヨ調整スル



(28)

バックシャフトスイング<sup>7</sup> = 3Lホー<sup>7</sup>ヲ  
取付クルハ、相互其咬合ヲ正シク調  
整シタル上、3Lホー<sup>7</sup>ステ<sup>7</sup>ヲ入レ  
其ノ位置ヲ確定スル

而ル後、図(FIG 8 参照)、如ク  
聯動関係ヲ通ジテ3Lホー<sup>7</sup>ヨリ  
手廻ハシ完全ニ円滑ニ回転スル  
様調整スル

(7) Lボットムコー<sup>7</sup>ドラム<sup>7</sup>取付

Lアウトエンド<sup>7</sup>、Lキヤレ<sup>7</sup>ニブラケット<sup>7</sup>ヲ  
NO 3 Lピース<sup>7</sup> = Lミッドルキヤ<sup>7</sup>ニブラ  
ケット<sup>7</sup>ヲ NO 2 Lピース<sup>7</sup> = 各Lマー<sup>7</sup> =  
合ハセテ取付ケ、其孔 = Lボットムコー<sup>7</sup>  
ンヤ<sup>7</sup>ヲ通シ円滑ニ回転スル様  
調整シタル後、Lヤ<sup>7</sup>ヲ引抜キ  
各Lトレブルホー<sup>7</sup>ブラケット<sup>7</sup>ヲ取付

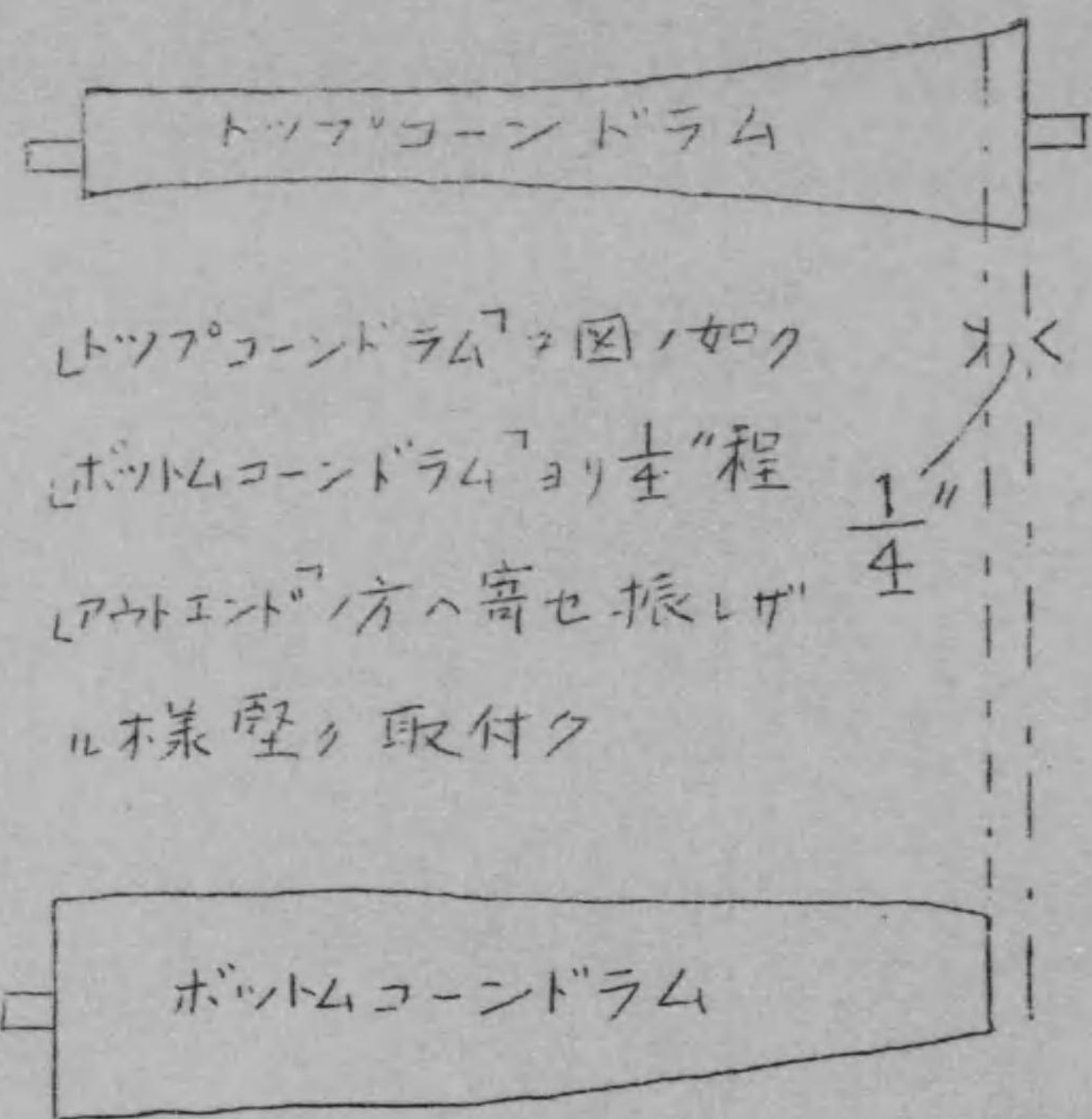
(29)

ケキヤストアイ<sup>7</sup>レパイ<sup>7</sup>フ<sup>7</sup> (バランレン<sup>7</sup>  
パイ<sup>7</sup>) 及ビLコー<sup>7</sup>ンヤ<sup>7</sup>フ<sup>7</sup>ヲトレブ  
ルホー<sup>7</sup>ブラ<sup>7</sup>ケット<sup>7</sup>ニ挿入シタル後、  
Lコー<sup>7</sup>ンストラ<sup>7</sup>ップ<sup>7</sup>タイ<sup>7</sup>エン<sup>7</sup>グ<sup>7</sup>モ<sup>7</sup>ニコー<sup>7</sup>  
ンヤ<sup>7</sup>フ<sup>7</sup>、L全<sup>7</sup>ハット<sup>7</sup>ブラ<sup>7</sup>ケット<sup>7</sup>及ビ  
其附属品ヲ調整取付ケタル上、  
Lトップ<sup>7</sup>コー<sup>7</sup>ンヤ<sup>7</sup>フ<sup>7</sup>トLボットムコー<sup>7</sup>  
ンヤ<sup>7</sup>フ<sup>7</sup>カ何レノ箇所ニ於テモ等距  
離ナル様、Lバランレン<sup>7</sup>グ<sup>7</sup>パイ<sup>7</sup>フ<sup>7</sup>、取  
付鉤ニテ加減シ(コー<sup>7</sup>ンヤ<sup>7</sup>フ<sup>7</sup>  
ト高低ゲージニテ測定ス)、Lヤ<sup>7</sup>  
ヲ円滑ニ回転スル様調整スル

次ニLボットムコー<sup>7</sup>ドラム<sup>7</sup>、L全<sup>7</sup>ブ  
ック<sup>7</sup>及Lホー<sup>7</sup>ニ等ヲ挿入シ振  
ザル様取付ケ置キ、Lトップ<sup>7</sup>コー<sup>7</sup>  
ンヤ<sup>7</sup>フ<sup>7</sup>トノ垂線ヲ因<sup>7</sup>ハ<sup>7</sup>取付ケル



[30]



トップコーンドラムの図ノヤコク  
 ボトムコーンドラムより全<sup>1</sup>/<sub>4</sub>程  
 アウトエントノ方ハ寄せ振レザ  
 ル様堅ク取付ク

此レハ 運転中ロードドラムノベルト  
 ガロードドラムノドライブング側ノ大径  
 ノ方ニ寄ラントスル化負向アルヲ以テ図  
 ノヤコク取付クレバ 正当ナル回転数ガ  
 得ラレ 巻付ノ調子良シ

[31]

(8) ロングラック取付

ロングラックボックスヲローラー  
 ビーム及ビレスプリングピースト直線ニ  
 各レ Bracket ノマークニ合ハセテ取付  
 ケ、ロングラックヲ箆×込ミ、両  
 端ニクリップ及ボールヲ取付ケ  
 尚ストラップフオークアップライト及  
 ビレストラップフオークヲ取付ケ 車  
 体ニ移動スル様調整スル

(9) ボックスオートリックス取付

ストレートクロスレールヲ完全ニ  
 水平ニシ、豫メ組立テ置キタル  
 ボックスオートリックスヲレールニ取付  
 ケ レーパリングレヤット Bracket ヲレボ  
 ヲムレールニ取付ケ レヤットニレテ  
 パリングビベルレリョートニングホ



(32)

ホール、ハンドル等ヲ組合セ、次ニ  
シラフットシヤフトヲ垂直ナラシムル様、  
ステーブラケット及トツフブラケットニ  
テ調整シシラフットホール及ピ  
レバーシヤフト等ノ附属品ヲ取  
付ケシビルヂヤフトモーショントレバー  
シヤフトノ結合ヲ為ス。

(33)

### 第六章 紡錘廻り取付

(1) ラックトピニオンノ咬合セ  
バランスウエートヲ半數正確ニ  
取付ケ、トツフレールノ高低ヲスピ  
ンドル上部ニ張りタル水糸トトツフ  
レールノ上面トノ距離ニテ取調ベ  
リフターラックトピニオンノ咬合セニ  
テ調整スル

此ノ咬合セハラックノ歯ノ下面  
ガ帯ニピニオンノ歯ノ上面ニ接觸  
スル様ニ調整スル

(2) バランスウエートヲ金釘ル

以上ノ作業終リタル後テバラ  
ンスウエートヲ全部取付ケリフター  
ヤシニホールトシラフットホール  
トノ間ニ木片ヲ咬マセテ齒止メヲナ



(34)

スヲ安全トス

(3) シボトムシヤフト<sup>7</sup>取付

シギヤエンドフレーム<sup>7</sup>ニシダブルスピンド  
ルシヤフトブラケット<sup>7</sup>ヲシマーク<sup>7</sup>ニ合セテ  
取付ケ、合シブシユ<sup>7</sup>ヲ入レ置キスピ  
ンドルシヤフト<sup>7</sup>ヲ挿入シ、其水平ヲ  
取調ベ、円滑ニ回転スル様ニ  
調整シタル後チシボトムボード  
ブラケット<sup>7</sup>ヲ取付ケル

(4) シボトムボード<sup>7</sup>ブラケット<sup>7</sup>取付

シボトムボード<sup>7</sup>ブラケット<sup>7</sup>ハシケ  
レート<sup>7</sup>ヲ入レシラフク<sup>7</sup>ニ接近セル  
スピンドル<sup>7</sup>ニ合シビ<sup>0</sup>ニオセ<sup>7</sup>ヲ取付  
レシケ  
ーシユ<sup>7</sup>ボード<sup>7</sup>ニ接触セザル様  
調整スル

(5) シスピンドルゲージ<sup>7</sup>ヲ採ル

(35)

シスピンドルゲージ<sup>7</sup>ハシスピンドル<sup>7</sup>  
ノ出入垂直ヲ完全ニ正シ充分  
円滑ニ回転スル様調整スル

シゲージ<sup>7</sup>ヲトルキハ兩シイレド<sup>7</sup>ノス  
ピンドル<sup>7</sup>ヲ引廻シ水糸ヲ張リ其  
直線ヲ失セザルヲ注意セヨ

(6) シトップシヤフト<sup>7</sup>ノ取付

シトップシヤフト<sup>7</sup>ニシフロ  
ト<sup>7</sup>ブラケット<sup>7</sup>及ビシビ  
バク<sup>7</sup>ブラケット<sup>7</sup>ヲ取付ケ(新  
ニハ隊<sup>7</sup>ヲ取付ケアルヲ倒トス) 支  
シニシキユ<sup>7</sup>ギヤシヤフト<sup>7</sup>ヲ挿入シ、水  
平ヲ取調ベ、円滑ニ回転スル様  
調整シ、合時ニシトップ  
カ<sup>7</sup>シリグ<sup>7</sup>ホ  
ール<sup>7</sup>ノ咬合セヲ取調ベ置キ  
ル後チシヤフト<sup>7</sup>ヲ順番ニ入  
レツ、シキユ<sup>7</sup>ギヤシビ  
ベル<sup>7</sup>ヲ挿入



(36)

スル

(7) ボトムカップリングホーシール  
ノ取付

パネルプレートヲ後付シ、之ニ  
スピンドルシャフトリングブラケット  
2個ヲ取付ケルシャフトノ端トシ全  
ブラケットノ外面トヲ調整シタ  
ル上ボトムカップリングホーシール  
ヲ堅ク締付ケル

(8) トップカップリングホーシール  
ノ取付

トップカップリングホーシールノ取付ハ  
ダブルスキャンレバーブラケットノ端ト  
シシャフトノ外面トヲ合せ、全ホーシール  
ヲ堅ク締め付ケル

(9) スキューギヤビベルノ取付

(37)

スピンドルヲカラーニ挿入シトッ  
プノ及ビボトムノスキューギヤシャフト  
ヲカップリングホーシールニ接合シ  
スピンドルホーシール及ビボトムホーシール  
ノ咬合セヲ完全ニ調整スル

但シシャフトノ運転中具ノバランス  
ヲ失セザル様スキューギヤホーシールノ  
鑄造ハ交互ニ反対ノ位置ニ締付ケ  
ルヲ必要ナル

(10) トップケーシングボードブラケット  
ノ取付

トップボードブラケットヲ順番ニ後  
付シ前後ノアイセルケーシングプレートヲ  
後入レトシ、ブラケットヲ正確ニ  
締め付ケル。



[38]

第七章 輾軸廻り取付

(1) Lキヤフアバー取付

LキヤフアバーヲLアウトエド側ノ  
ローラースタンドヨリ順番ニ取付  
スル

(2) LボットLローラー取付

Lリユテッドローラーハ機台前ニロー  
ラー受台ヲ並べ、各Lマーク順ニ  
Lジョイントニ注油シ接合スル

而ル後ローラースタンドノ各Lスラ  
イドヲ弛メ置キ、接合セル各ロー  
ラーヲ曲ゲザル様注意シテスタ  
ントニノセ、合時ニ機メローラーノ  
Lゲージヲ取調ベ各ローラーノ狂  
ヒ及ビ水平ヲ調整シ、合時ニ  
トラボースガイドヲ接合ニテ挿入

[39]

(3) ローラーゲージノ採リ方

ローラーゲージヲ正確ニ定メル  
其、定メ方ハLスタンドトシテローラー  
マークヲ左方向ニ一致セシメLゲージ  
板ニテ取調ベル

合時ニLアレンダークリヤラーズプリン  
グヲLクリヤラーガローラー面ヨリ約  
1/4吋程出ル様調整シテ取付  
ケLスタンドスライドヲ堅ク締付ケ

ル

(4) Lキヤフアバーフィンガー取付

Lキヤフアバーフィンガーヲローラー  
ト直角ニ且ツ等距離ニ取付ケタ  
ル後、Lゲージ調整器ニテLネツブ  
ノ位置ヲ定メ締付ケ置ク

(5) Lフラットカバー取付



[40]

コンパウンド・フック<sup>7</sup>ヲ記号通り順  
番ニシテエレ<sup>7</sup>ヨリ配選シ、奥ノ  
用閉ニ故障<sup>7</sup>キ様調整シテ  
取付ケル

[6] フロントプレート<sup>7</sup>取付

フロントプレート<sup>7</sup>ヲ順番ニ取付  
ケ、全時ニシテバイディングプレート<sup>7</sup>及ヒ  
全シブラケット<sup>7</sup>ヲ順番ニ取付ケ  
ル

[41]

### 第八章 後部及相廻リ

[1] ダブルアーカーバー<sup>7</sup>取付

ストップレール<sup>7</sup>ニシテアーカーバーキヤリイ  
ングブラケット<sup>7</sup>及ヒダブルアーカーバー  
ブラケット<sup>7</sup>ヲ水平ニ取付ケ、ストップレ  
ール<sup>7</sup>ヲ木管ノリフト<sup>7</sup>ノ中央ニ置キ  
ラックアーカーバー<sup>7</sup>全シスライド<sup>7</sup>全  
シスタット<sup>7</sup>等ヲ組合セ水平ニナル  
様調整スル

[2] ロングラック<sup>7</sup>ニストップブラケ  
ット<sup>7</sup>ヲ取付ケシストップレール<sup>7</sup>ヲ  
モーショ<sup>7</sup>ニシテラック<sup>7</sup>ニ合ハセテローラー  
ビーム<sup>7</sup>ニ取付ケロングラック<sup>7</sup>トノ関  
係ハ試運転ノ際調整スル

[3] ロックドアー<sup>7</sup>取付

ドアクロスビーム<sup>7</sup>ヲ正位置ニ取付



(42)

ケリロッキングドアー、各附属品ヲ  
組合ヒ調整シテ取付ケル

(4) トッポコーンシャフト、レバフク42<sup>7</sup>  
取付

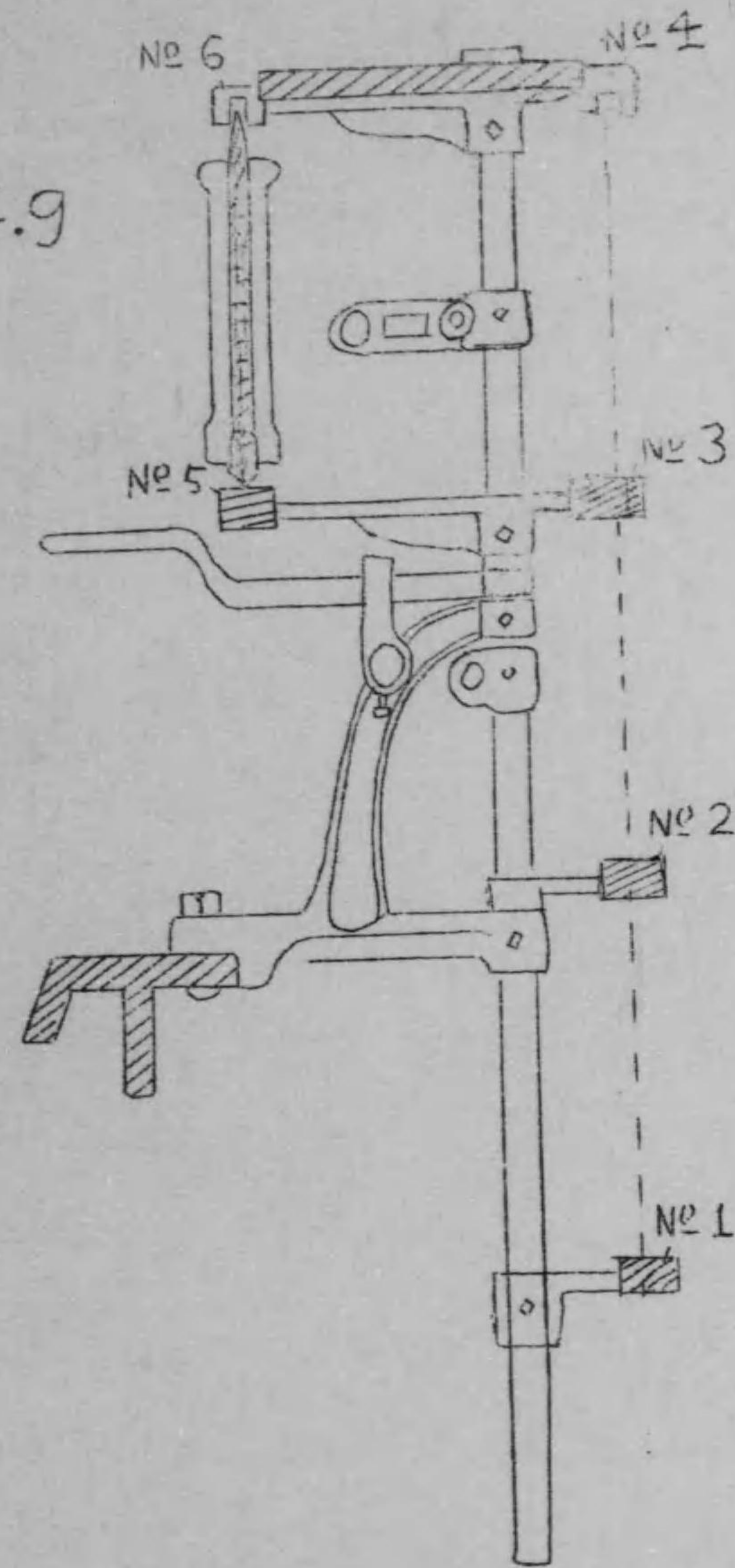
レバフク42<sup>7</sup>及レブラケット<sup>7</sup>ヲ順番  
ニ取付ケ、各時ニレボトムコーンホ  
ールガード<sup>7</sup>ヲ取付ケル

(5) レクリールロッド<sup>7</sup>取付

レ各ストラップロッドピラー<sup>7</sup>ヲ順  
番ニ配置シ、又レレクリールロッド<sup>7</sup>  
レセフケングオンハンドル<sup>7</sup>及ビレクリール  
バーブラケット<sup>7</sup>ヲ組合ハセテ各々  
ローラービーム<sup>7</sup>ニ取付ケ、レセフケング  
オンハンドル<sup>7</sup>ニレバフク<sup>7</sup>ヲ入レ、レセフ  
ケングロッド<sup>7</sup>ヲ軽快ニ動かス様  
調整シテ取付ケル (FIG 9 参照)

(43)

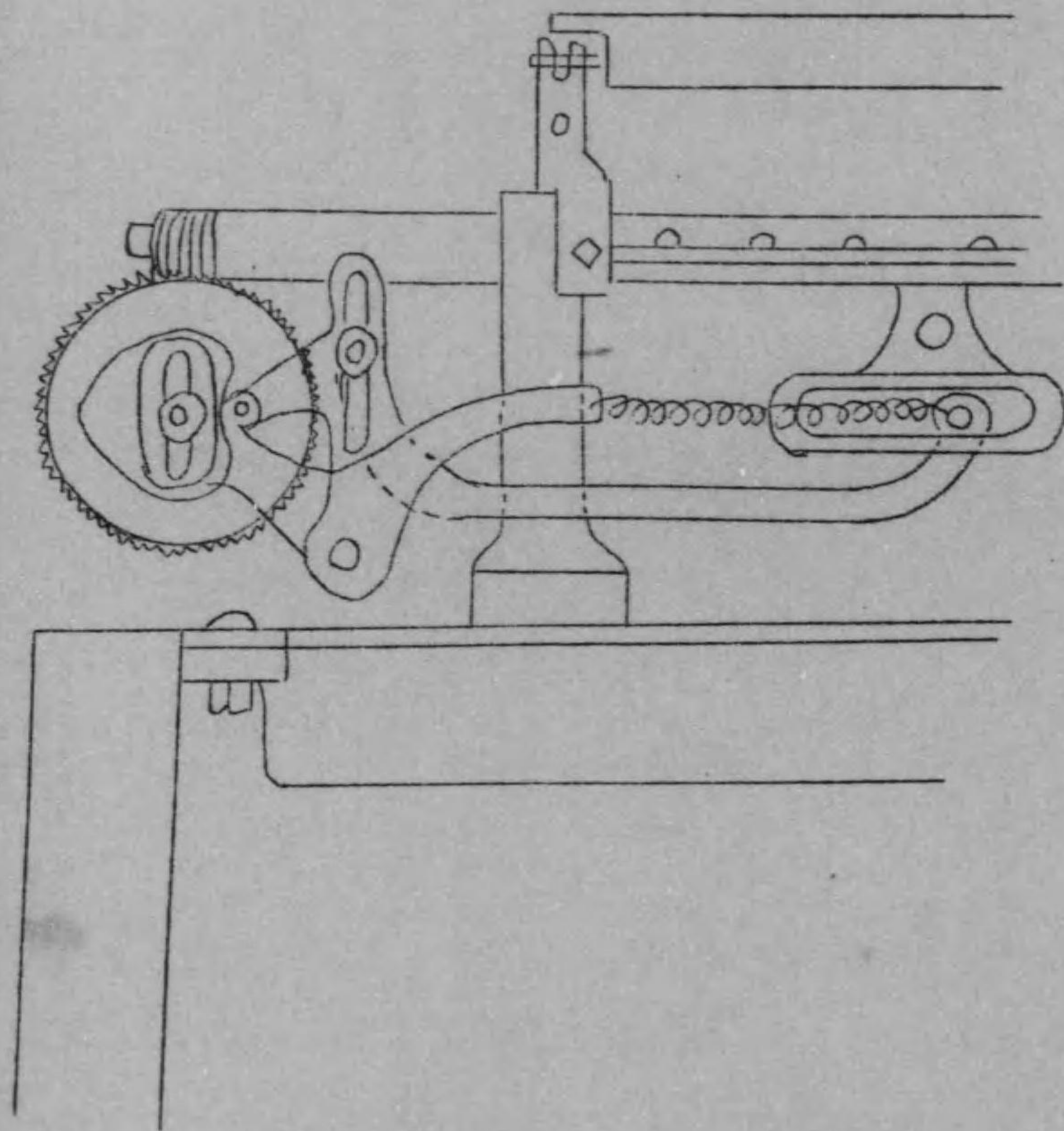
FIG. 9





(44)

FIG. 10



(45)

(6) 「クローバー」取付

「クローバー」ヲ順番ニ配置シ  
水平ニ之ヲ取付ケル、但シ操業  
ノ便利ヲ図リ成ルベク低ク取付  
クルヲ可トス

(7) 「トフボード」類取付

「トフボード」 「バックボード」ヲ順  
番ニ取付ケル

合時ニ「ホビ」ボックス<sup>1</sup> 及「アクト  
ボード」ネームプレート<sup>1</sup>ヲ取付ケル



(46)

### 第九章 機端廻り取付

#### (1) ドライビングシャフト取付

ドライブシャフトヲ円滑ニ回  
転スル様調整シ、次ニドライブ  
シャフトホーシヲシヤフトノ適當ノ位置  
ニ締付ケ、其他此シヤフトニ取付  
クベキボックスホーシ、シヤキボックス  
ロングソケットホーシヲ挿入シテ正シ  
キ位置ニ取付ケル

#### (2) シダブルスリグレバー取付

スリグホーシヲ正シクシダブル  
スリグレバーニ取付ケシボックスホー  
シトトフフカフリングホーシノ上  
ニ置キスリグスリグレバーヲ以テ  
適當ニ兩者ノ交合セヲ調整ス  
ル

(47)

#### (3) シラ-4アームホーシ取付

シラ-4アームホーシスタッドヲフレーム  
ノマークニ合セテ取付ケ、合シホーシ  
ヲ挿入シ上ドライブホーシト  
下シボトムカフリングホーシノ交合  
セヲ調整スル

次ニシレートアイロンパネルプレートヲ  
取付ケ、合時ニシコパワードキャリヤ  
ブラケット(ラックエスケープモーション用)  
合シスタッド及ビ合シホーシヲ取付  
ケル

#### (4) シドライブプーラー取付

シレートパネルヲ取付ケシライホー  
シ、ドライブプーラー及ビシオ  
バーハレギレクフエラ-アーム、シコパ  
ワードフライホーシ等ヲ正正確ニ取



(48)

付ケルスフーラー<sup>7</sup>ト<sup>7</sup>オーバーハンギ  
ングキヤン<sup>7</sup>ヲ組合セテ取付ケル

合時<sup>7</sup>ニ<sup>7</sup>ラックエスケープ<sup>7</sup>モ<sup>7</sup>ニ<sup>7</sup>コ  
ル<sup>7</sup>4<sup>7</sup>スエレ<sup>7</sup>ゲ<sup>7</sup>レ<sup>7</sup>バ<sup>7</sup>ヲ廻リ<sup>7</sup>附  
属<sup>7</sup>品<sup>7</sup>ヲ取付ケル

(5) <sup>7</sup>ローラー<sup>7</sup>ギヤ<sup>7</sup>取付

<sup>7</sup>フリコ<sup>7</sup>テ<sup>7</sup>フ<sup>7</sup>ローラー<sup>7</sup>ニ<sup>7</sup>ミッドル<sup>7</sup>及  
バックス<sup>7</sup>ホ<sup>7</sup>ル<sup>7</sup>ヲ挿入シ<sup>7</sup>ステ<sup>7</sup>ブ<sup>7</sup>ラ<sup>7</sup>ケ  
ット<sup>7</sup>ヲ取付ケル

次<sup>7</sup>ニ<sup>7</sup>バックス<sup>7</sup>ローラー<sup>7</sup>ニ<sup>7</sup>バックス<sup>7</sup>ロー  
ラー<sup>7</sup>ホ<sup>7</sup>ル<sup>7</sup>ヲ挿入シ、<sup>7</sup>フロント<sup>7</sup>ロー  
ラー<sup>7</sup>ブ<sup>7</sup>ラ<sup>7</sup>ケ<sup>7</sup>ット<sup>7</sup>ヲ取付ケ、<sup>7</sup>4<sup>7</sup>エン  
ジ<sup>7</sup>ホ<sup>7</sup>ル<sup>7</sup>キヤン<sup>7</sup>ブ<sup>7</sup>ラ<sup>7</sup>ケ<sup>7</sup>ット<sup>7</sup>ヲ取付ケ、<sup>7</sup>クラ  
ウ  
ン<sup>7</sup>ホ<sup>7</sup>ル<sup>7</sup>及<sup>7</sup>ビ<sup>7</sup>ス<sup>7</sup>タ<sup>7</sup>フ<sup>7</sup>ト<sup>7</sup>ヲ<sup>7</sup>キヤ  
ン  
ブ<sup>7</sup>ラ<sup>7</sup>ケ<sup>7</sup>ット<sup>7</sup>ニ<sup>7</sup>挿入シ、<sup>7</sup>フロント  
ローラー<sup>7</sup>ニ<sup>7</sup>フロント<sup>7</sup>ローラー<sup>7</sup>ニ<sup>7</sup>オン<sup>7</sup>

(49)

ヲ入レ<sup>7</sup>フロント<sup>7</sup>ローラー<sup>7</sup>ニ<sup>7</sup>オン<sup>7</sup>ト<sup>7</sup>ク  
ラウ<sup>7</sup>ン<sup>7</sup>ホ<sup>7</sup>ル<sup>7</sup>ト<sup>7</sup>ノ<sup>7</sup>交<sup>7</sup>合<sup>7</sup>セ<sup>7</sup>ヲ<sup>7</sup>完<sup>7</sup>全<sup>7</sup>ニ<sup>7</sup>シ  
ミッドル<sup>7</sup>ニ<sup>7</sup>オン<sup>7</sup>及<sup>7</sup>バックス<sup>7</sup>ニ<sup>7</sup>オン<sup>7</sup>ト  
ダブル<sup>7</sup>キヤ<sup>7</sup>リヤ<sup>7</sup>ホ<sup>7</sup>ル<sup>7</sup>ト<sup>7</sup>ノ<sup>7</sup>交<sup>7</sup>合<sup>7</sup>セ<sup>7</sup>ヲ  
調整シ<sup>7</sup>4<sup>7</sup>エン<sup>7</sup>ジ<sup>7</sup>ホ<sup>7</sup>ル<sup>7</sup>ヲ取付  
ケル

(6) <sup>7</sup>フロント<sup>7</sup>ローラー<sup>7</sup>ホ<sup>7</sup>ル<sup>7</sup>取付

<sup>7</sup>フロント<sup>7</sup>ローラー<sup>7</sup>ニ<sup>7</sup>アーム<sup>7</sup>ホ<sup>7</sup>ル<sup>7</sup>ヲ  
取付ケ、次<sup>7</sup>ニ<sup>7</sup>ギヤ<sup>7</sup>ニ<sup>7</sup>ネーム<sup>7</sup>プレート<sup>7</sup>  
ヲ取付ケ、合時<sup>7</sup>ニ<sup>7</sup>ブレーキ<sup>7</sup>モ<sup>7</sup>ニ<sup>7</sup>コ  
ノ<sup>7</sup>右<sup>7</sup>附<sup>7</sup>属<sup>7</sup>品<sup>7</sup>ヲ組合セ<sup>7</sup>調整シ<sup>7</sup>テ取  
付ケル

(7) <sup>7</sup>トラバース<sup>7</sup>モ<sup>7</sup>ニ<sup>7</sup>コ<sup>7</sup>及<sup>7</sup>ビ

<sup>7</sup>イン<sup>7</sup>ゲ<sup>7</sup>ケ<sup>7</sup>ター<sup>7</sup>取付

機台<sup>7</sup>ル<sup>7</sup>アウト<sup>7</sup>エ<sup>7</sup>ド<sup>7</sup>ニ<sup>7</sup>トラバース<sup>7</sup>モ  
ニ<sup>7</sup>コ<sup>7</sup>ヲ取付ケル、<sup>7</sup>ウ<sup>7</sup>オーム<sup>7</sup>ホ<sup>7</sup>ル<sup>7</sup>



(50)

ル<sup>7</sup>ト<sup>7</sup>ロ<sup>7</sup>バックローラー<sup>7</sup>ウオーム<sup>7</sup>ノ<sup>7</sup>交  
合セヲ<sup>7</sup>正シク調整シ<sup>7</sup>レバー<sup>7</sup>  
及<sup>7</sup>ス<sup>7</sup>コ<sup>7</sup>リ<sup>7</sup>ダ<sup>7</sup>ノ<sup>7</sup>調整ハ<sup>7</sup>試<sup>7</sup>運<sup>7</sup>転  
ハ<sup>7</sup>キ<sup>7</sup>條<sup>7</sup>ヲ<sup>7</sup>レ<sup>7</sup>ト<sup>7</sup>フ<sup>7</sup>ローラー<sup>7</sup>ニ<sup>7</sup>通<sup>7</sup>シ<sup>7</sup>テ  
完全ニ<sup>7</sup>調整スル(FIG 10 参照)  
レ<sup>7</sup>バ<sup>7</sup>ケ<sup>7</sup>タ<sup>7</sup>ノ<sup>7</sup>ハ<sup>7</sup>アウト<sup>7</sup>エ<sup>7</sup>ント<sup>7</sup>ノ<sup>7</sup>ロー  
ラー<sup>7</sup>ビーム<sup>7</sup>ブ<sup>7</sup>ラ<sup>7</sup>ケ<sup>7</sup>ツ<sup>7</sup>ト<sup>7</sup>ノ<sup>7</sup>フ<sup>7</sup>ロ<sup>7</sup>ント<sup>7</sup>ス<sup>7</sup>クル<sup>7</sup>ト<sup>7</sup>  
ト<sup>7</sup>共<sup>7</sup>通<sup>7</sup>ノ<sup>7</sup>金<sup>7</sup>具<sup>7</sup>ヲ<sup>7</sup>取<sup>7</sup>付<sup>7</sup>ケ<sup>7</sup>ラ<sup>7</sup>レ<sup>7</sup>タ<sup>7</sup>シ<sup>7</sup>ブ<sup>7</sup>ラ<sup>7</sup>ケ<sup>7</sup>ツ<sup>7</sup>  
ト<sup>7</sup>ノ<sup>7</sup>レ<sup>7</sup>バ<sup>7</sup>ツ<sup>7</sup>ク<sup>7</sup>ニ<sup>7</sup>取<sup>7</sup>付<sup>7</sup>ケ<sup>7</sup>ル<sup>7</sup>、<sup>7</sup>其<sup>7</sup>ノ<sup>7</sup>レ<sup>7</sup>ウ<sup>7</sup>オー  
ム<sup>7</sup>ホ<sup>7</sup>ル<sup>7</sup>ト<sup>7</sup>ノ<sup>7</sup>フ<sup>7</sup>ロ<sup>7</sup>ント<sup>7</sup>ローラー<sup>7</sup>ウオーム<sup>7</sup>ト<sup>7</sup>ノ<sup>7</sup>  
交<sup>7</sup>合<sup>7</sup>セ<sup>7</sup>ヲ<sup>7</sup>正<sup>7</sup>シ<sup>7</sup>ク<sup>7</sup>調整スル。

(完)

(51)

## 粗紡機保全法

### 第壹章 大修理

#### (1) 大修理ノ周期

粗紡機ハ<sup>7</sup>最<sup>7</sup>初<sup>7</sup>据<sup>7</sup>付<sup>7</sup>ケ<sup>7</sup>テ<sup>7</sup>カ<sup>7</sup>ラ  
壹<sup>7</sup>年<sup>7</sup>運<sup>7</sup>転<sup>7</sup>シ<sup>7</sup>クル<sup>7</sup>上<sup>7</sup>必<sup>7</sup>ズ<sup>7</sup>之<sup>7</sup>ヲ<sup>7</sup>据<sup>7</sup>付<sup>7</sup>  
直<sup>7</sup>シ<sup>7</sup>、修<sup>7</sup>繕<sup>7</sup>ス<sup>7</sup>ベ<sup>7</sup>キ<sup>7</sup>個<sup>7</sup>所<sup>7</sup>ヲ<sup>7</sup>修<sup>7</sup>理<sup>7</sup>シ<sup>7</sup>、  
機<sup>7</sup>台<sup>7</sup>全<sup>7</sup>部<sup>7</sup>ノ<sup>7</sup>水<sup>7</sup>平<sup>7</sup>ヲ<sup>7</sup>完<sup>7</sup>全<sup>7</sup>ニ<sup>7</sup>匡<sup>7</sup>正<sup>7</sup>ス<sup>7</sup>ル<sup>7</sup>、  
第<sup>7</sup>二<sup>7</sup>回<sup>7</sup>ノ<sup>7</sup>大<sup>7</sup>修<sup>7</sup>理<sup>7</sup>ハ<sup>7</sup>別<sup>7</sup>ニ<sup>7</sup>周<sup>7</sup>期<sup>7</sup>ヲ<sup>7</sup>定<sup>7</sup>メ  
ズ<sup>7</sup>機<sup>7</sup>台<sup>7</sup>ノ<sup>7</sup>調<sup>7</sup>子<sup>7</sup>悪<sup>7</sup>シ<sup>7</sup>キ<sup>7</sup>モ<sup>7</sup>ヨ<sup>7</sup>リ<sup>7</sup>順<sup>7</sup>次  
解<sup>7</sup>台<sup>7</sup>シ<sup>7</sup>テ<sup>7</sup>大<sup>7</sup>修<sup>7</sup>理<sup>7</sup>ス<sup>7</sup>ル

#### (2) 解台ノ順序

(1) 先<sup>7</sup>ヅ<sup>7</sup>糸<sup>7</sup>ノ<sup>7</sup>コ<sup>7</sup>ヲ<sup>7</sup>切<sup>7</sup>リ<sup>7</sup>テ<sup>7</sup>玉<sup>7</sup>揚<sup>7</sup>ヲ<sup>7</sup>ナ  
シ<sup>7</sup>ク<sup>7</sup>リ<sup>7</sup>ル<sup>7</sup>、<sup>7</sup>條<sup>7</sup>卷<sup>7</sup>ヲ<sup>7</sup>全<sup>7</sup>部<sup>7</sup>他<sup>7</sup>ノ<sup>7</sup>台<sup>7</sup>ニ<sup>7</sup>移  
シ<sup>7</sup>ス<sup>7</sup>キ<sup>7</sup>ヤ<sup>7</sup>ー<sup>7</sup>ヲ<sup>7</sup>全<sup>7</sup>部<sup>7</sup>、<sup>7</sup>特<sup>7</sup>定<sup>7</sup>ノ<sup>7</sup>箱<sup>7</sup>ニ<sup>7</sup>納<sup>7</sup>メ  
其<sup>7</sup>不<sup>7</sup>正<sup>7</sup>品<sup>7</sup>ヲ<sup>7</sup>修<sup>7</sup>繕<sup>7</sup>セ<sup>7</sup>シ<sup>7</sup>ム



[52]

(2) フライヤー<sup>7</sup>ヲ全部<sup>7</sup>特定<sup>7</sup>ノ箱<sup>7</sup>ニ  
納メ具不正<sup>7</sup>ヲ修繕セシム

(3) ウェイトワイヤー<sup>7</sup>ヲ外シ「サドル」<sup>7</sup>  
「フック」<sup>7</sup>ヲ特定<sup>7</sup>ノ箱<sup>7</sup>ニ納メ「トップ」<sup>7</sup>ロ  
ラー<sup>7</sup>ヲ全部<sup>7</sup>取外シ「ローラー」<sup>7</sup>場<sup>7</sup>ニ  
送ル、同時ニ「アルダー」<sup>7</sup>クリヤラー<sup>7</sup>ヲ取外  
シ「ローラー」<sup>7</sup>場<sup>7</sup>ニ送ル

(4) 「グリー」<sup>7</sup>附属品<sup>7</sup>ヲ取外シ運  
転棒<sup>7</sup>ヲ取外シ「ストラップ」<sup>7</sup>ロッド<sup>7</sup>ピラー<sup>7</sup>ヲ  
取外ス

(5) 「ローラー」<sup>7</sup>カバー<sup>7</sup>ヲ取外シ「キャップ」<sup>7</sup>  
バー<sup>7</sup>ヲ取外シ「ローラー」<sup>7</sup>ギヤリング<sup>7</sup>ヲ取り  
外ス(同時ニ「トラバース」<sup>7</sup>ガイド<sup>7</sup>ヲ取外ス)

(6) 「ホイ」<sup>7</sup>ロラー<sup>7</sup>ハ具<sup>7</sup>「フ」<sup>7</sup>リユネット<sup>7</sup>  
セクション<sup>7</sup>ヲ離シ具<sup>7</sup>「ス」<sup>7</sup>ケーアト<sup>7</sup>「ネ」<sup>7</sup>ック<sup>7</sup>  
ヲ益々<sup>7</sup>分離スル

[53]

(7) 「ロー」<sup>7</sup>ラー<sup>7</sup>スタッド<sup>7</sup>ヲ離シ具<sup>7</sup>「フ」<sup>7</sup>ラス  
ブッシング<sup>7</sup>ヲ均齊<sup>7</sup>、高度<sup>7</sup>ニ摺合セスル

(8) 「A」<sup>7</sup>テ<sup>7</sup>ル<sup>7</sup>ケーシング<sup>7</sup>「ボ」<sup>7</sup>ード<sup>7</sup>ヲ取外  
シ「ボ」<sup>7</sup>ビン<sup>7</sup>「ホ」<sup>7</sup>ール<sup>7</sup>ヲ抜キ「ス」<sup>7</sup>ピンドル<sup>7</sup>「ホ」<sup>7</sup>井  
ール<sup>7</sup>ヲ弛メテ全部<sup>7</sup>「ス」<sup>7</sup>ピンドル<sup>7</sup>ヲ抜ク

(9) 「ダブル」<sup>7</sup>ス<sup>7</sup>井<sup>7</sup>「グ」<sup>7</sup>レバー<sup>7</sup>ヲ取外シ、  
「トップ」<sup>7</sup>カッ<sup>7</sup>「リ」<sup>7</sup>ズ<sup>7</sup>「ホ」<sup>7</sup>ール<sup>7</sup>、鉤<sup>7</sup>ヲ弛メ  
「トップ」<sup>7</sup>レール<sup>7</sup>ニ9本<sup>7</sup>受木<sup>7</sup>ヲ入レ後  
部<sup>7</sup>「バ」<sup>7</sup>ランス<sup>7</sup>ウエート<sup>7</sup>ヲ外ス

(10) 「トップ」<sup>7</sup>スキエギヤ<sup>7</sup>カッ<sup>7</sup>「リ」<sup>7</sup>ズ<sup>7</sup>「ホ」<sup>7</sup>ール<sup>7</sup>  
ヲ弛メ「ス」<sup>7</sup>キユギヤ<sup>7</sup>「ホ」<sup>7</sup>ール<sup>7</sup>、附着セルマ  
「ボ」<sup>7</sup>ビン<sup>7</sup>シャフト<sup>7</sup>ヲ取下ス

(11) 「ギヤ」<sup>7</sup>エンド<sup>7</sup>「フ」<sup>7</sup>ニレ<sup>7</sup>及<sup>7</sup>歯車<sup>7</sup>ヲ取  
外シ廻根<sup>7</sup>廻リ<sup>7</sup>、歯車<sup>7</sup>ヲ取外ス

(12) 「ドラ」<sup>7</sup>ベ<sup>7</sup>ン<sup>7</sup>グ<sup>7</sup>シャフト<sup>7</sup>ヲ抜キ「トップ」<sup>7</sup>  
コー<sup>7</sup>ニ<sup>7</sup>シャフト<sup>7</sup>ヲ取外ス



{54}

- (13) 「ロングラック」及「ビルディングモーション」付属品ヲ取外ス
- (14) 「ウォームシャフト」ヲ取外シ「ボトムコマンドラム」ヲ取外ス
- (15) 「リフターラック」ヲ取外シ「リフターピラー」ト共ニ「リフターシャフト」ヲ取外ス
- (16) 「レグボードブラケット」ヲ取去リ「スピンドルシャフト」ヲ「スキュギヤ」ノ附着セルマ、取外ス
- (17) 「スライドブラケット」ヲ「セメ」トツ「プロールカッパリングプレート」ヲ外シテ「トッププレート」ヲ取下ロス
- (18) 取残セルタル付属品全部ヲ取去リ益々清掃シ具、破損セルモノノ減セルモノヲ調査シ之々修繕管ニ送ル

{55}

### {3} 荒組ノ順序

- (1) 「メーンシャフト」ヨリ垂線ヲ下シ「ギヤエンド」外側線ノ狂ヒヲ調査ス
- (2) 「ギヤエンドフレーム」ノ「スライド」ニ「スクエア」ヲ入レ具、水平ト右、振レヲ調査ス
- (3) 「アウトエンド」ノ位置ノ狂ヒヲ前系ニヨリテ調査シ「ボトムルール」ニ水系ヲ張リテ具水平ト出入ヲ調査ス
- (4) 「スワッピングピース」ノ「スライド」ニ「スクエア」ヲ入レ具水平ト右、振レヲ調査ス
- (5) 水平「タング」ヲ機台ノ中央ニ置キニローラー「ビーム」両端ニ直ル水平ヲ調査ス



(56)

(6) ローラースタート<sup>7</sup>ヲ取付ケル  
スタレダートロー<sup>7</sup>ヲ用ヒテ直線ニス  
ル

(7) トツプレール<sup>7</sup>ヲノセ(ボトムレ  
ール上ニ台木ヲ準備シタル後)ニス  
ライドブラケット<sup>7</sup>ヲ取付ル、左右両  
端ルカラー<sup>7</sup>ニスピンドル<sup>7</sup>ヲ挿ス

(8) ローラースタート<sup>7</sup>ニ水系ヲ張リ  
スピンドル<sup>7</sup>ノ上下ニ水系ヲ引廻シ  
テ張ル

(9) スタレダート<sup>7</sup>ノスピンドル<sup>7</sup>ヲ用ヒ  
テカラーゲージ<sup>7</sup>ヲトル

(10) リフターピラー<sup>7</sup>ヲ取付ケリフ  
ターシャフト<sup>7</sup>ヲノセル

(4) 附属品取付ノ順序

(1) ボトムスキューヤシャフト<sup>7</sup>取付

(57)

カップリングホル<sup>7</sup>及各スキューヤ  
ビベル<sup>7</sup>取付ケルケーシングボルト<sup>7</sup>ブラケ  
ット<sup>7</sup>取付ル

(2) トツプレール<sup>7</sup>ニリフターラック<sup>7</sup>取  
付ケトツプスキューヤシャフト<sup>7</sup>取付ケ、  
スキューヤビベル<sup>7</sup>ヲ入シ其他ケーシ  
ングボルト<sup>7</sup>ブラケット<sup>7</sup>取付ル

(3) 廻根廻リ取付ケ、ローラー<sup>7</sup>  
廻リ取付ケ、クリール<sup>7</sup>廻リ取付ケ、  
凡テカバー<sup>7</sup>類ヲ取付ル

(取付法ハ据附法参照)

(5) 試運転

(1) 機台ニトツプレラー<sup>7</sup>ヲ置キ、  
スピンドルカラー<sup>7</sup>ニ注油シフライヤー<sup>7</sup>  
及ビ木管ヲ挿シ、クリール<sup>7</sup>ニハスキュー  
ヤ<sup>7</sup>ヲ立テル



(58)

(2) 廻根及各スライト<sup>7</sup> ローラー  
ギヤリング<sup>7</sup> 全部ヲ通ジテ<sup>7</sup> 町<sup>7</sup> 寧<sup>7</sup> =  
注油ス

(3) 廻根、凡テ、歯車 = レギヤブリー  
ス<sup>7</sup> ヲ<sup>7</sup> 塗<sup>7</sup>、凡テ、レヤフト<sup>7</sup>、軸受 = ハ  
タロー<sup>7</sup> ヲ入レル

(4) レスピンドルステップ<sup>7</sup> = 油ヲ入レ  
ローラーネック<sup>7</sup> = 油ヲ入レル

(5) レドライブ<sup>7</sup> ベルト<sup>7</sup> 及 レコーン  
ドラム<sup>7</sup> ベルト<sup>7</sup> ヲ掛ケ レドラッグウェイト<sup>7</sup>  
ノロープ<sup>7</sup> ヲ付ケル

(6) レリフト<sup>7</sup> ノ中心ヲ出シ レビル<sup>7</sup> 4<sup>2</sup>  
グモーション<sup>7</sup>、調整ヲナス

(7) レバー<sup>7</sup> シングロッド<sup>7</sup> ヲ入レ レバー  
レ<sup>2</sup> グ<sup>7</sup> ビ<sup>7</sup> ベルト<sup>7</sup> レビル<sup>7</sup> 4<sup>2</sup> グ<sup>7</sup> モー<sup>7</sup> ショ<sup>7</sup> ン<sup>7</sup> ト  
ノ調整ヲナス

(59)

(8) レトラバース<sup>7</sup> モー<sup>7</sup> ショ<sup>7</sup> ン<sup>7</sup>、調整  
ヲナシ レアンダー<sup>7</sup> クリヤラー<sup>7</sup> ヲ入レル

(9) 先ッ<sup>7</sup> レ<sup>2</sup> ス<sup>7</sup> ト<sup>7</sup> ホ<sup>7</sup> ホ<sup>7</sup> ル<sup>7</sup> ヲ外シテ  
レ<sup>7</sup> ビ<sup>7</sup> ン<sup>7</sup> ト<sup>7</sup> レ<sup>7</sup> ス<sup>7</sup> ピ<sup>7</sup> ン<sup>7</sup> ドル<sup>7</sup>、試運転ヲス  
ル、レ<sup>7</sup> ビ<sup>7</sup> ン<sup>7</sup> ト<sup>7</sup> 離<sup>7</sup> 上<sup>7</sup> リヲ<sup>7</sup> 匡<sup>7</sup> 正<sup>7</sup> スル

(10) レクリール<sup>7</sup> = 篠巻ヲ付ケ ローラー<sup>7</sup>  
ノ間 = 引込ミ糸、口ヲ出ス、レ<sup>7</sup> フ<sup>7</sup> ヤ  
ー<sup>7</sup> ヲ<sup>7</sup> 通<sup>7</sup> テ<sup>7</sup> 木<sup>7</sup> 管<sup>7</sup> = マキ<sup>7</sup> 付<sup>7</sup> ケ<sup>7</sup> 徐<sup>7</sup> 々<sup>7</sup> = 運  
転ヲ掛ケル (ツ<sup>7</sup> 井<sup>7</sup> ス<sup>7</sup> ト<sup>7</sup> ホ<sup>7</sup> ホ<sup>7</sup> ル<sup>7</sup> ヲ合ハス)

(11) レリフト<sup>7</sup>、両端ハ、レビル<sup>7</sup> 4<sup>2</sup> グ<sup>7</sup> モー  
ショ<sup>7</sup> ン<sup>7</sup>、レ<sup>7</sup> ア<sup>7</sup> 4<sup>2</sup> ヤ<sup>7</sup> ス<sup>7</sup> 4<sup>2</sup> グ<sup>7</sup> ス<sup>7</sup> クル<sup>7</sup> = テ<sup>7</sup> 完<sup>7</sup> 全<sup>7</sup>  
= 定<sup>7</sup> メ<sup>7</sup> ル

(12) 篠巻ヲ上ケ<sup>7</sup> 具、レ<sup>7</sup> ゲ<sup>7</sup> レ<sup>7</sup> ン<sup>7</sup> ト<sup>7</sup> レ<sup>7</sup> ツ  
イスト<sup>7</sup> ヲ<sup>7</sup> 試<sup>7</sup> 験<sup>7</sup> シ<sup>7</sup> 捲<sup>7</sup> 取<sup>7</sup>、調子良キトキ  
ハ<sup>7</sup> 運<sup>7</sup> 転<sup>7</sup> 方<sup>7</sup> = 渡<sup>7</sup> ス



(60)

## 第八章 定期修理

### (1) 定期修理、周期

粗紡機ヲ昼夜運転スル工場ニ於テハ、1ヶ月ニ1回ノ周期ヲ定メテローラー廻リ及ビ廻根廻リヲ右台輪番ニ掃除シ併セテ具故障ノ原因トナルベキ部分ヲ確實ニ修理シテ置クヲ必要ナル

### (2) 定期修理、順序

(1) 玉揚ト全時ニ機械ヲ止メドラフトエンジンホイルヲ取外シシフトワストフニレ、方ニ少シレベルトヲ動かセバ全部系ノロカ切レル

(2) 之ヨリ定期修理ニ掛ル、所要人員ハ特定ニ男4人(責任者ハ工頭及ハ助手)トス

(61)

(3) 先ヅウェイトフックヲ外ヅシローラービームノ上ニ置ク

(4) ローラーカバーヲ開ケシアッパークリヤラーノ風棉ヲトリ、下ニアルシアンダークリヤラーヲ取外ス

(5) レザーローラーヲシキヤツフバーヨリ取下シ、全時ニレザーニ巻付ケルローラーラップ及ビ風棉ヲ取除ク

(6) レザーローラーハ其レレザーコットヲ善セナイ様、別箱ニ入レローラー場ニ送ル

(7) シキヤツフバーノ錠ヲ止メテヒゲ附着セル風棉ヲ取去リ、全時ニシトラバースガイドノ風棉ヲ取去ル

(8) シボルトムローラーニ残リタル粗糸全部シトラバースガイドカラクリールノ

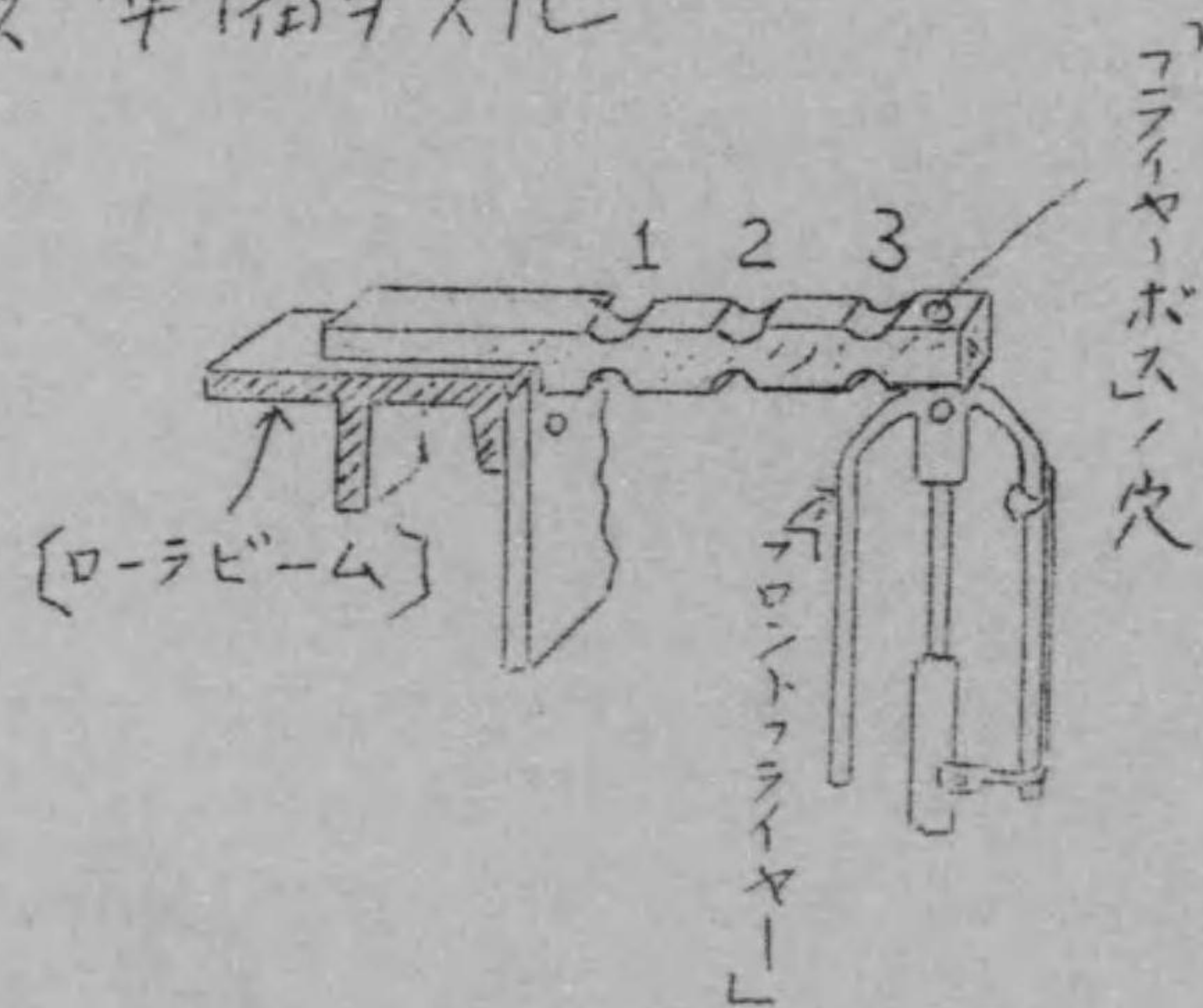


[62]

方へ捲取ツテ置ク

(9) Lギヤエンド<sup>7</sup>、Lネームプレート<sup>7</sup>ヲ明  
ケLフロントローラーホ<sup>7</sup>、Lフロントロー  
ラーピ<sup>7</sup>、Lクラウンホ<sup>7</sup>、L及ビLドラフト  
ホ<sup>7</sup>等<sup>7</sup>、Lローラーギヤリング<sup>7</sup>ヲ順次  
取外シLクラウンスタ<sup>7</sup>ト共ニ掃除  
スル

(10) 次ギニLボトムローラー<sup>7</sup>ヲ取下  
ス準備ヲスル



[63]

図ノ如キLローラーブロック<sup>7</sup>ヲロー  
ラービームト前列<sup>7</sup>、Lフライヤー<sup>7</sup>ノ頸部ニ  
渡シ機台<sup>7</sup>ノ両端ニ直テ10個程  
配置スル

両端ト中央ニ各所ニ五人ノ人  
員ヲ配置シ一府ニLボトムローラー<sup>7</sup>  
ヲ持上ル、此際、ローラー<sup>7</sup>ヲ真直ニ持  
上ケLフロントローラー<sup>7</sup>ヲブロック<sup>7</sup>ノ(2)ノ  
位置ニ置キLダブルローラー<sup>7</sup>ヲ(3)ノ  
位置ニ置キLバックローラー<sup>7</sup>ヲ(1)ノ位  
置ニ置ク

(11) Lボトムローラー<sup>7</sup>ノLフリユート<sup>7</sup>ヲ  
掃除スル、Lフリユート<sup>7</sup>ニ粘着セル雜物  
ハ上等ノ剛キLブラシ<sup>7</sup>ヲ用ヒル、充  
分掃除シタル後、白墨ヲ以テ具ノ  
表面ヲ磨ク



[64]

(12) ローラー磨キノ間 責任者ハ  
トランスモーションヲ掃除シ正シク  
取付直ス

(13) 廻根、歯車ヲ調ベ其不正ナ  
ルモノ取替ヘル、エキヤヤーホ、ホール  
及スタッド、油孔ハ特ニ注意シ、  
油塵ヲ掘出シ新ラニキ油ト入  
替ヘ置ク

(14) 凡テ、掃除終ラバ機台ノ  
各部ヲ元トノ如ク取付ケシホトム、ロー  
ラーハ再ビスタッドノ上ニ前ト合様  
ノ方法ニシテ、ローラー、ゲージハ  
全部通ジテ精密ニ調査スル

(15) 次ニ粗糸ノ端ハトランスガ  
イドヲ通シテ引出サシフロントローラ  
ーノ前ヲ掛掛ケル

[65]

(16) エキヤフバーヲ下方ニ動かカシ  
エキヤフバーゲージヲ用ヒテ、其ノ全部ヲ  
通ジテトワプロロー、ゲージヲ検査  
シタル後チ、リフト、リフト、ローラー  
ヲ元トノ如ク置ク

(17) フロントピン、クラウンホ、ホール  
及ビドラフトホ、ホール等、ローラーギヤリン  
グヲ正シキ位置ニ取付ケル

(18) フロントローラーホ、ホールヲ取付ケ  
ル、此際特ニリフト、リフト、ホ、ホー  
ルヲ取除ク、此レハ糸ノ口出ニシテ  
フロントホ、ホールヲ手廻ハシスルタメ、便  
利ナル

(19) リフト、ローラーノ前面ニテ粗糸  
ノ端ヲ切り捨テフロントレガーローラー  
ヲ正シクエキヤフバーノ間ニ置ク



[66]

(20) ローラーウエートヲ釣リ、フロントローラーホーイルヲ2, 3回手廻ハシ、テ粗糸ノ端ヲ前面ニ出シ正ニキ厚サノ糸口ヲ出ス、此ノ糸口ハ糸継ギノ便利上一定長サヲ残シテ正ニテ揃ヘテセカリ取ル

(21) バックシャフトエンドホーイルヲ正ニクモ交合シ、アズダークリヤラーヲ掃除シテローラーノ裏面ニアルスプリング上ニ置ク、ギヤエンドネームプレートヲ閉メル

(22) 次ニフライヤーヲ全部取除キテ修繕室ニ送り、トワプケーシングホートヲ取除キ、ホービンホーイルヲ取除ク、ホービンホーイルハ其ノ位置ニトワプレール上ニ置ク

[67]

(23) ホットケーシングホートヲ取去リ、スピンドルホーイルヲ取除キ、スピンドルヲ抜ク、スピンドルホーイルハ其ノ位置ニスピンドルレール上ニ置ク

(24) 古布ヲ針金ニ巻キ、カラーノ掃除ヲナス、次ニサハラヲ用ヒテスキユギヤビベル及ホービンホーイル、スピンドルホーイルノ掃除ヲナス

(25) スピンドルステップヲ掃除シ、叩キ、注油ヲナス

(26) リフターラック及ラックピニオンヲ掃除シ、スライドニ全部注油ヲナス

(27) スピンドルヲ元トノ如ク掃シ、スピンドルホーイル及ホービンホーイルノ掃除ヲナス



{68}

ナールヲ元ノ位置ニ取付ケ「カラー」  
及「ホビン」ナールニ「ロ」ニ「寧」ニ注油ス  
ル

(28) 上下「ケー」ニ「グ」ボルトヲ入レ  
廻根其他ニ完全ニ注油シ「運」転  
ノ準備ヲナス

(29) 木管ヲ「排」シ「フ」ライヤ「フ」置  
キ、他ノ「巻」ヲ取リテ「フ」ロ「ト」ノ「系」口  
ニ「継」ギ「不」管ニ「巻」付ケ「フ」ナシ「再」ビ  
「運」転ヲ「継」続スル

## 第參章 一般保全管理

(1) 「カラー」掃除ノ度数

「カラー」掃除、夏期1週=1回冬  
期2週=1回トス

「カラー」掃除ノ際「スピンドル」ナール  
及「ホビン」ナールヲ取外シタルハ「順」序  
良ク並べ置キ「再」ビ取付クル際ニハ「元  
ノ位置ニ取付ケ決」テ「混」同セザル様  
注意肝要ナリ

(2) 「スピンドル」及「ローラー」ノ注油

夏季ト冬季ト具ノ注油度数  
及ビ「使」用スル油質ヲ「変」更「加」減ス  
ル「必」要アリ

即チ冬期濃厚ナル油ヲ使用セバ  
却テ「回」転ノ「円」滑ヲ欠ク事アレバ油ヲ薄  
目ニシ又具ノ度数モ適當ニ「夏」期ヨリ



[70]

減スベシ

及之夏季 = 薄キ油ヲ使用セバ  
外部へ流出シテレガーローラー<sup>7</sup>及ビ  
ホビン<sup>7</sup>ヲ汚シ却テ弊害アリ、故ニ  
少量宛濃厚ナル油ヲ使用シ冬  
期ヨリモ油ノ回数ヲ増カラスベシ

(3) レガーローラー<sup>7</sup>ノ手入

夏季ハレガーローラー<sup>7</sup>面凹ミ易ク、  
特ニインター<sup>7</sup>ノローラー<sup>7</sup>ハ最モ甚シキレバ  
カレンダー<sup>7</sup>機ニ掛ケ手入スベシ

冬季ハローラー<sup>7</sup>面ノ凹ミ夏季ニ  
比シ僅少ナルモローラー<sup>7</sup>面荒レ易キ  
ヲ以テカレンダー<sup>7</sup>掛ケヲ減少スル  
モ塗薬ノ手入ハ夏季ヨリモ一層  
注意スベシ

(4) アッパークリヤラー<sup>7</sup>ノ羅紗棉

[71]

アッパークリヤラー<sup>7</sup>ノ羅紗棉ハ夏季  
ト冬季ト具品質異ナレバ具取方ニ  
於テモ回数ヲ異ニスベシ

夏季ハ取方回数ヲ多クスレバ粗  
糸ニ附着シテ品質ヲ害シ、冬季ハ及之  
取方回数ヲ少ナンスレバローラー<sup>7</sup>ヲ損  
傷スル恐レアレバ、時季ニヨリ原棉ニ  
ヨリ取方回数ヲ適當ニスベシ

(5) シ+エンジン<sup>7</sup>ノ交換

ドラフトホイル<sup>7</sup>、リフトホイル<sup>7</sup>ヲ交換  
シタルキハ其咬合セ、適否ヲ一應、取  
調べ、ラケットホイル<sup>7</sup>ヲ交換シタルキハ  
アキヤス4ツギキヤフ4<sup>7</sup>ガ歯ノ中心ニ取付ケ  
アルヤ否ヤニ注意スベシ

(6) フリエットローラー<sup>7</sup>ノ調査

フリエットローラー<sup>7</sup>ノ狂ヒハ運転中ニ



[72]

調々墨キ機械掃除日=完全=修理スベシ

(7) ローラーギヤリングノ調査

クラウンホーモールバックホーモールダブルキリヤーホーモールノ咬合セ及ビ欠蓮ノ減等、機械掃除日毎=調査スベシ

(8) ジヤキボックスノ調査

機械掃除日毎=ジヤキボックスヲ開放シ注油カ完全=行届キ居ルヤスタッドノ減シ居ラガルヤスタッドノ弛ミ有金急ノ世ミナキヤヲ調査スベシ

(9) ローラーゲージノ調査

フリユテッドローラー及キヤップバーノゲージハ始紡、間紡ハ2ヶ月毎=1回、練紡ハ3ヶ月毎=1回順次調

[73]

査スベシ

(10) フライヤーノ手入

フライヤーハ、毎掃除日=全部取替ヘ、フライヤー修理係ヲ設ケテ不正ノフライヤーヲ絶ヘズ手入修理スベシ

(11) スキユギヤビベルノ手入

毎掃除日=スキユギヤビベルノ歯面ニギヤダリースヲ塗りホーモールノ咬合悪シキモノヲ完全=修理スベシ

(12) 廻根分解掃除

各機、廻根分解掃除ハ1ヶ月毎=1周スル様絶ヘズ之ヲ行ヒ其附属品取付ハ綿密=注意スベシ

(13) ビルダグモーションノ調査

毎掃除日=ボックスオートリックス及



(74)

レバー・シグナル・調整完全ナルヤ  
否ヲ調査シ不正ナルハ直ニ手入シ  
修理スベシ

(14) レバランスウェイトノ調査

毎掃除日ニレバランスウェイトヲ外シ  
シヤーン及シヤールヲ外シ具ノ  
減セルモノヲ調査スベシ

(15) スキヤノ調査

スキヤノ屈曲及下部ノ損又ハ  
陶器受皿ノ破損ハ常ニ調査シ  
手入シ修理スベシ

粗紡機(始間練紡)

据附及ビ保全用具

(1) 据附工具

(1) 水平タンク

水平タンクノ水面ノ調整容易ニ  
テ且ツ運搬ニ便利ナルモノヲ撰ミ  
其形状ハ附図(46)ニ示ス如ク円  
筒型ニシテ高さ約15吋、径約9  
吋ノモノ最モ便利ナル

水平タンクニハゴム管ヲ左右ニ連  
結シ得ル装置ヲ有シ、ゴム管ハ成  
可ク太クテ具内径 $\frac{1}{2}$ 吋位ノモノ  
が可イ

是レニ使用スルガラス管ハ其内  
径 $\frac{1}{2}$ 吋以上長さ6吋以上ノモノヲ



(76)

同様に「ガラススタッド」ハスケール指針  
及ビ「クリップ」ヲ備ヘタモノガ可イ

「ガラス」管内ノ水準面ノ観測  
ハ普通中央ノ水面ヲ以テ見ルノ  
デ「ガラス」管ノ肉厚キ場合ハ水面  
ヲ正確ニ見難キ故ニ「豫メ」アルコール  
ニテ管ノ内部ヲ拭ヒ置ケバ其ノ観  
測ガ安全デアリ

### (2) 水準器 (泡準器)

水準器ハ大 (9吋物) 小 (6  
吋物) ノ2種ガ必要デアリ

而シテ何レモ僅少ノ狂ヒハ免ル  
ベカラサルモノナレバ使用ノ際ニハ  
必ず全位置ニ於テ左右振替ヘ  
注意シテ観測セシメナラヌ

### (3) ストレッチ (水平台)

(77)

ストレッチハ大 (6尺物) 小 (4尺  
物) ノ2種ガ必要デアリ

而シテ其ノ両面ハ摺リ合セタモ  
ノデ構造上狂ヒノ来ラヌモノデナ  
ケレバナラヌ

### (4) スクエア (スライドスコヤ)

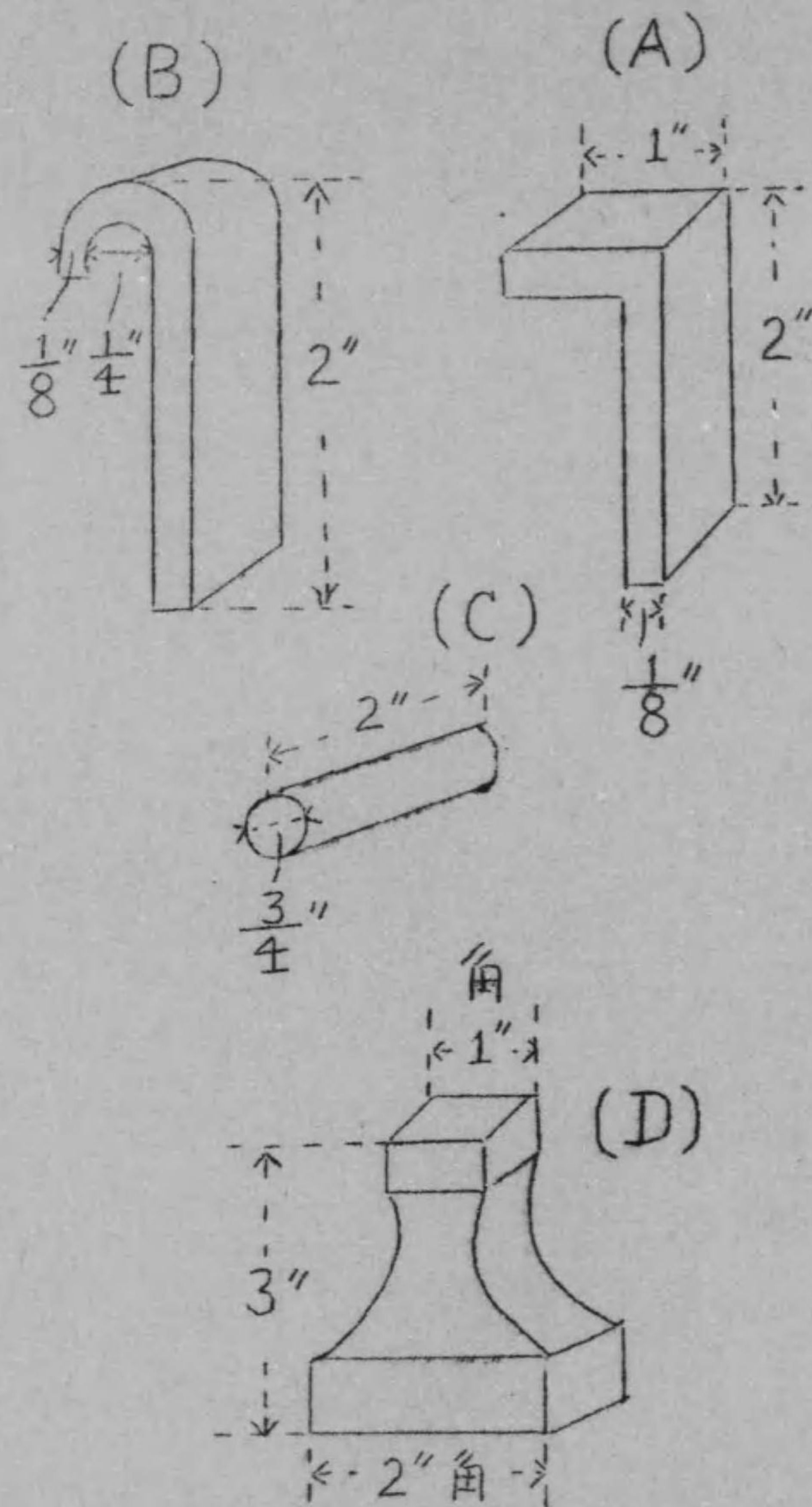
リフター・スライドノ位置デ水準器ヲ  
用ヒテ其ノ水平ト垂直トヲ観測スル  
為メノ水平台デ、其ノ形状ハ附図(18.  
19. 23)ニ示ス如クデアリ

### (5) 馬向 (ブロック)

重振ヲ用フルハ(A)ノ如キ角馬向ヲ  
用ヒ、水系ヲ張ルハ(B)ノ如キ馬向  
ヲ用ヒ、ストレッチニ用ユル丸馬向ハ  
(C)ノ如キモノヲ用ヒ、全上ニ用フル  
高馬向ハ(D)ノ如キモノヲ用フル



[78]



(6) 水系 (ストリング)

水系ハ生絹ヲ最モ良トス然レモ  
生絹トモキハ紡績絹糸或ハ釣糸ヲ  
代用スルモ差支ナシ、但シ之等ハ最  
モ強靱ニシテ撚数、少ナキ上等品  
ヲ撰バネバナラヌ

(7) レビム コンパス

レビムコンパス中心線ヨリ機台据付  
中心線ヲ出スル直角線ヲ引ク大  
型コンパスニシテレビムハ5尺位  
軽ク且ツ弯曲シ難キモノヲ常備セ  
バナラヌ

(8) 挺子 (レバー)

レバーハ大小2個ヲ要ス、其ノ長キ  
モノハ荒組ノ全体水平ヲ出スルフレ  
ムエント及ビレスプリングピースヲ座カスニ



用ヒラレ、其、短カギモノハ、其他ノ輕キ部分ヲ取付クルキ用ヒル

(9) 槌 (ハンマー)

ハンマーニ鉄製、真鍮製、鉛製、木製、四種アリ。鉄製ハ其用途最も博ク、餘り重キハ不便ナルヲ以テ、1寸封度位ノモノヲ適度トス。真鍮製ハ主トシテ、レンチヤフト、リボナール、同ニ、ドリユヲ打ち込ム場合ニ用ヒラル、2寸封度位ノモノヲ適度トス。鉛製ハ主トシテ、フレキシブル、セクションヲ接続スル場合ニ用ヒラレ。木製ハ主トシテ、フライヤー、銚子等用ニ用ヒラル。

(10) 垂振 (プラムボブ)

垂振ハ大中小ノ三種ヲ要ス、大ハ、レンチヤフトノ中心線ヲ求ムルキニ用

ヒラレ、中ハ、フレム4エド<sup>7</sup>及ス、フイルグピース<sup>7</sup>ノ垂線ヲ出スキニ用ヒラレ、小ハ、リフ4レグ<sup>7</sup>ラック<sup>7</sup>及ス、スピンドルカラ<sup>7</sup>ノ垂線若クハ、クリールバー<sup>7</sup>ノ垂線ヲ出スキニ用ヒラレル

(11) 測定板 (センターゲージ)

測定板ハ、機台振附ノキ、各部ノ間隔ヲ正確ナル位置ニ保タシムベク、或ル基準点ヲ中心トシテ、正ニキ距離ヲ測定スル工具ニシテ、其材料ハ、狂ハガル堅キ木質ヲ用ヒ、其厚度及長さノ正確ナルヲ必要ナル、測定板ノ種類ハ、(1) センターボード (2) ホット4ルール用 (3) トップルール用 (4) ローラースタンド用 (5) 11742<sup>7</sup>グ<sup>7</sup>ラック用、(6) クリール用等、何レモ其製作正確ナルモノハ必要ナル



(82)

(2) 鋸廻り類

(1) 普通スパーナー

2.0-2.5	2	挺
2.5-3.0	2	
3.0-3.5	2	
3.5-4.0	2	
4.0-5.0	2	
5.0-6.0	2	
6.0-7.0	2	

(2) カラー<sup>7</sup>締メスパーナー

始紡機用	1	
回紡機用	1	
練紡機用	1	

(3) ボックスキー<sup>7</sup> (箱スパーナー)

片口 $\frac{5}{16}$ "	3	
シモク $\frac{3}{8}$ "	1	

シモク  $\frac{7}{16}$ " 1

シモク  $\frac{5}{8}$ " 1

両口四角  $\frac{5}{8}$ "  $\sim$   $\frac{3}{4}$ " 1

" "  $\frac{3}{8}$ "  $\sim$   $\frac{1}{2}$ " 1

(4) 木捻子廻り

大型木捻廻り 1

小型木捻廻り 1

(3) <sup>7</sup>ゲージ類

(1) カーフェースゲージ 1

(2) ローラーゲージ

$\frac{1}{32}$ "  $\frac{1}{16}$ "  $\frac{5}{32}$ " 1

$\frac{1}{8}$ "  $\frac{5}{32}$ " 1

$\frac{3}{16}$ "  $\frac{1}{2}$ " 1

(3) キャップバーゲージ 2

(4) スキユギヤシャフトゲージ 1

(5) トップレール高低ゲージ 1



[84]

(6) キャップバーフキゲージ	2
(7) ボトムレール中心ゲージ	1
(8) ボトムレール出入ゲージ	1
(9) ローラービームゲージ	1
(10) アンダーフリヤラーゲージ	1
(11) コントラム高低ゲージ	1
(4) ローラー用具	
(1) ローラー抜き	2
(2) ローラー當打4	2
(3) ローラージャッキ	2
(4) ローラー歪調整器	1
(5) フライヤー修理用具	
(1) プレッサーゲージ	1
(2) 小型ハンマー(木製)	1
(3) ヤットコ	1
(4) 小丸ヤスリ	2

[85]

(6) 鑪 其他 工具

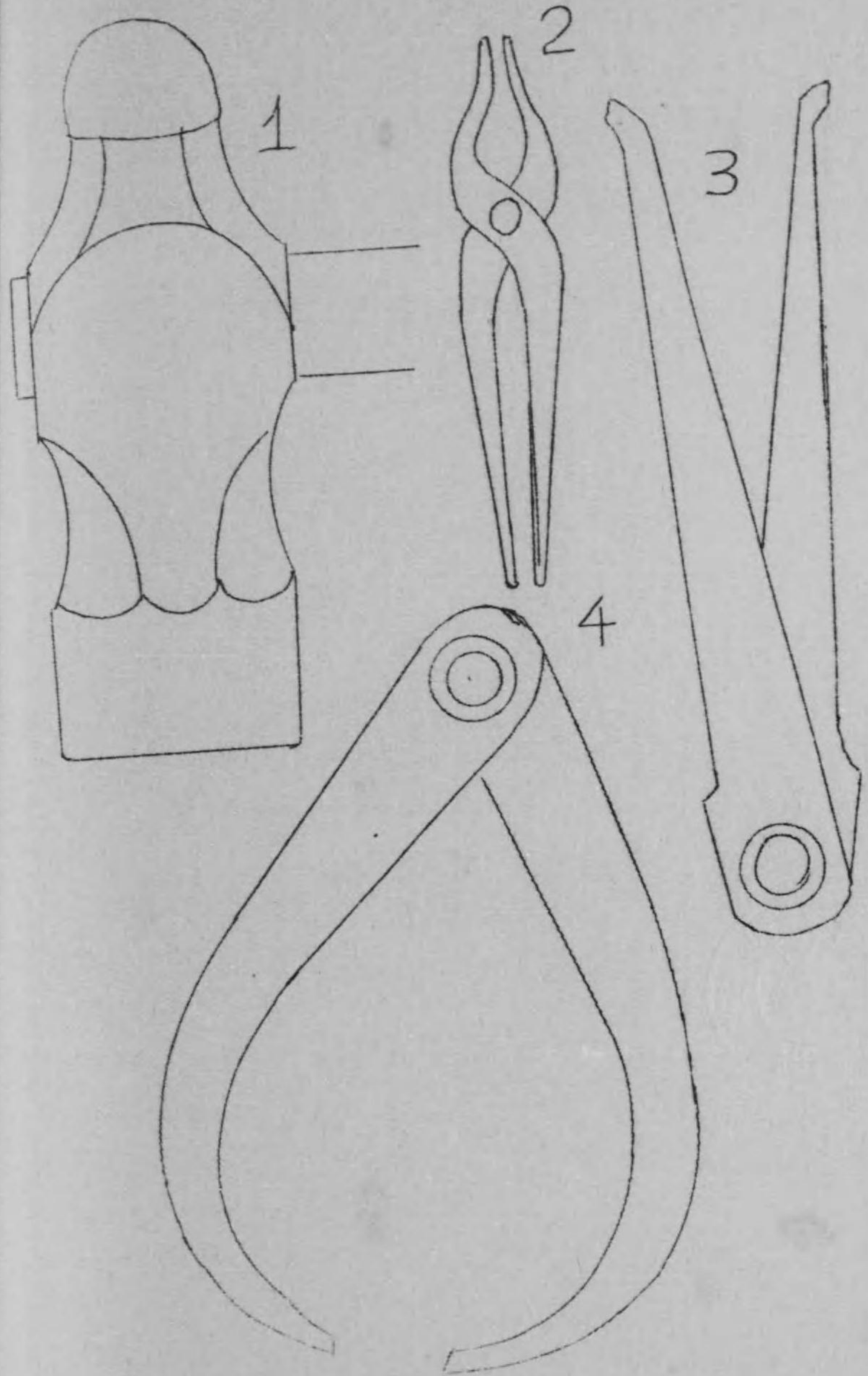
(1) 鑪 (ヤスリ)

平(中目、荒目)鑪	1
角鑪	1
丸鑪	1
三角鑪	1
真鍮鑪(スタンド用)	3
(2) 手金(タガネ)	
平タガネ	2
烏帽子タガネ	2
(3) 金鋸	1
(4) 臺付バイス	1

(完)

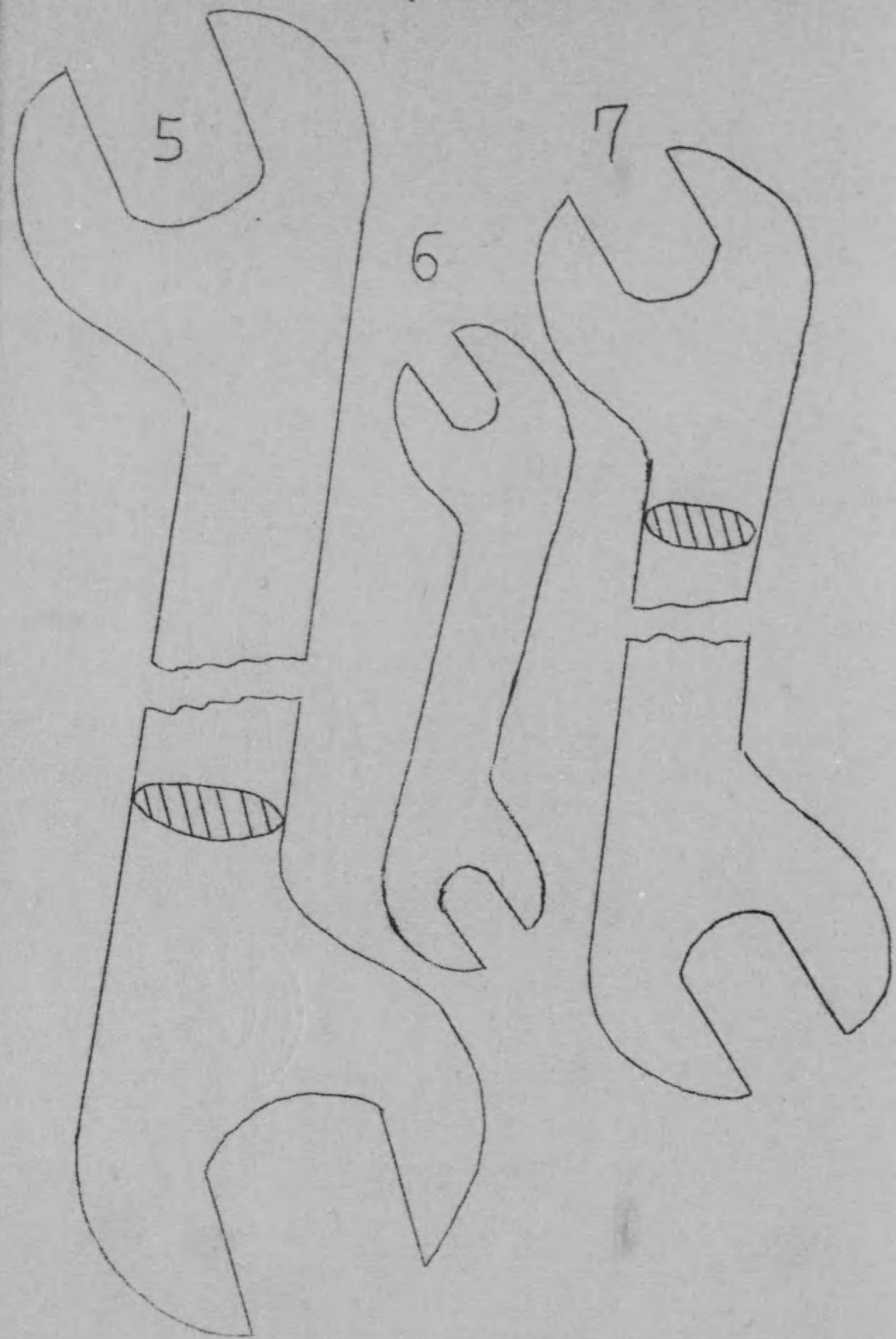


[87]

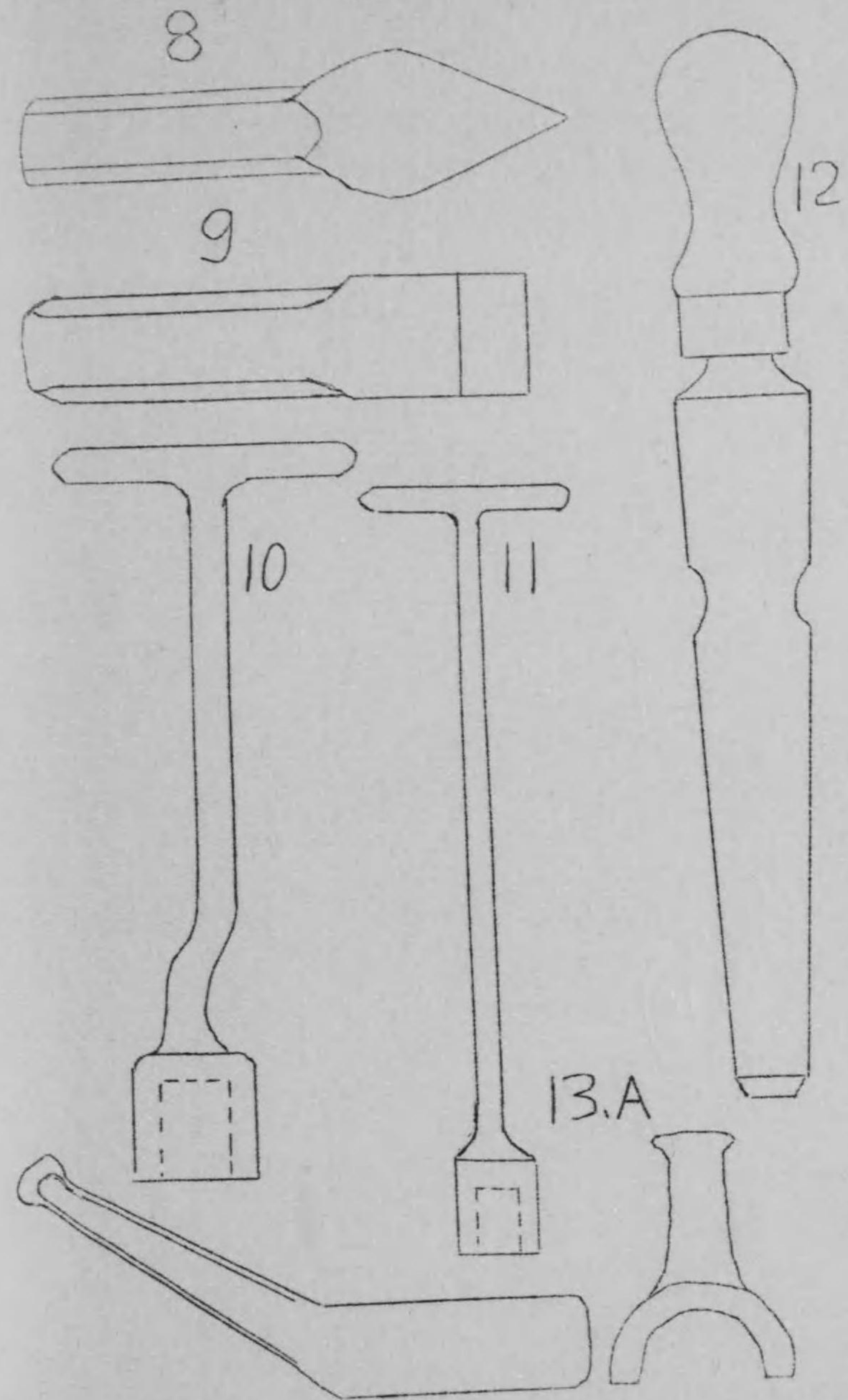




[88]

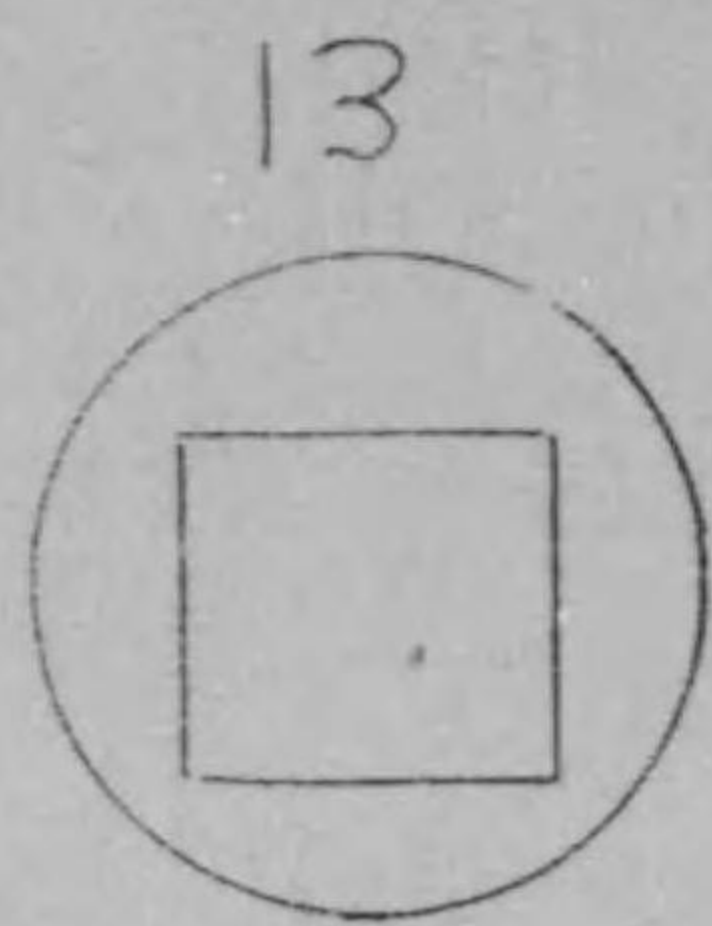


[89]

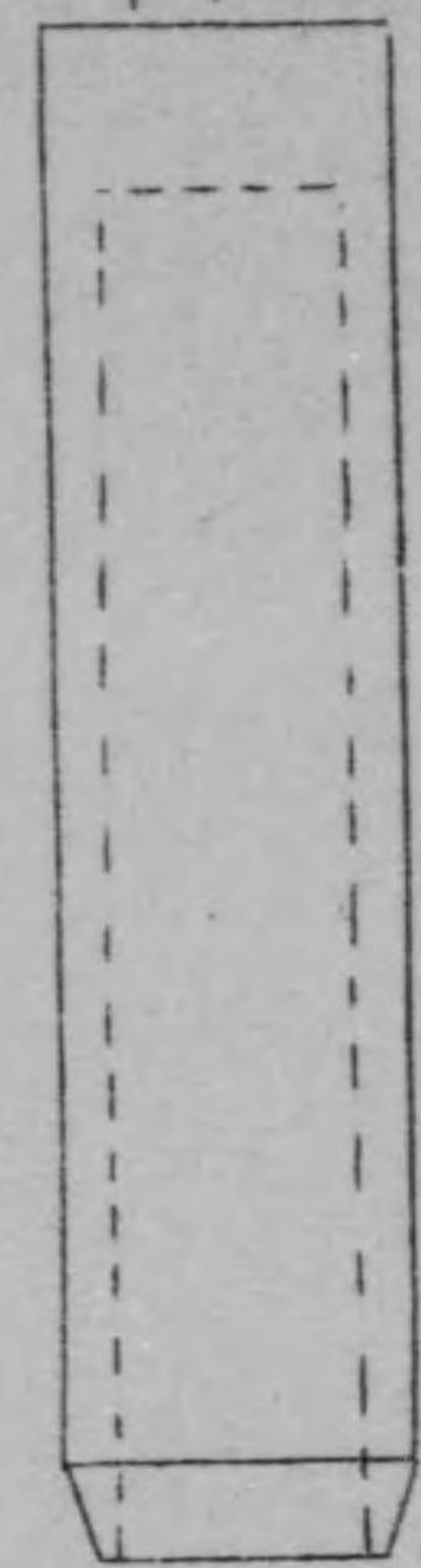
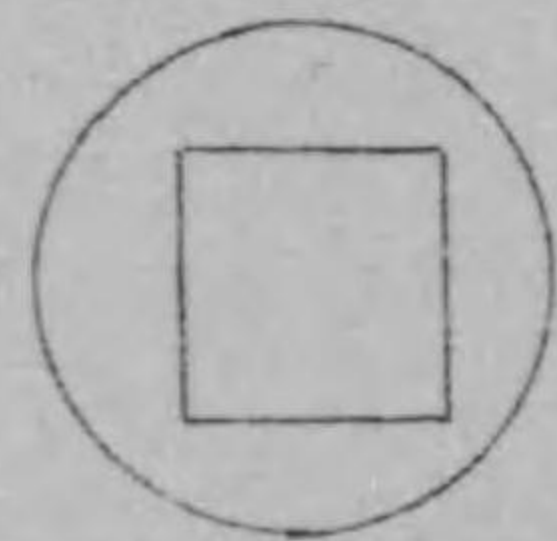
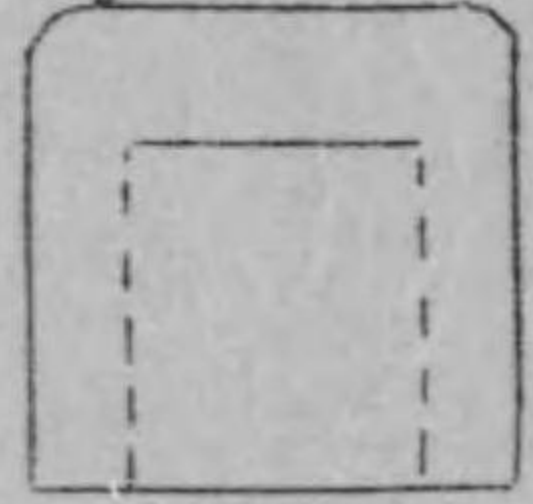
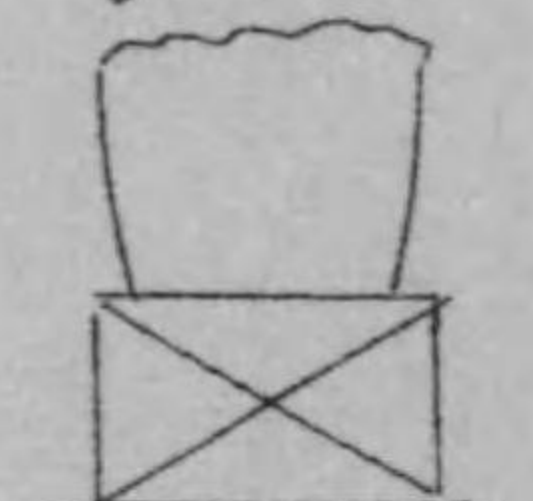
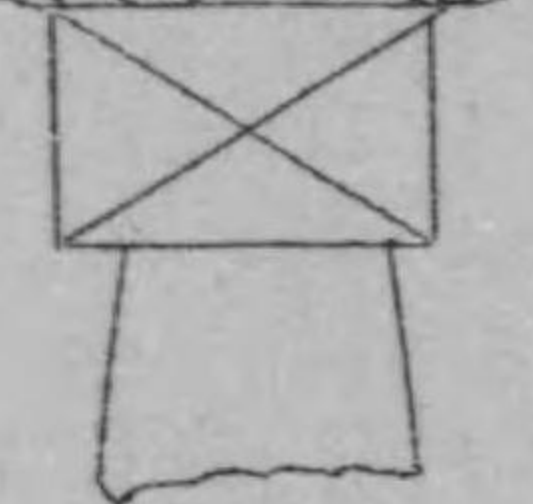
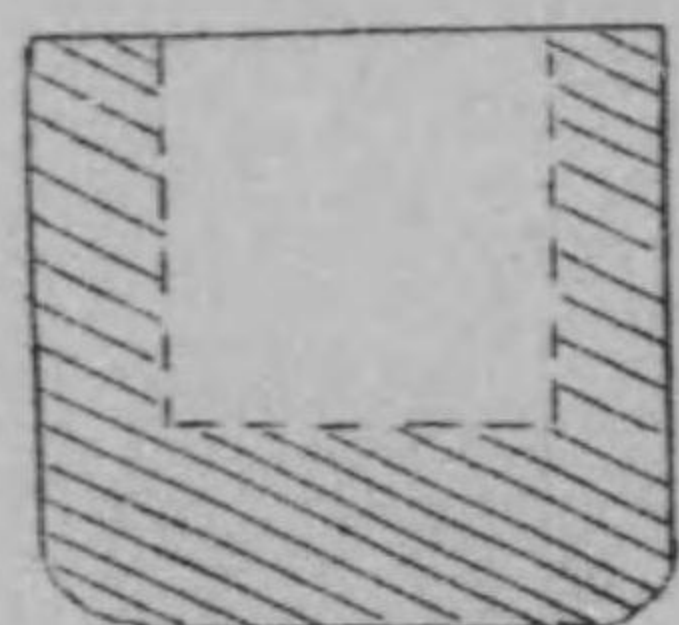




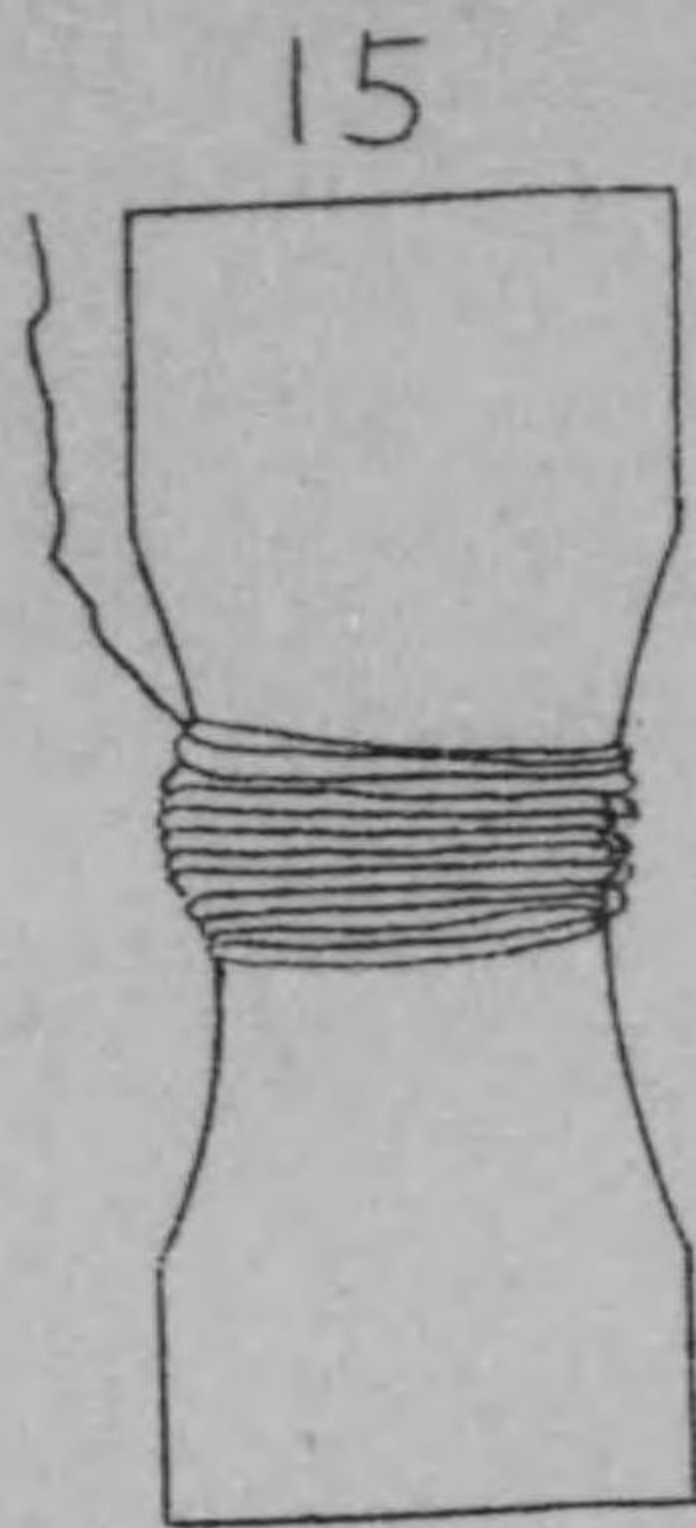
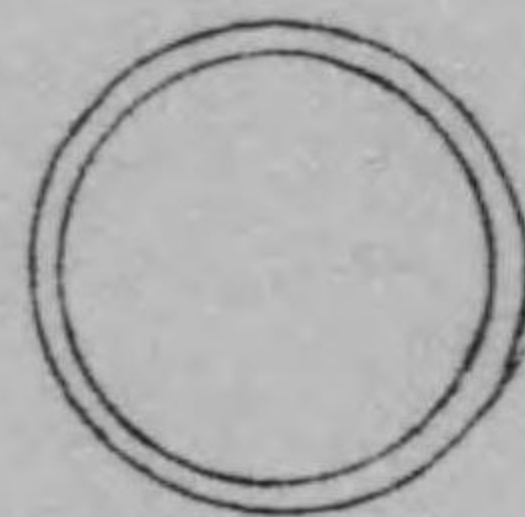
{90}



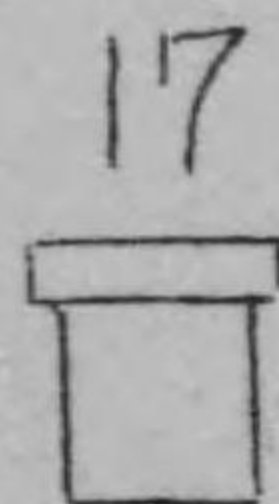
13



14



15



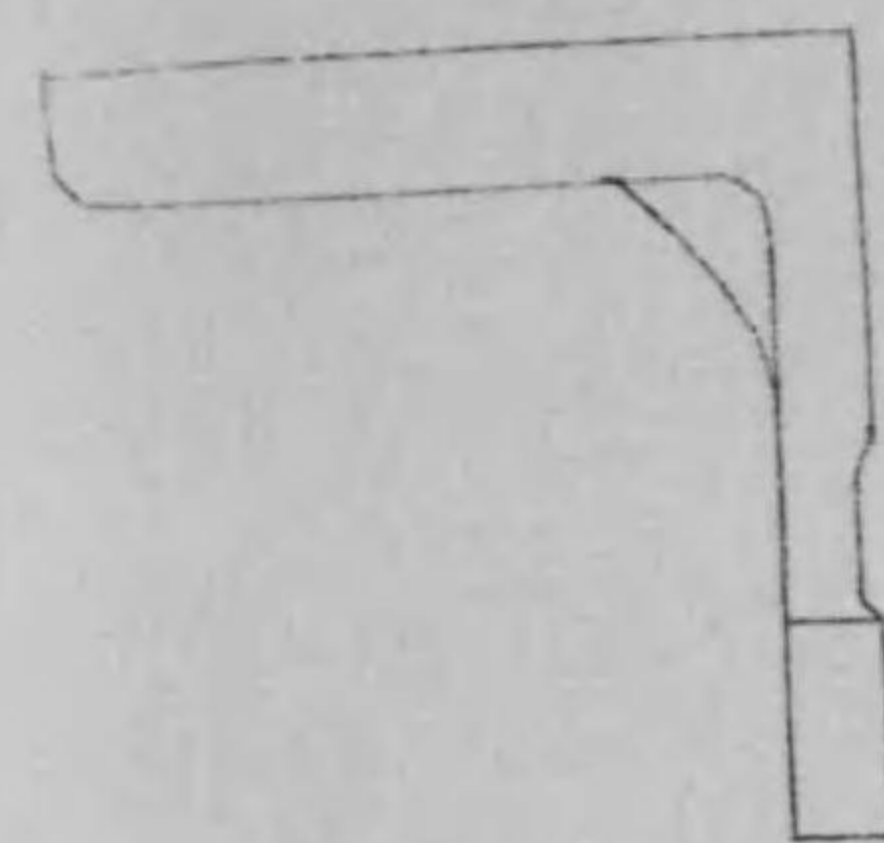
17



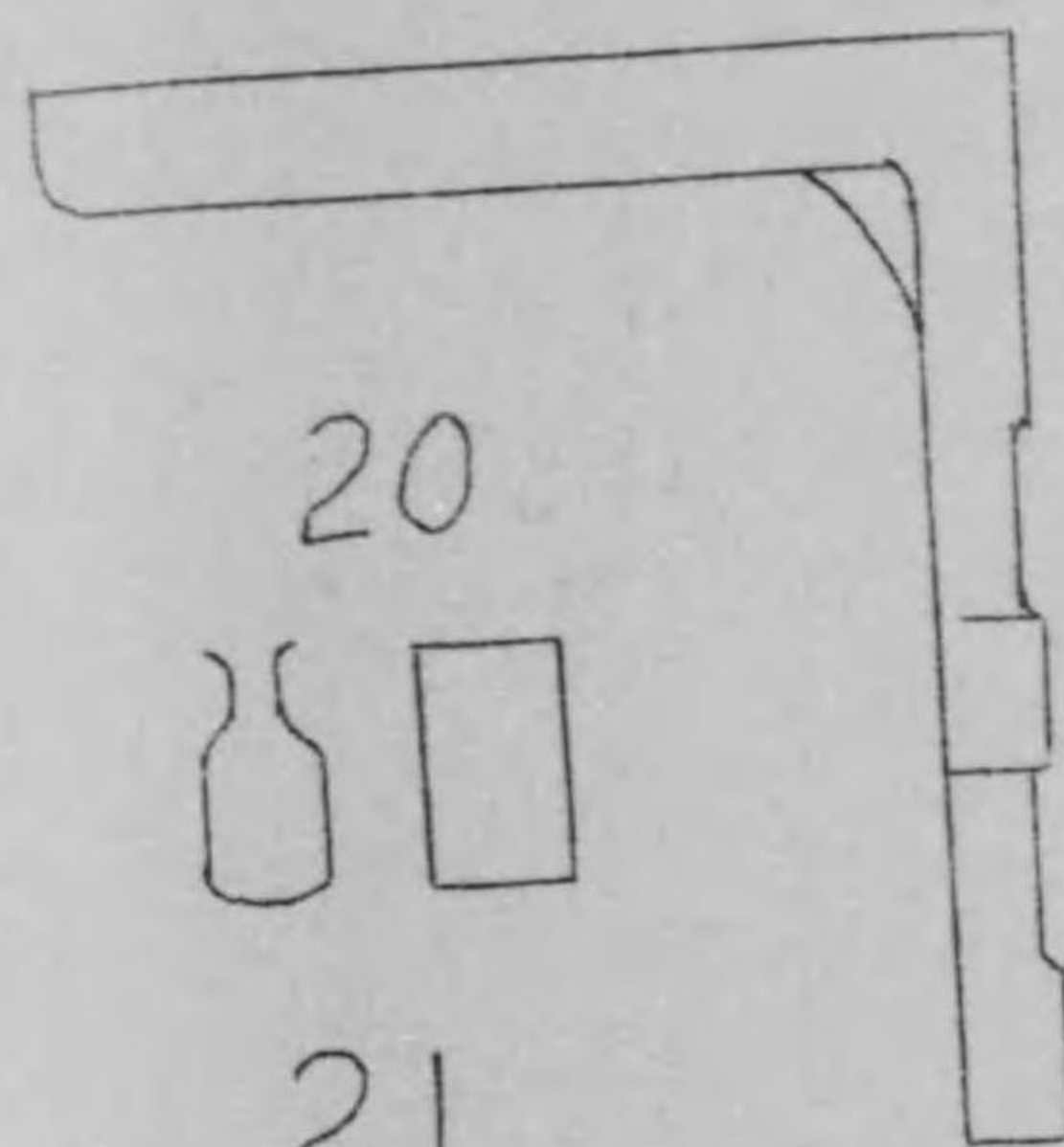
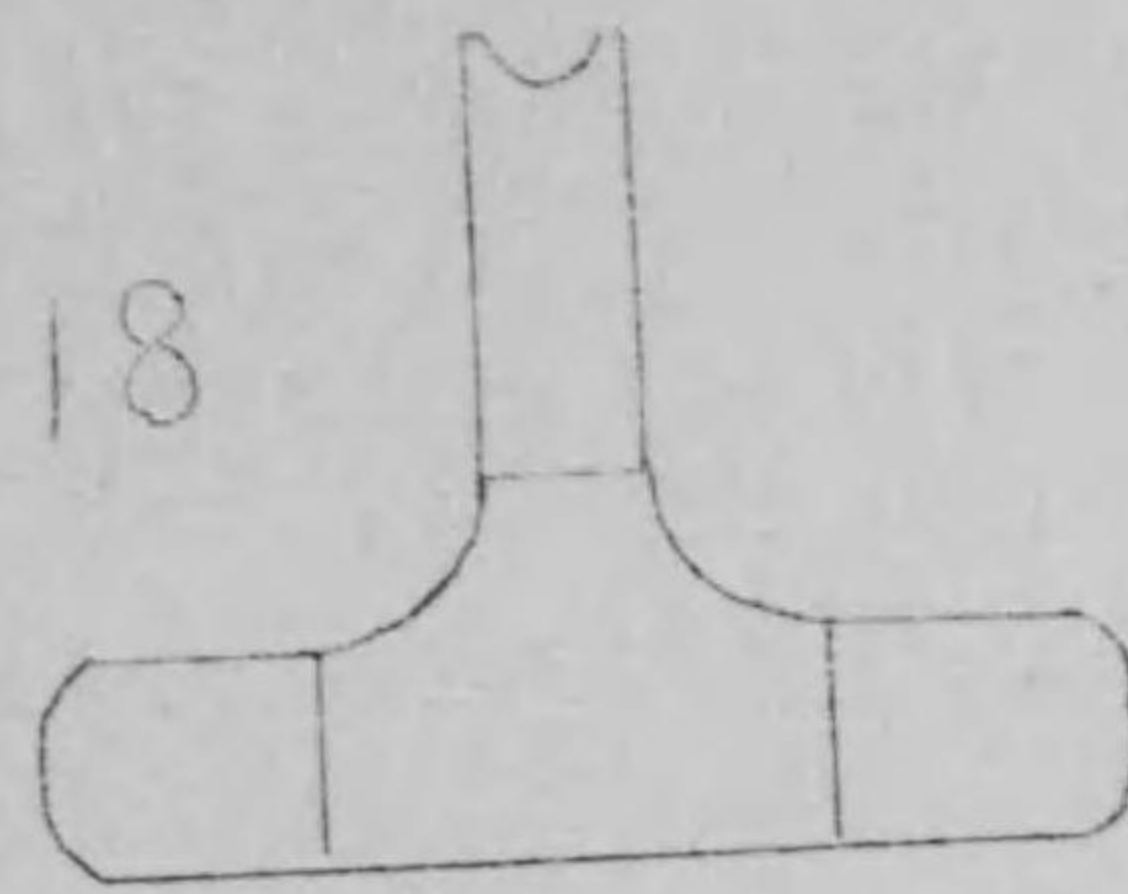
16



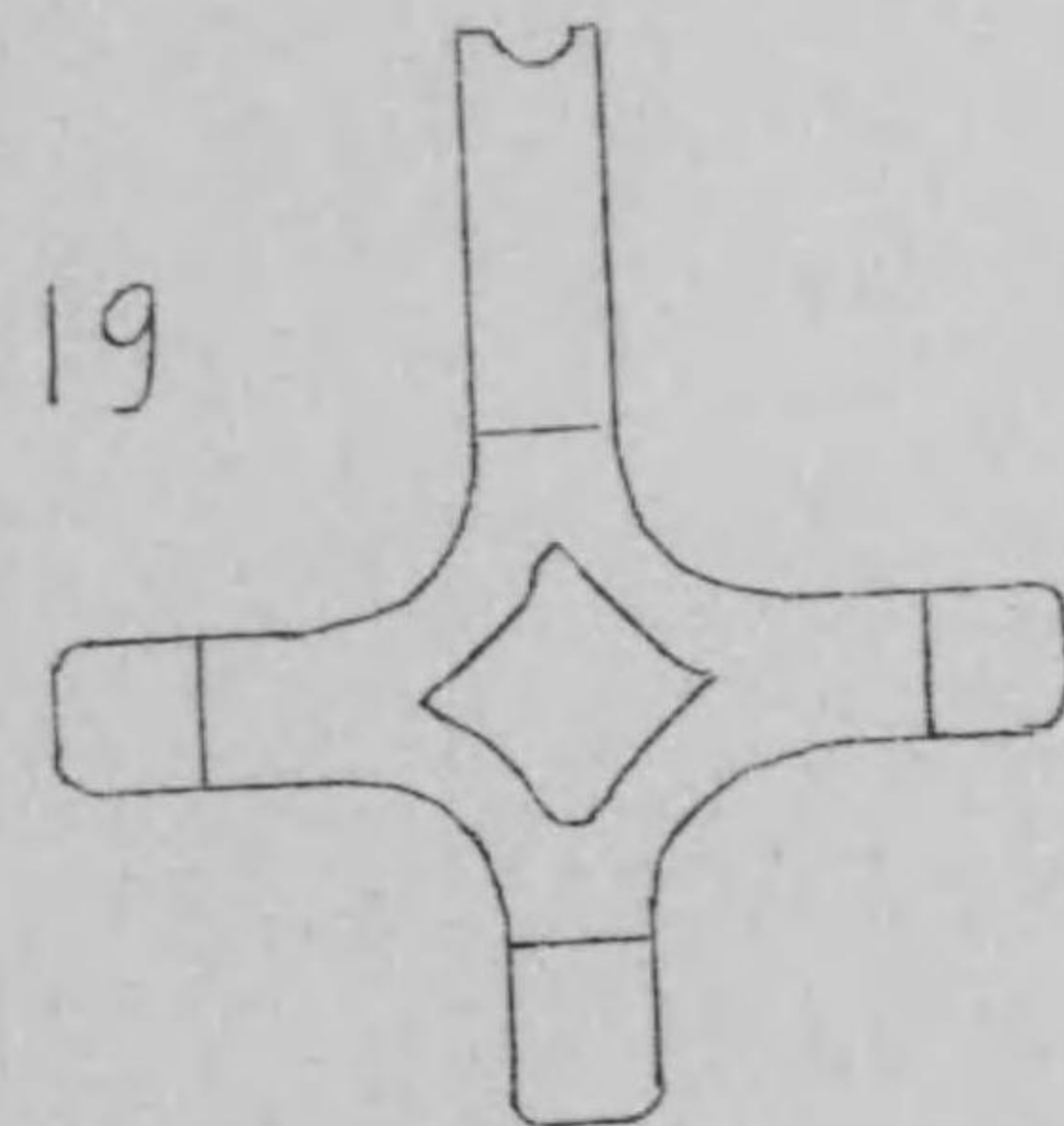
{91}



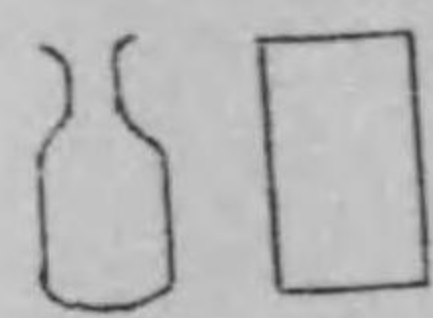
18



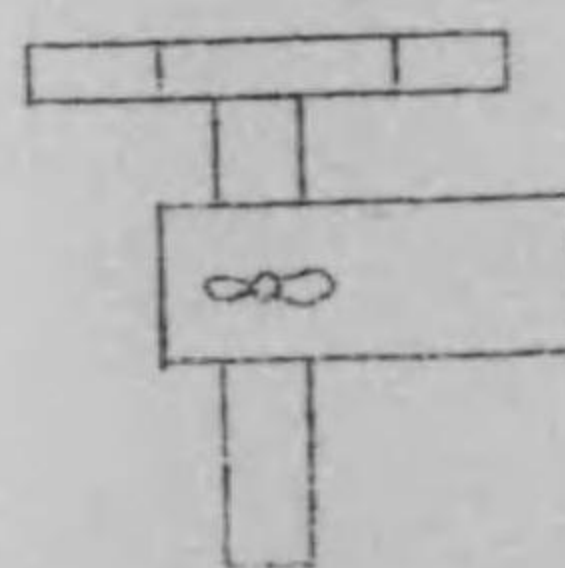
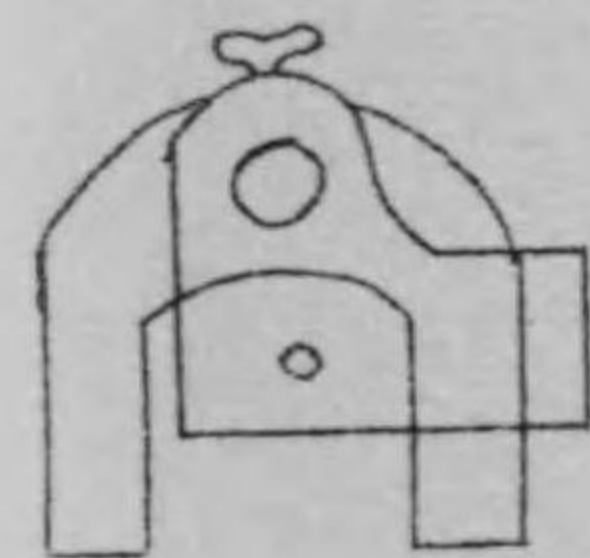
19



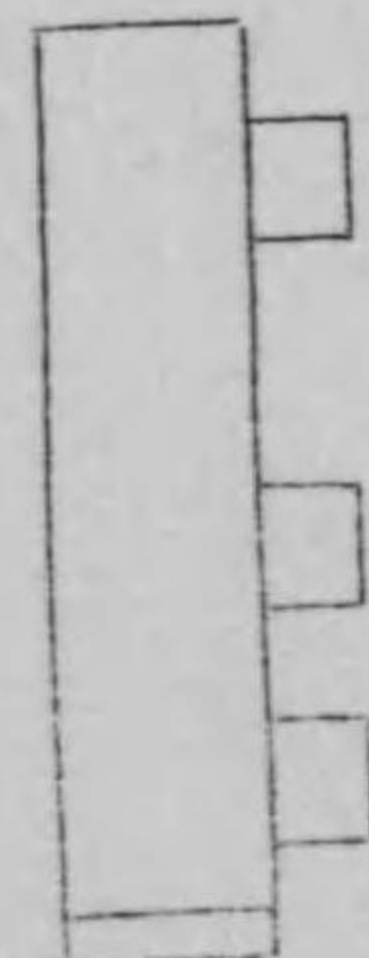
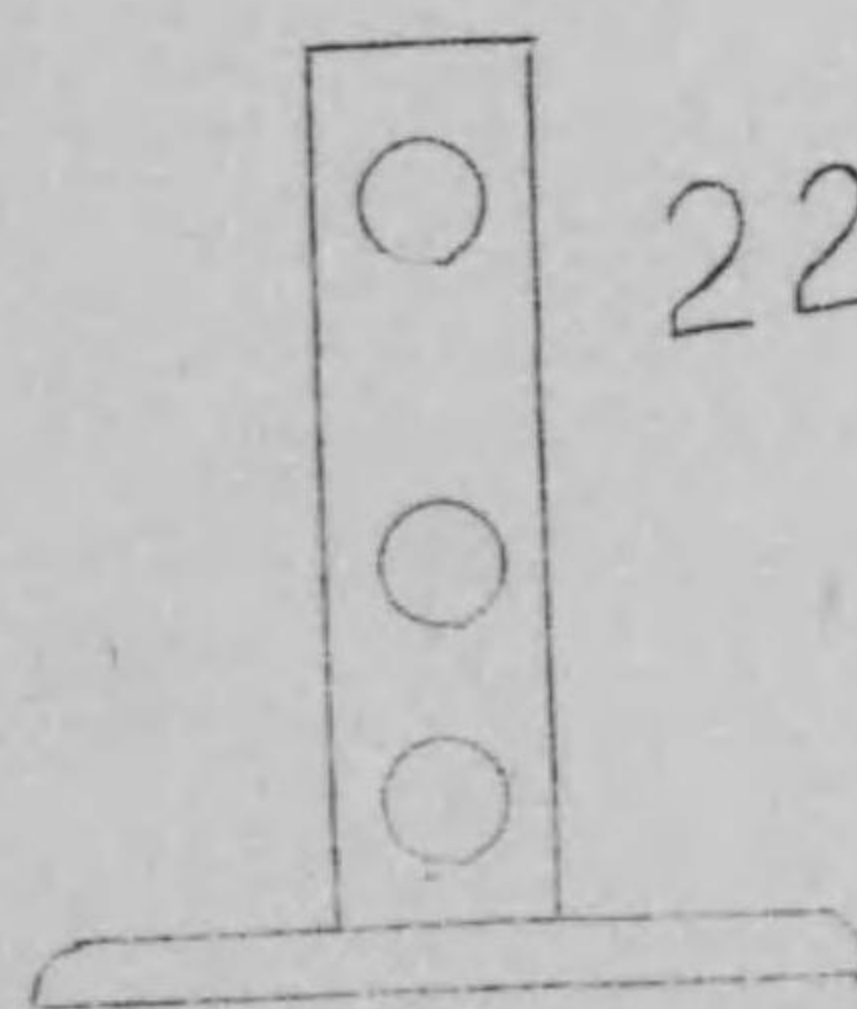
20



21

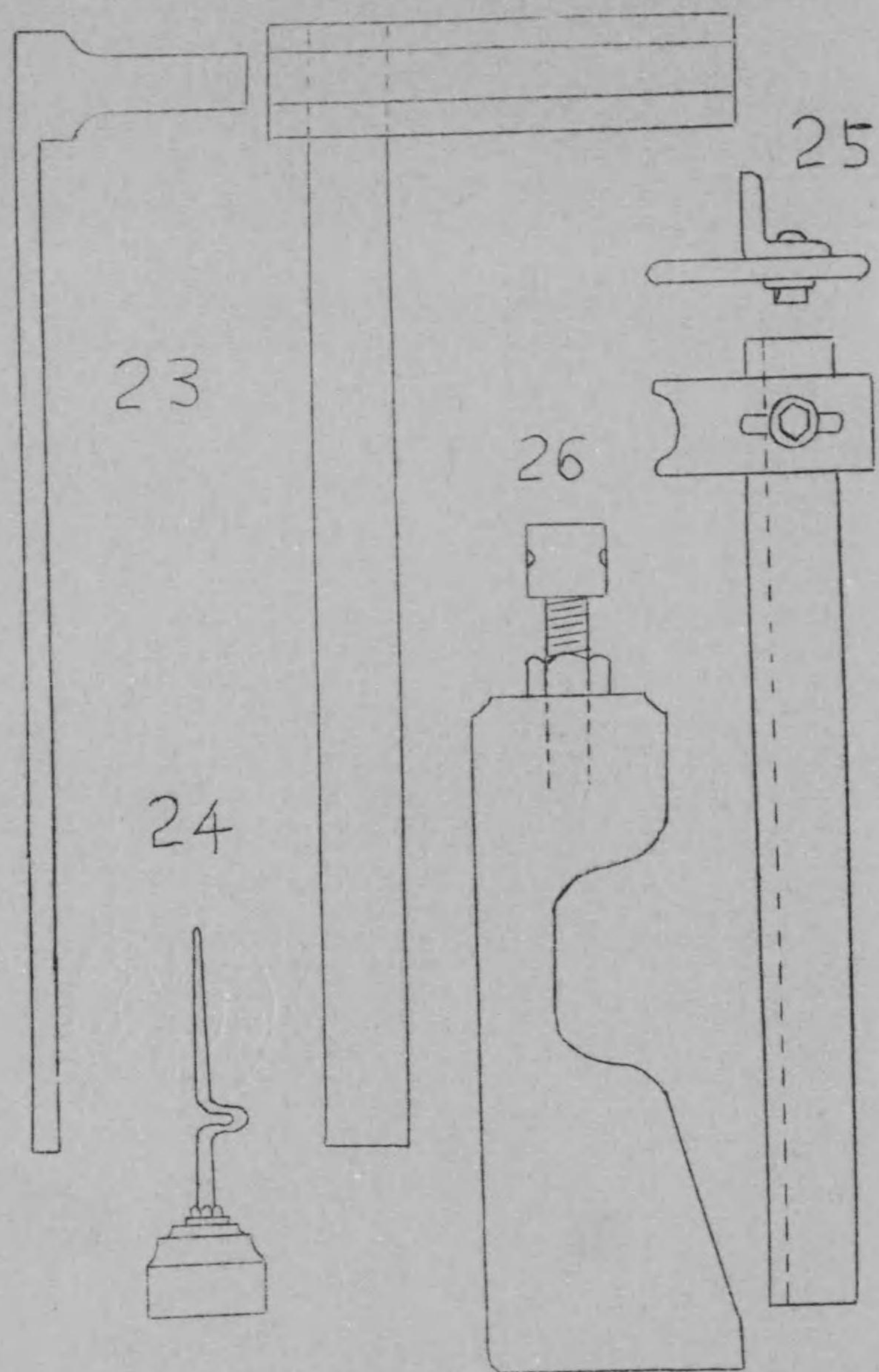


22





[92]



[93]

[附 録]

粗紡機 据付保全用具型録

- (1) ハンマー (鉄製, 真鍮製)
- (2) ヤットコ
- (3) 穴パス
- (4) 丸パス
- (5) }
- (6) } スパンナー 各種
- (7) }
- (8) 友タガネ
- (9) 平タガネ
- (10) クランクドボックスキー
- (11) ボックスキー (スピンドル用)
- (12) 木捻廻シ
- (13) 両口ボックスキー



[94]

(13A) アテガネ(スプリットグシユ用)

(14) フリユテッドローラー打込器

(ミドル)(フロント)各1個

(15) 水糸

(16) テコ

(17) レール中心器

(18) 水平台

(19) 水平台

(20) ローラースタンド水糸押へ

(3個1組)

(21) スピンドルホーシ高低器

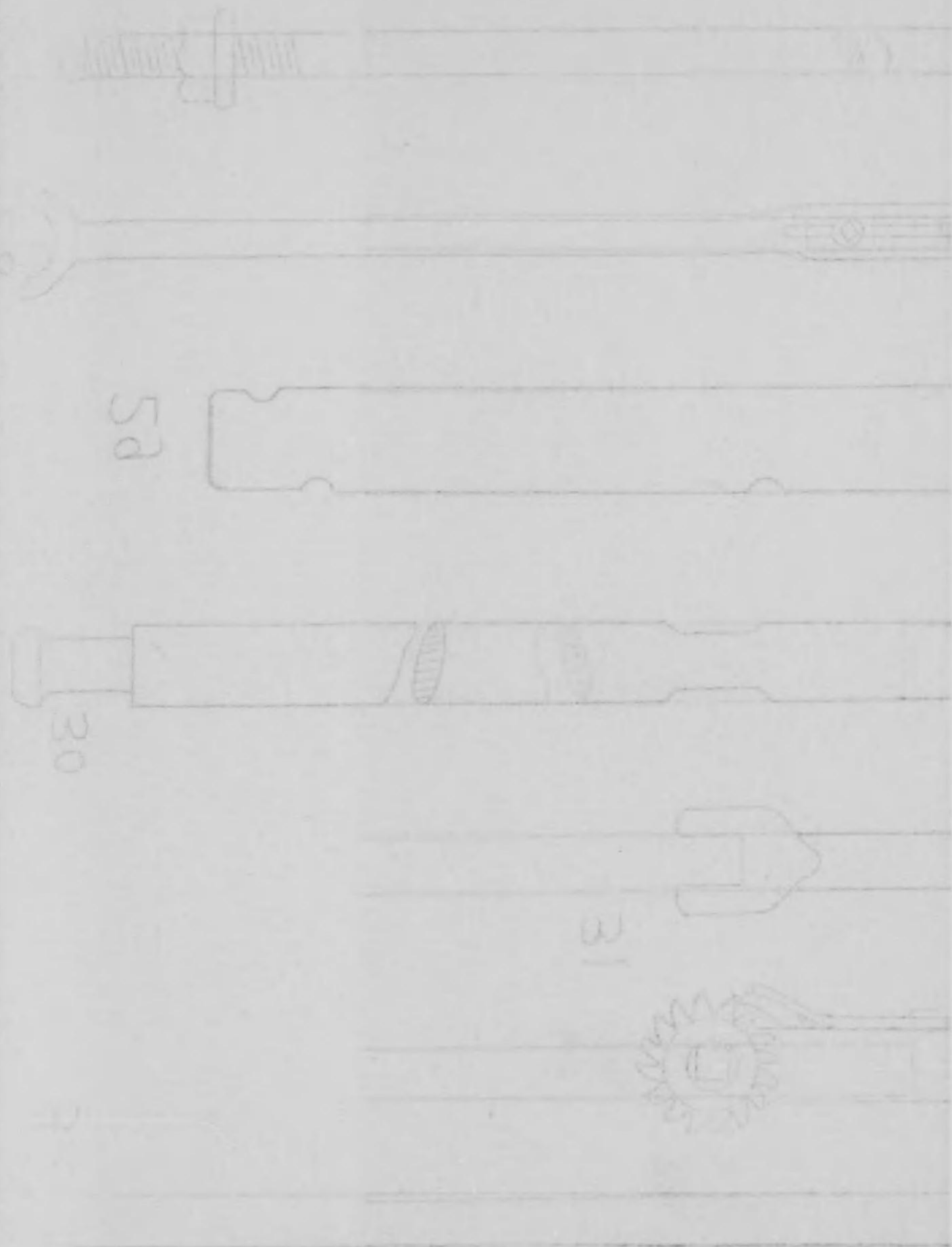
(22) キャップバーネブゲージ

(23) スライドスコヤ

(24) ローラービーム高低器

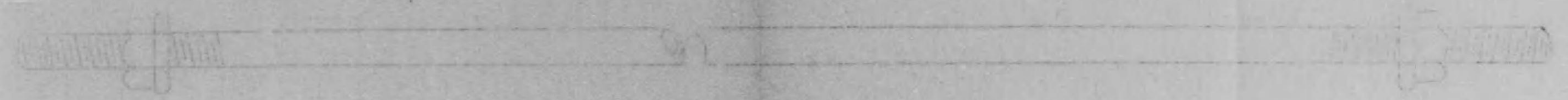
(25) スピンドルシヤツゲージ

(26) トップレールジャッキ(9個1組)

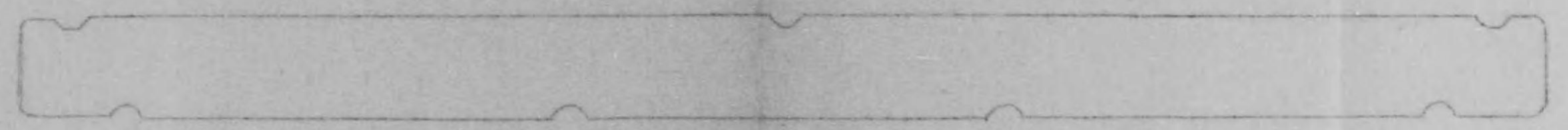




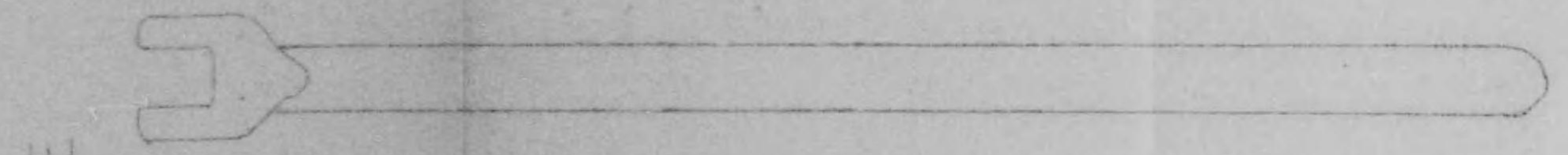
工用)



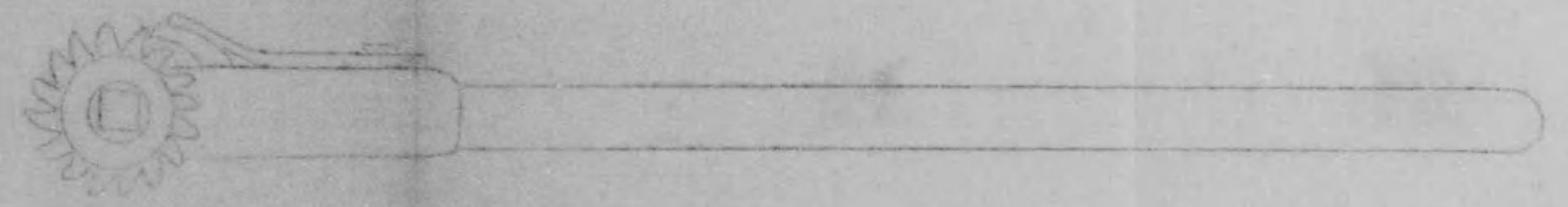
50



30



31



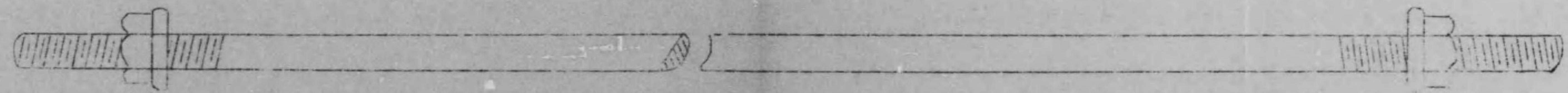
32

1組)





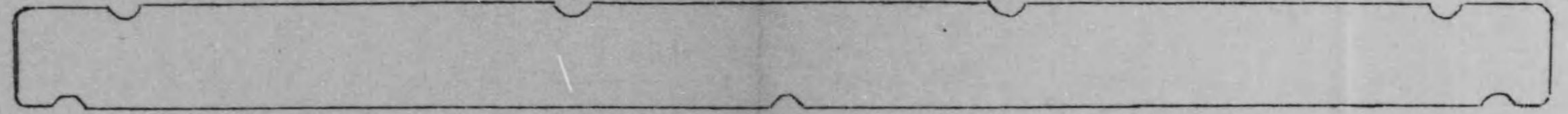
27



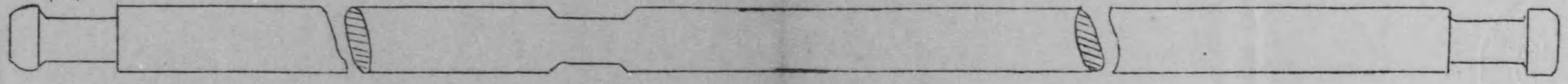
28



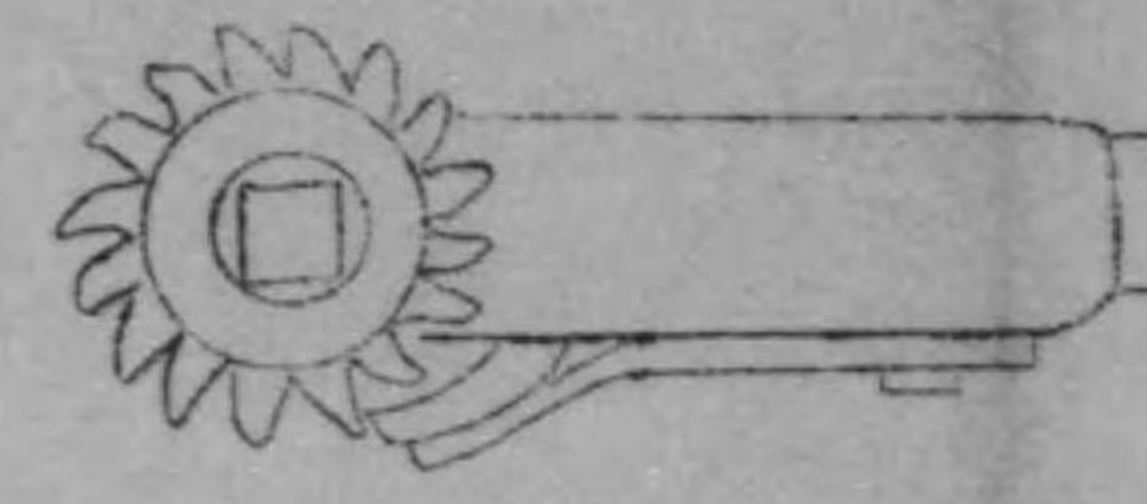
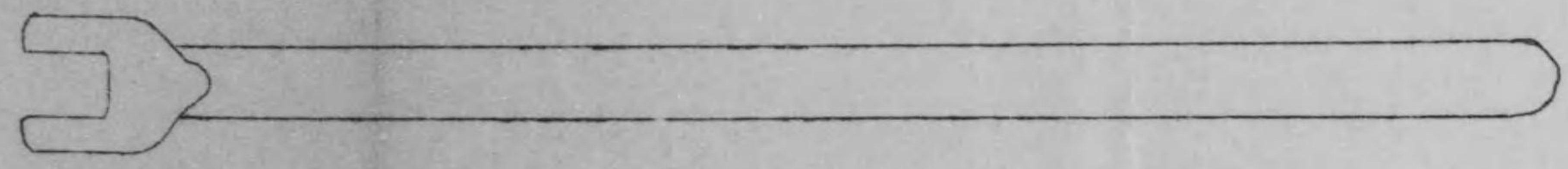
29



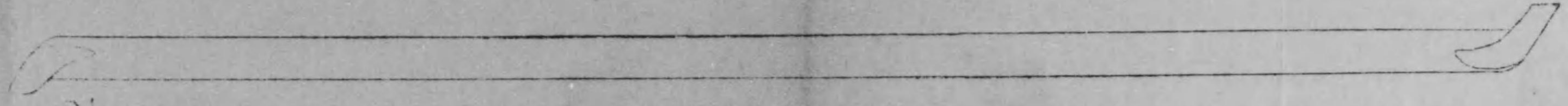
30



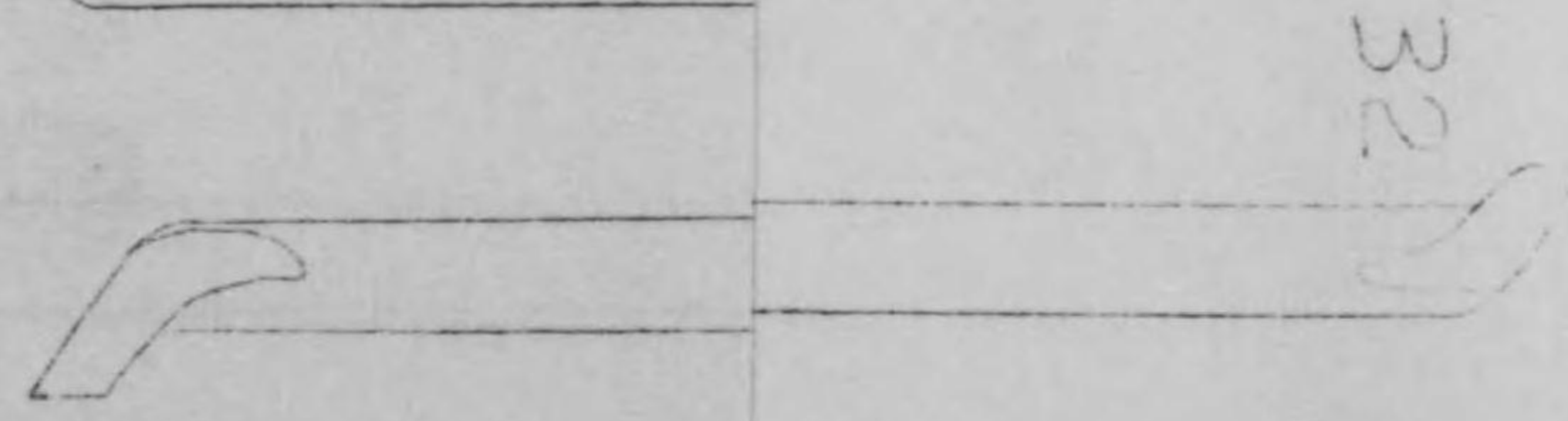
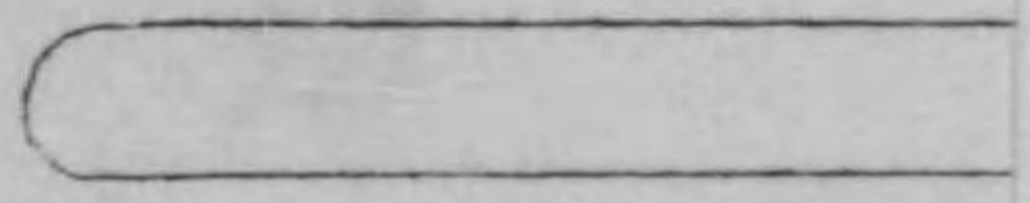
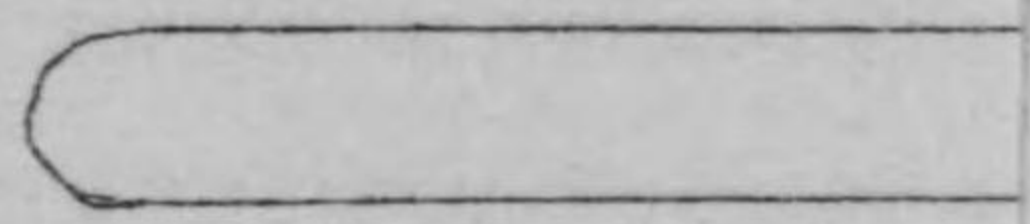
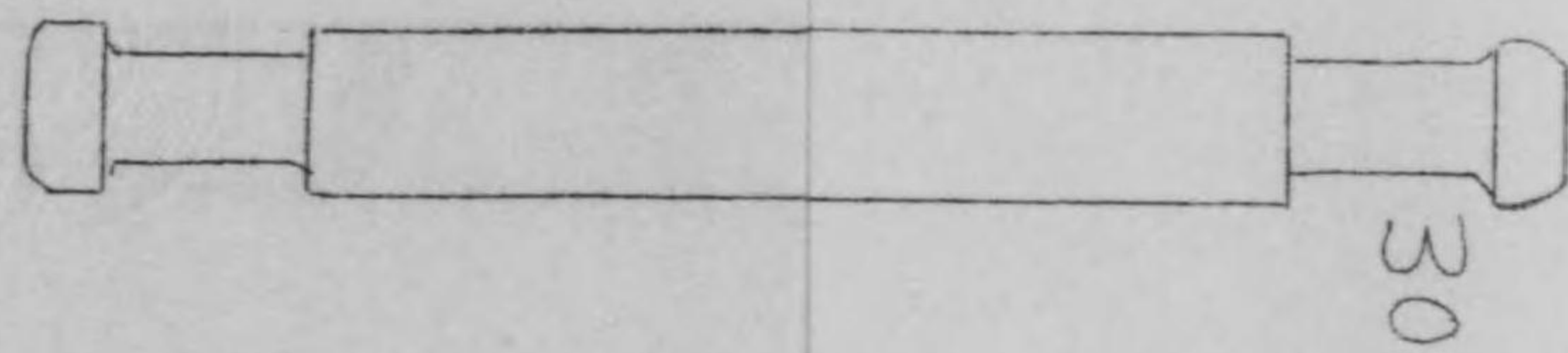
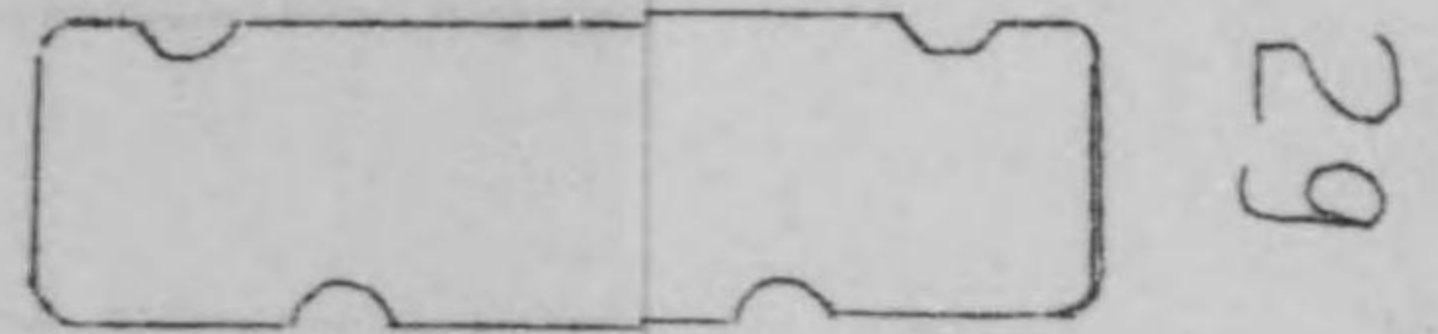
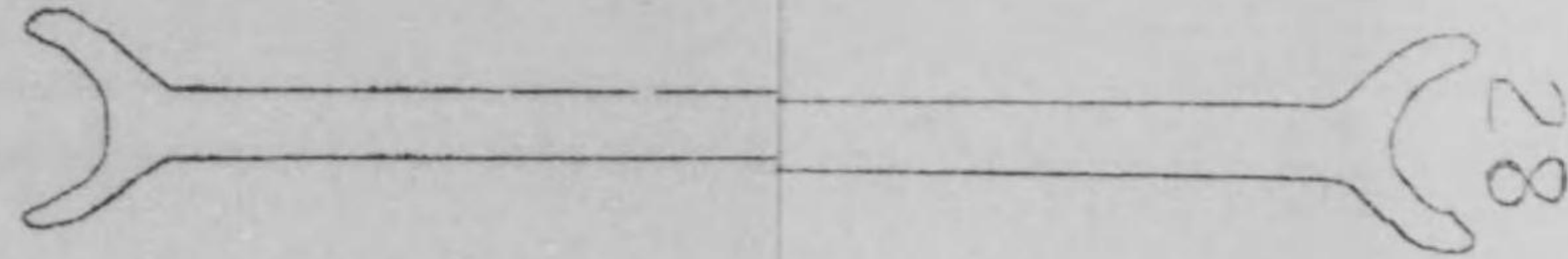
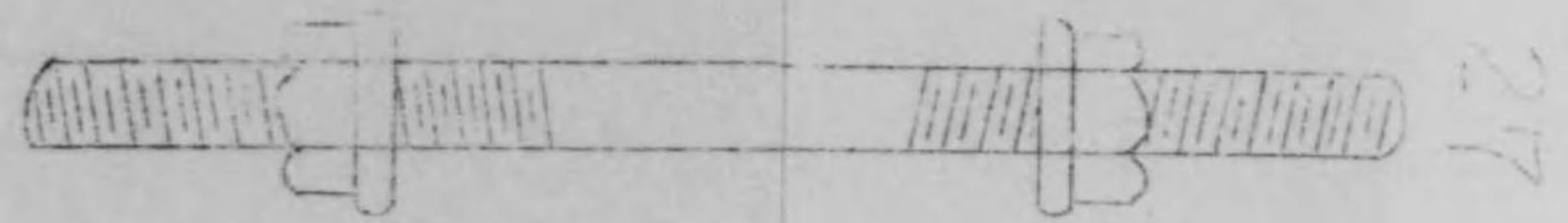
31



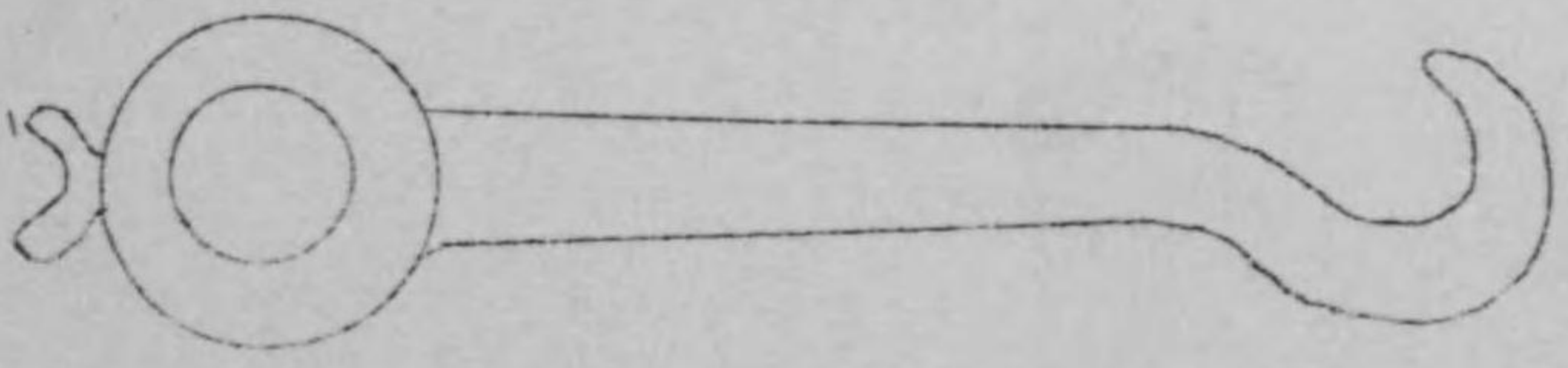
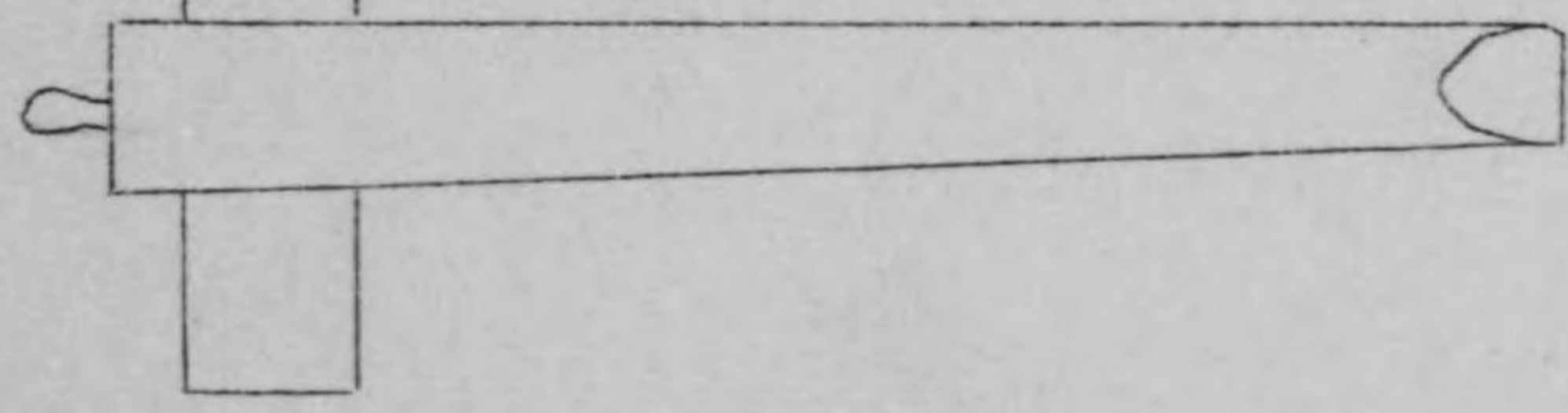
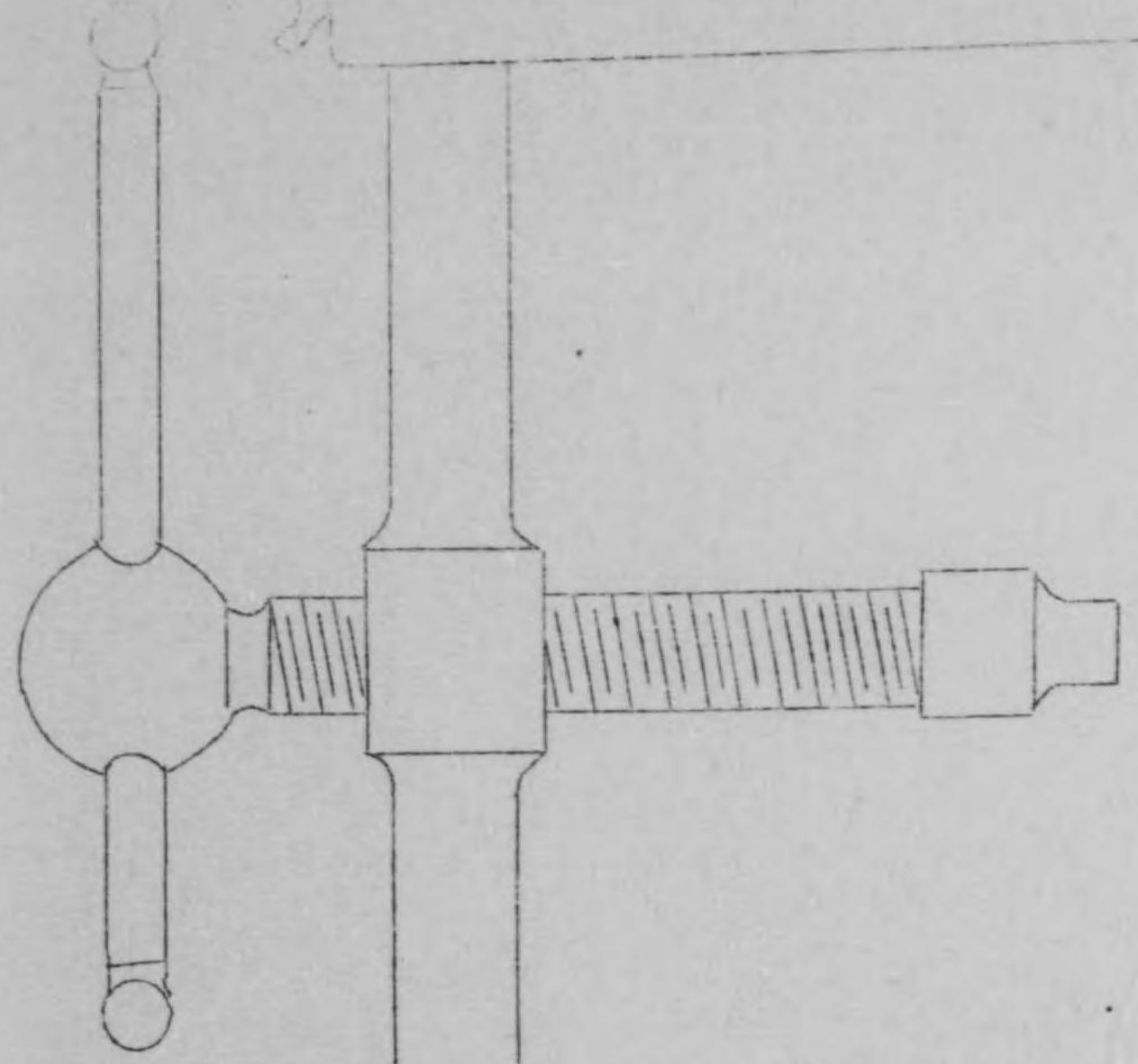
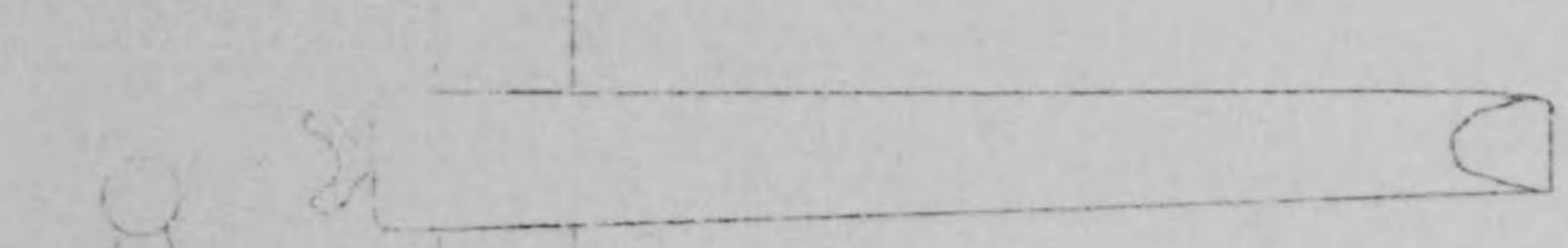
32





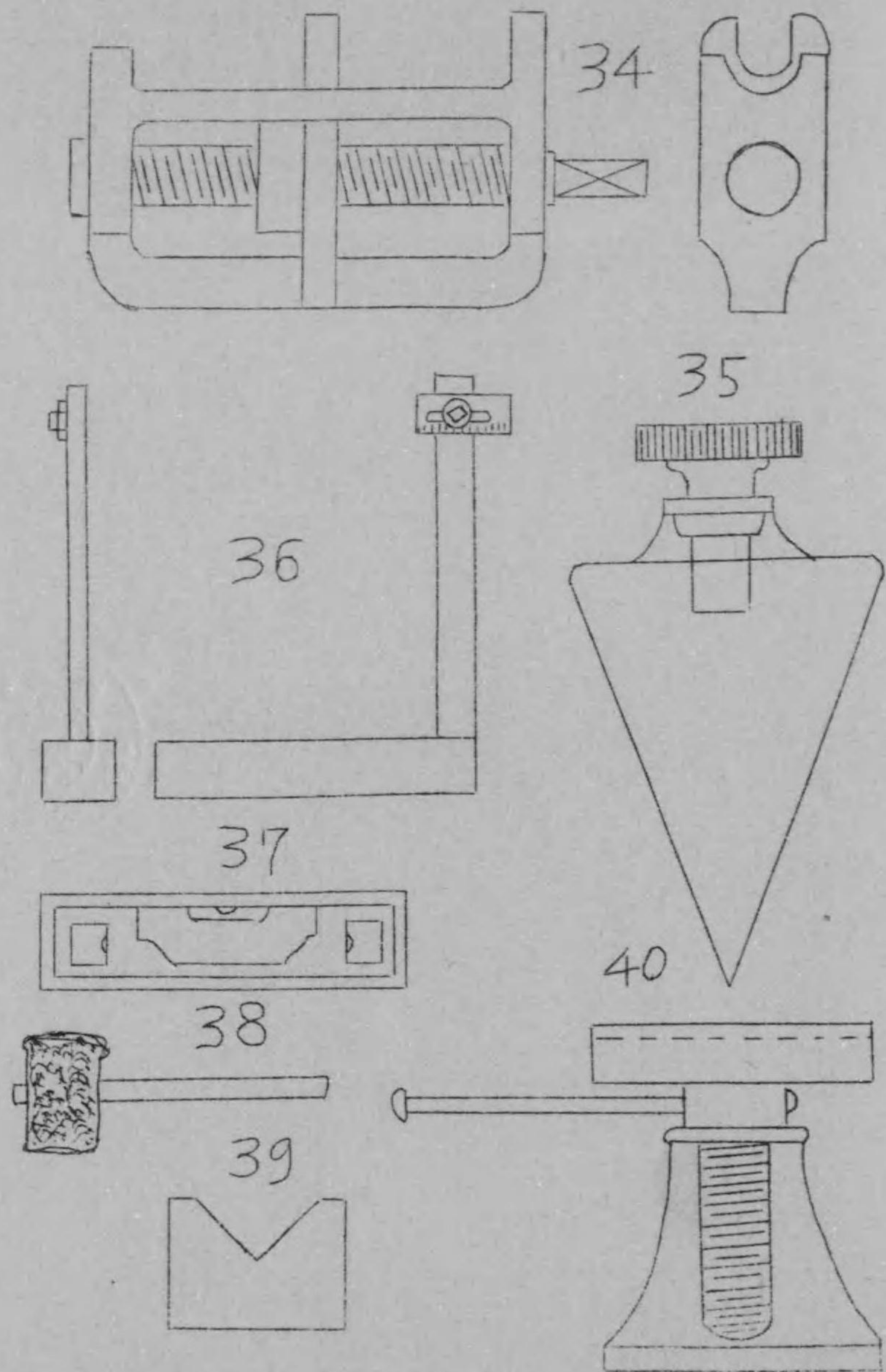


(197)

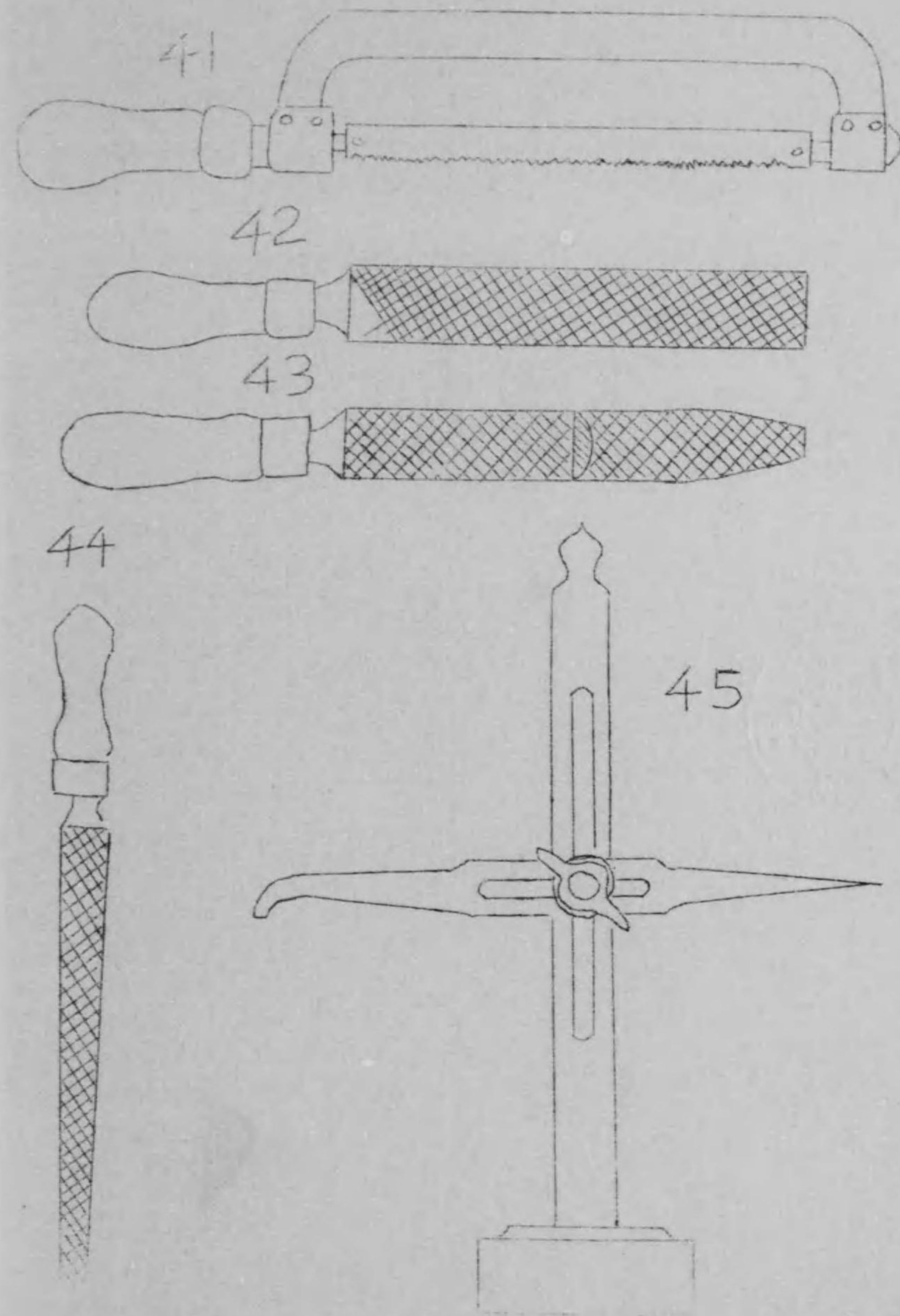




(98)

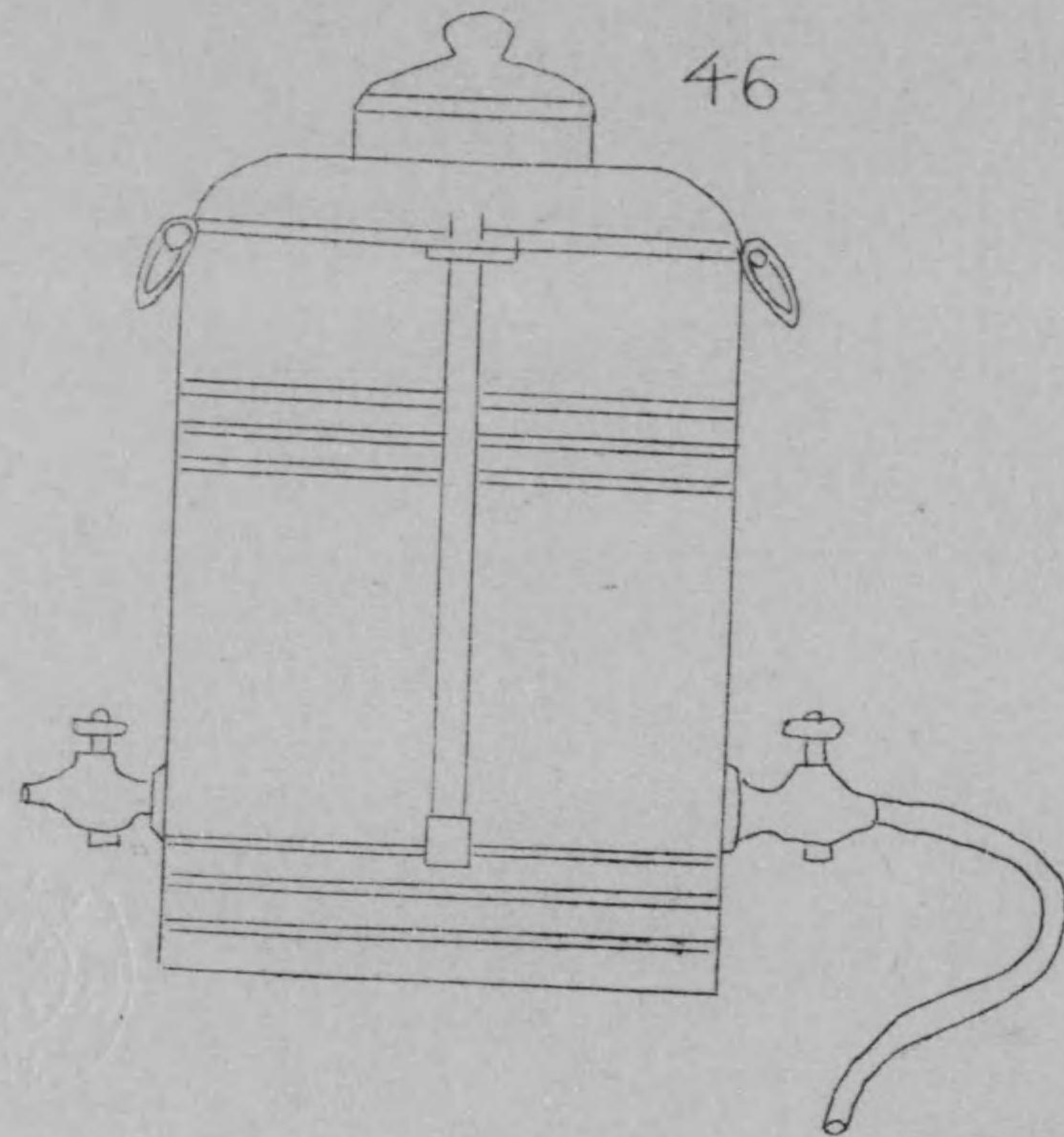


(99)





(100)



(101)

- (27) トップレールステー
- (28) コンドラムシャフトゲージ
- (29) キャップバーゲージ
- (30) フリユテッドローラー標準巻  
(2本1組)
- (31) フリユテッドローラー抜きハンドル
- (32) フリユテッドローラー抜き  
(2本1組)
- (33) フリユテッドローラー歪調整巻
- (34) フリユテッドローラー抜き巻
- (35) サゲフリ
- (36) アルタークリヤラーゲージ
- (37) 泡準器
- (38) リードハンマー
- (39) ヴイブロック
- (40) ジマッキ



(102)

- (41) ノコ
- (42) 平ヤスリ
- (43) 半丸ヤスリ
- (44) 丸ヤスリ
- (45) サ-フェ-スゲ-ジ
- (46) 水平タンク

(完)

奥付

版權所有

大正十年一月二十日 印刷  
大正十年一月三十日 発行

著作発行兼印刷人  
佐野寅造

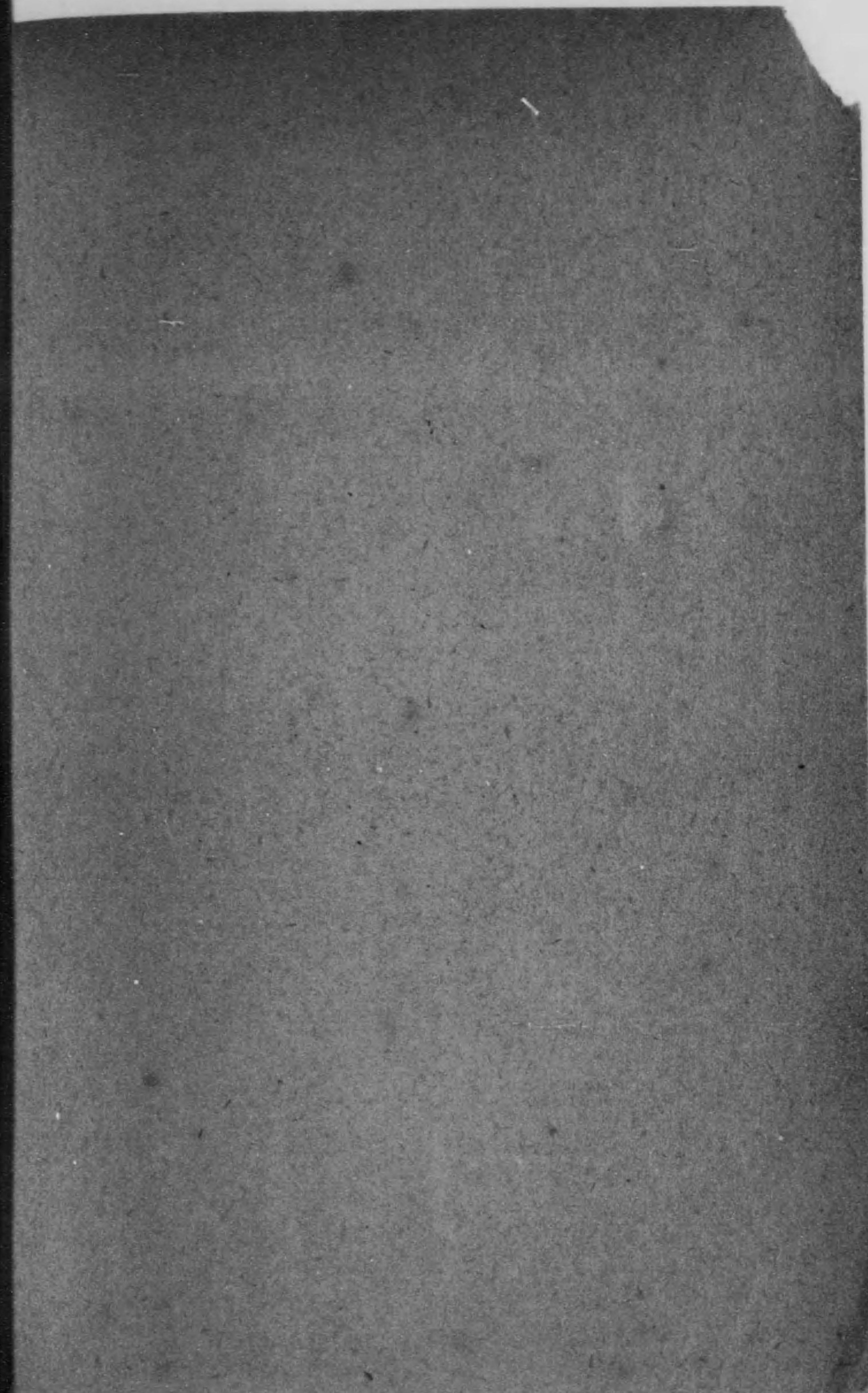
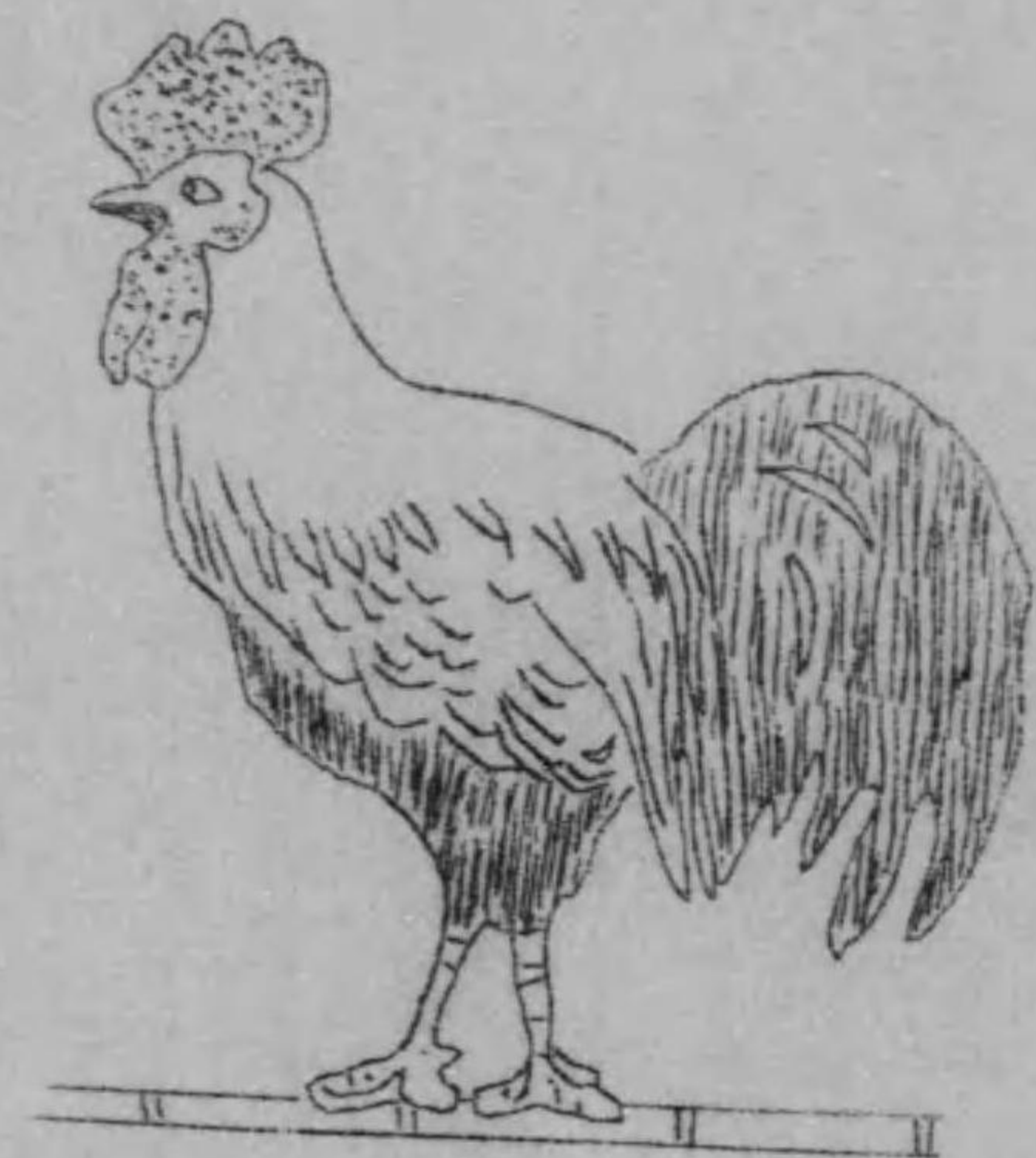
発行所

大日本紡織學會  
大阪市南区難波元町一丁目三三七  
振替口座大阪五貳壹六六番

粗紡機

非賣品











11  
475

終